

令和5年度

子ども・子育てに関するニーズ調査 報告書

令和6年3月

浜 松 市

目 次

第1章 調査概要	1
第2章 調査結果（就学前児童保護者）	2
1. 回答者属性と調査対象児童の家庭・生活環境	
居住区、調査対象児童の年齢、きょうだいの人数と末子年齢	2
回答者の性別、配偶者の有無、主な子育て者	3
日常的な子育て者、子育てに大きく影響する環境	4
2. 子育ての人的環境	
①子育てを頼める親族や友人・知人	5
②子育ての気軽な相談先	7
③周囲からのサポートで希望すること	8
3. お子さんの保護者の就労状況について	
①保護者の就労状況	9
②保護者（母親）の転換・就労希望	11
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	
①平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	13
②今後、利用したい平日の定期的な教育・保育事業	18
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について	
①地域の子育て支援事業の利用状況	20
②浜松市の子育て支援事業について	22
③浜松市の子育て支援事業を利用した感想	23
6. 平日以外の教育・保育事業の利用意向について	
①土曜日と日曜日・祝日又は夜間の定期的な教育・保育事業の利用意向	25
②幼稚園児の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向	28
③幼稚園児が病気の際の対応状況	30
④不定期の教育・保育事業や宿泊利用について	34
⑤小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上）	38
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	
①育児休業の取得状況	41
8. その他	
①地域の子育て環境や支援の満足度	49
②子育ての環境や支援に関してのご意見	50

第3章 調査結果（就学児童保護者）

1. 回答者の属性と調査対象児童の家庭環境	
居住区、調査対象児童の学年、きょうだいの人数と末子年齢	52
回答者の性別、配偶者の有無、主な子育て者	53
2. 子育ての人的環境	
①子育てを頼める親族や友人・知人	54
②子育ての気軽な相談先	55
③周囲からのサポートで希望すること	56
3. お子さんの保護者の就労状況について	
①保護者の就労状況	57
②保護者（母親）の転換・就労希望	59
4. 放課後児童会について	
①平日の放課後の過ごし方	61
②放課後児童会利用者の利用状況	62
③放課後児童会非利用者の利用意向	64
5. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度	
①地域の子育て環境や支援の満足度	67
②子育ての環境や支援に関してのご意見	68
6. 子供から浜松市への意見	70
付録 調査票	
就学前児童保護者	71
小学生保護者	92

第1章 調査概要

1 調査の目的

「(仮称) 浜松市こども計画」(計画期間：令和7年度～令和11年度)の策定に係るニーズ調査を行うことを目的とした。

2 調査の内容

- (1) 浜松市の子育て支援施策の利用実態と評価の把握
- (2) 子育て環境の実態把握
- (3) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の利用状況(未就学児童のみ)

3 調査の設計

- (1) 調査地域 …… 浜松市全域
- (2) 母集団 …… 浜松市在住の就学前と小学生のお子さんがある家庭
- (3) 抽出方法 …… 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (4) 標本数 …… 5,000人
- (5) 調査方法 …… 郵送配布、インターネット回収及び郵送回収
- (6) 調査期間 …… 令和6年1月24日～令和6年2月13日
- (7) 調査機関 …… 浜松市こども家庭部次世代育成課
- (8) 報告書作成 …… 株式会社SBSプロモーション

4 調査回収結果

	依頼数	回収数	有効数	有効回収率
就学前児童	3,000	1,060	1,029	34.3%
小学生	2,000	745	720	36.0%

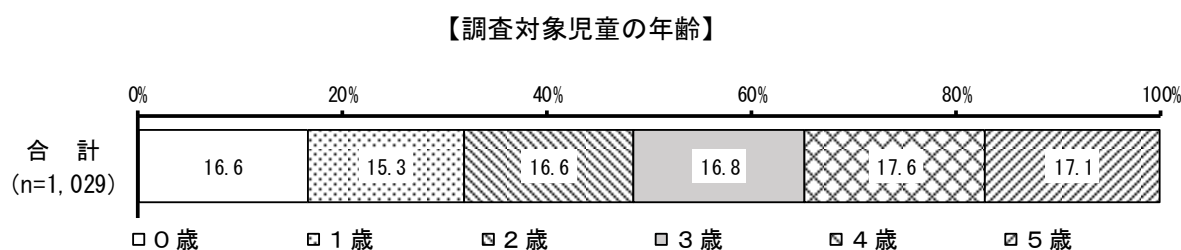
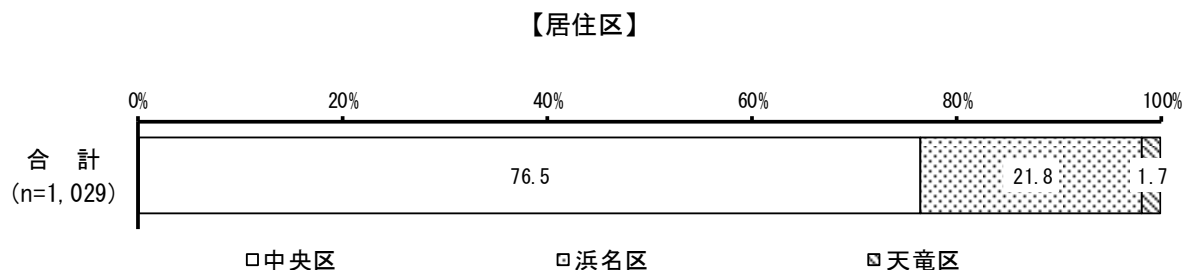
この冊子の見方

- 1. 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 2. 複数回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超える。
- 3. 基数となるべき実数は、集計表の回答者数として表記され、これを100%として算出した。
- 4. 統計表等に用いた符号は、次のとおりである。
件数(n)：比率算出の基数で、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

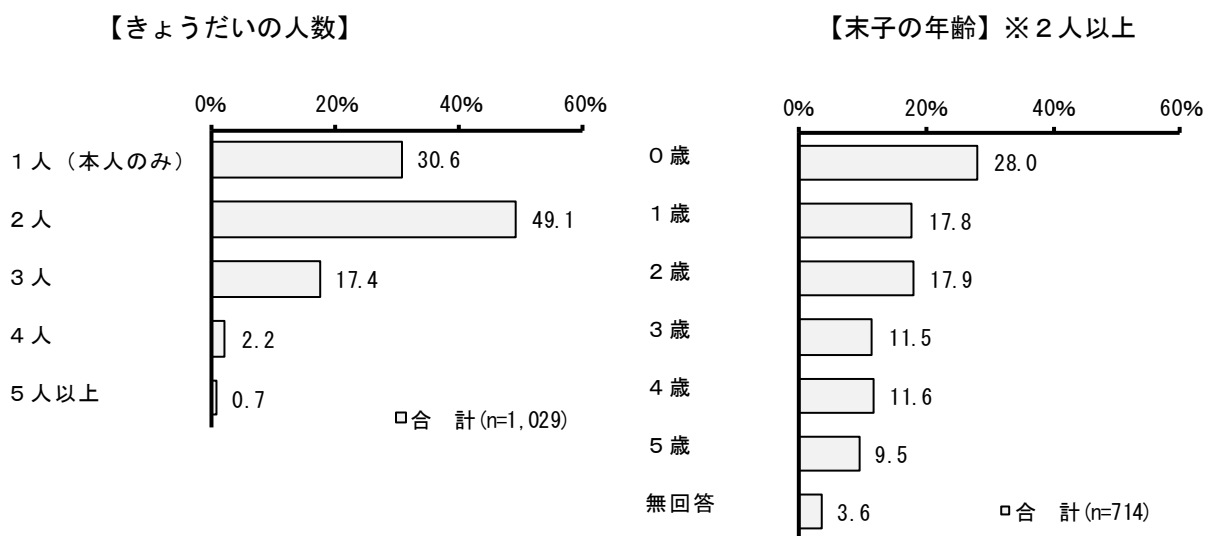
第2章 調査結果 就学前児童保護者

1. 回答者属性と調査対象児童の家庭・生活環境

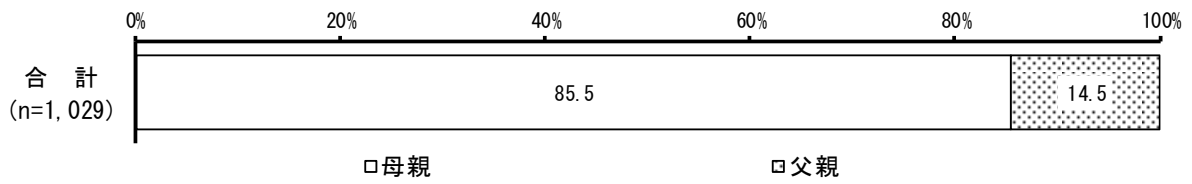
●居住区は中央区 76.5%、浜名区 21.8%、天竜区 1.7%である。



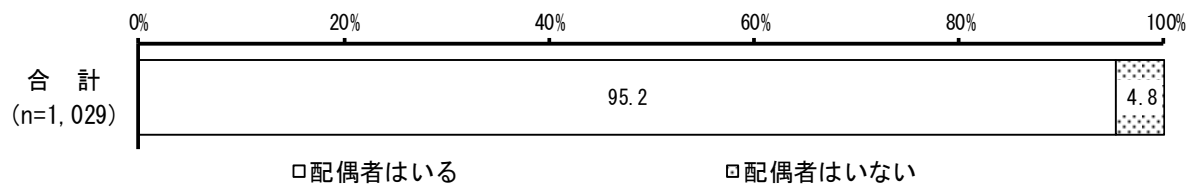
●子供の人数は「2人」が49.1%と最も多い。以下、「1人（本人のみ）」(30.6%)、「3人」(17.4%)である。



【回答者の性別】

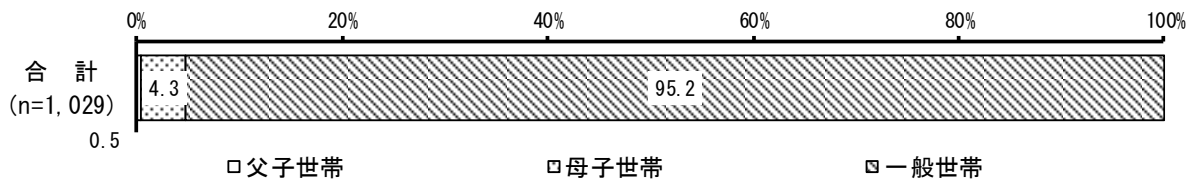


【回答者の配偶者の有無】

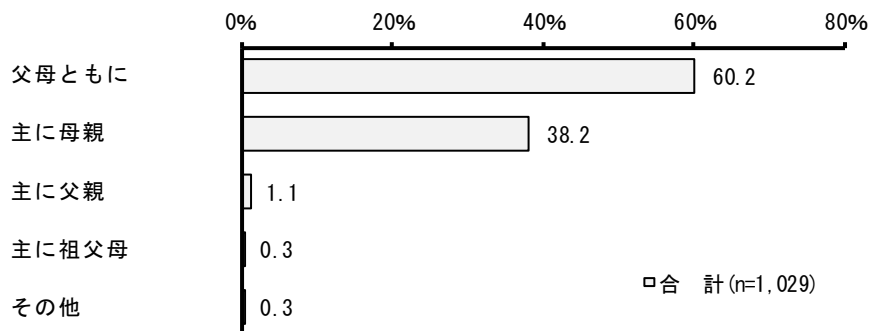


- 家庭状況は「父のみのひとり親家庭（父子世帯）」は0.5%、「母のみのひとり親家庭（母子世帯）」4.3%で「ひとり親ではない（一般世帯）」は95.2%である。

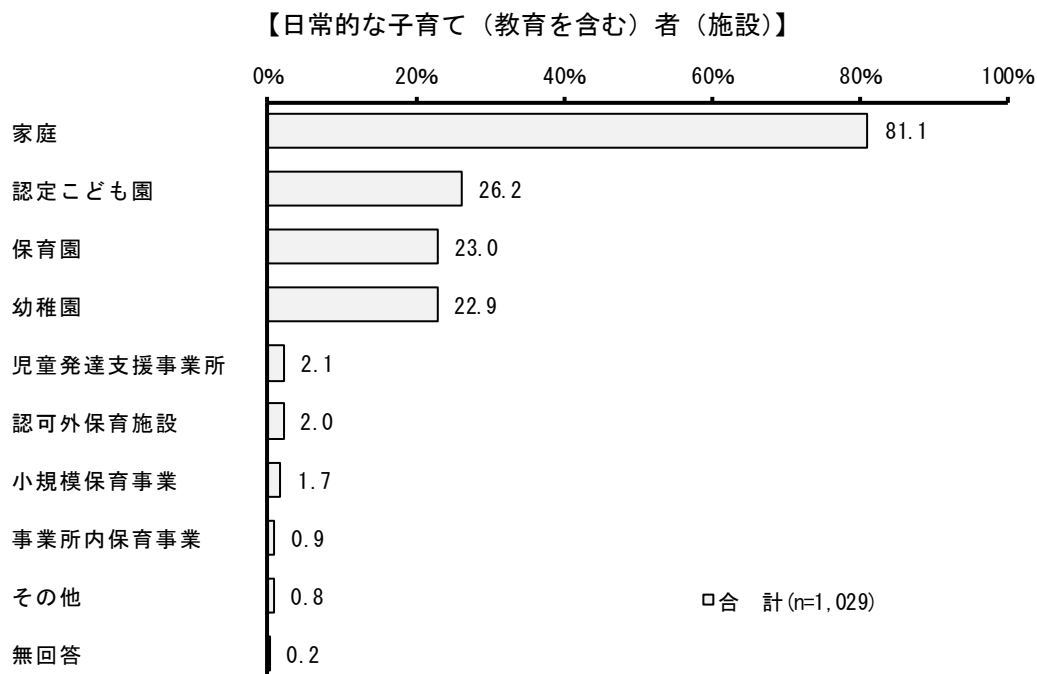
【家庭状況】



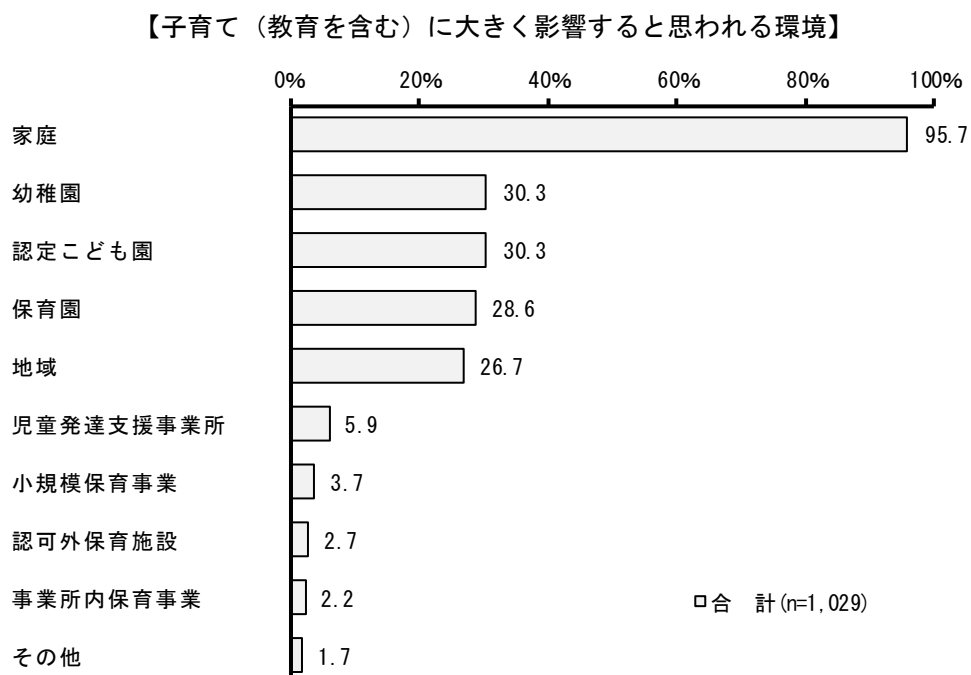
- 主な子育て者は、「父母ともに」が60.2%と最も多く、「主に母親」が38.2%である。



- 日常的な子育て者（施設）は「家庭」が 81.1%と最も多い。以下、「認定こども園」（26.2%）、「保育園」（23.0%）、「幼稚園」（22.9%）などとなっている



- 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境は「家庭」が 95.7%になっている。以下、「幼稚園」（30.3%）、「認定こども園」（30.3%）、「保育園」（28.6%）、「地域」（26.7%）などとなっている。



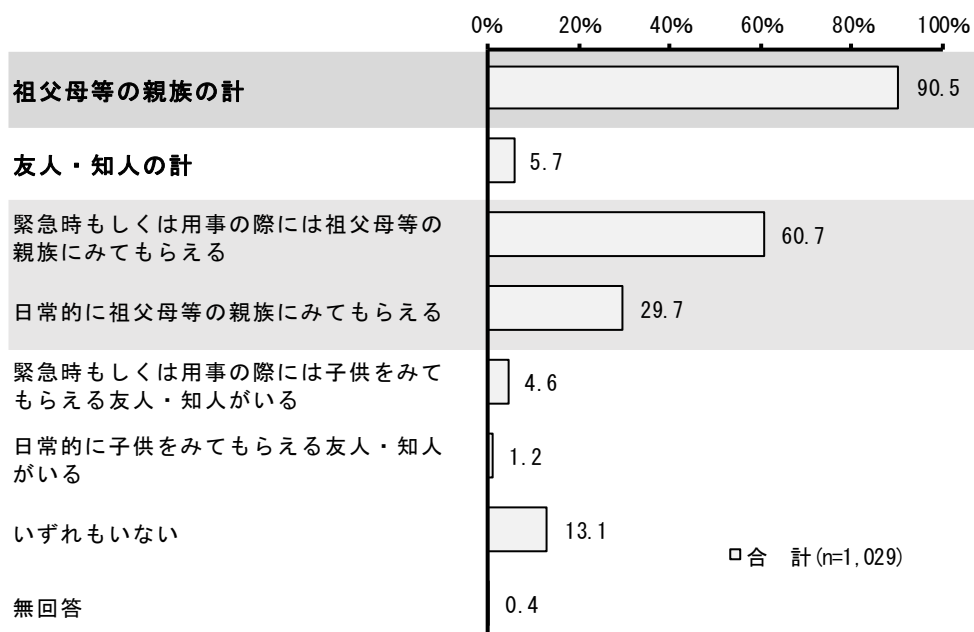
2. 子育ての人的環境

①子育てを頼める親族や友人・知人

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- 子育てを頼める親族や友人・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.7%と最も多い。以下、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(29.7%)、「緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる」(4.6%) などとなっている。一方、「いずれもない」は13.1%となっている。

【子育てを頼める親族や友人・知人の有無】

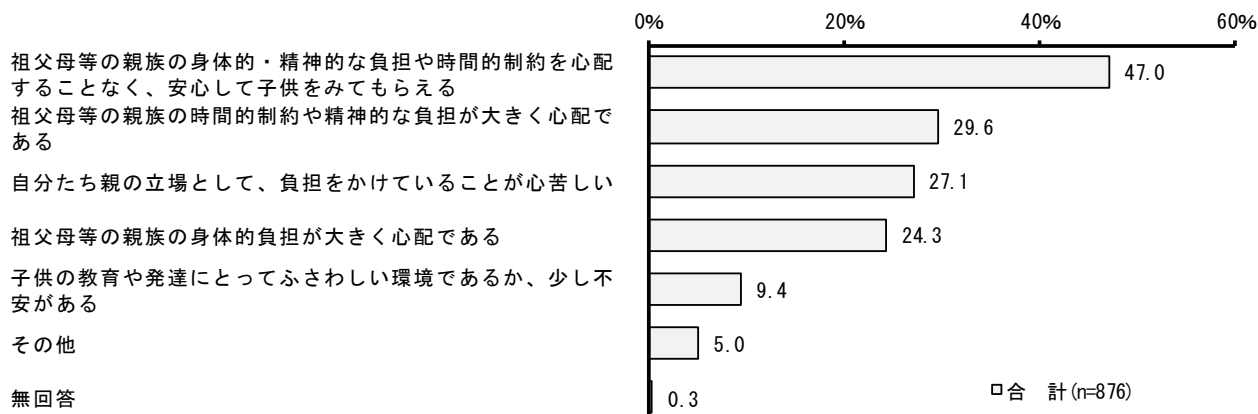


問9で『親族にみてもらう人』に〇をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

- 祖父母等の肉親に子育てを依頼する時の負担感は「負担や制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる」が47.0%で最も多い。以下、時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(29.6%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(27.1%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(24.3%) などとなっている。

【子育てを依頼する時の負担感 祖父母等の肉親に依頼する時】

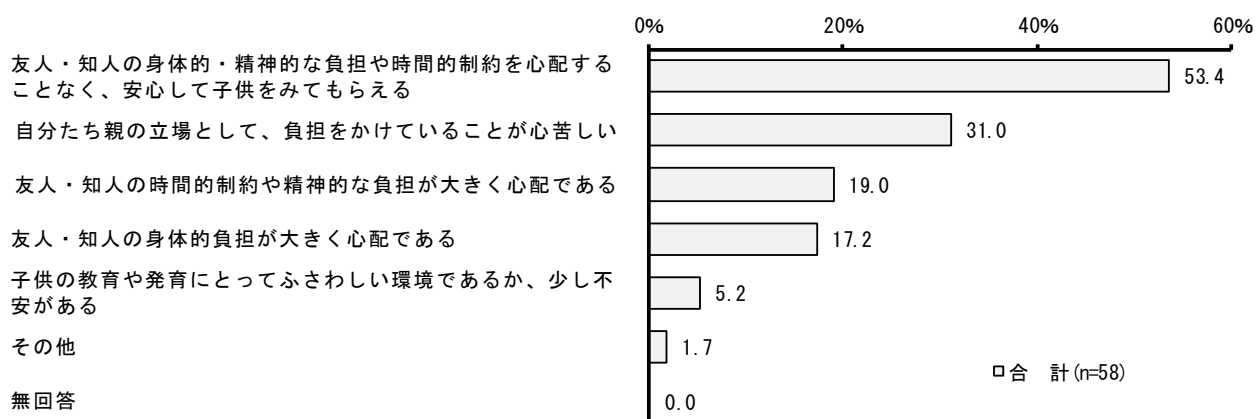


問9で『友人・知人にみてもらう人』に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

- 友人・知人に子育てを依頼する時の負担感は「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる」が53.4%と最も多い。以下、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(31.0%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(19.0%) などとなっている。

【子育てを依頼する時の負担感 友人・知人に依頼する時】

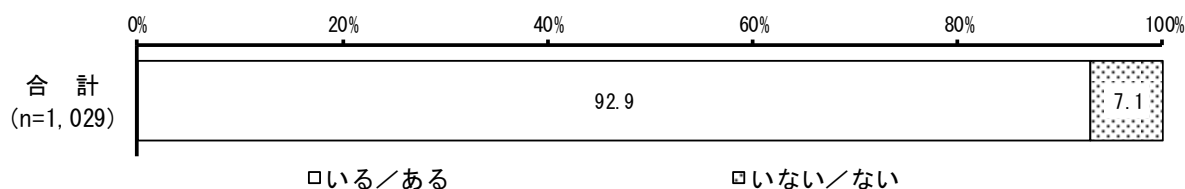


②子育ての気軽な相談先

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- 子育て（教育）の気軽な相談先の有無は、「いる／ある」が 92.9%、「いない／ない」は 7.1%となっている。

【子育ての気軽な相談先の有無】

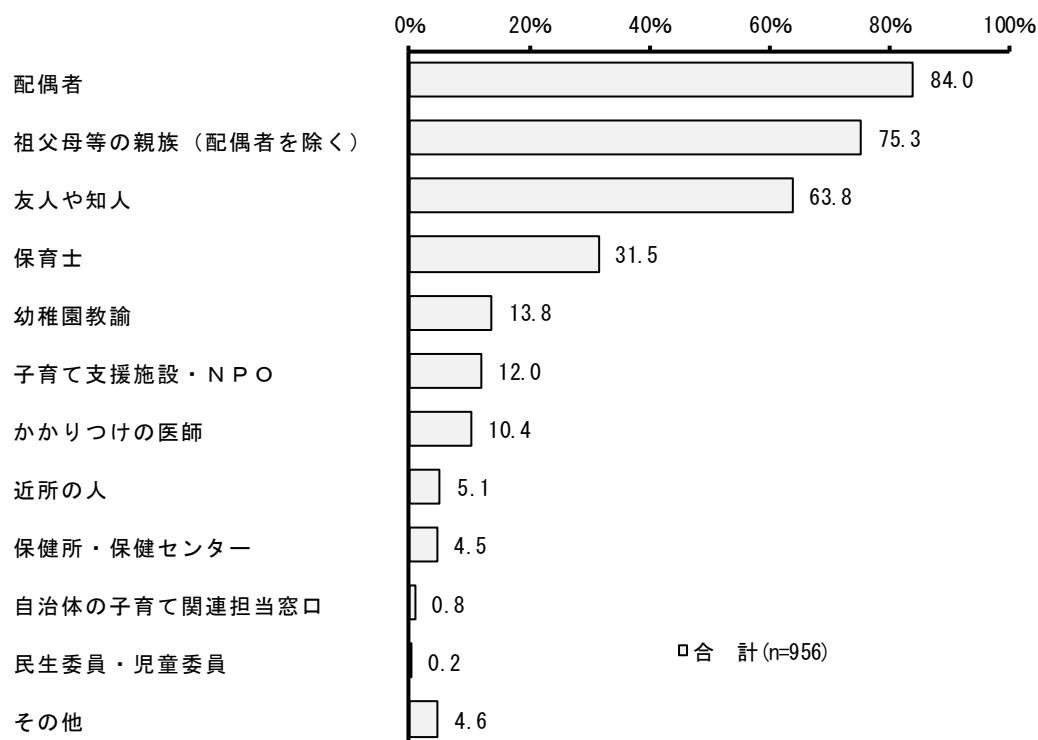


問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- 子育ての気軽な相談先は「配偶者」が 84.0%と最も多い。以下「祖父母等の親族（配偶者を除く）」（75.3%）、「友人や知人」（63.8%）、「保育士」（31.5%）などとなっている。

【子育ての気軽な相談先の相手】



③周囲からのサポートで希望すること

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見

- 気軽に子供を預けられる場所、ベビーシッターを気軽に呼べる環境や価格を下げしてほしい。
- 一時的に預かってもらえる施設やベビーシッターがもっと増え、料金も安いと助かる。
- 親が病気の時に子供の面倒を見てくれる（預けられる）人や施設があると良い。
- 祝日の子供の預け先や、病児保育の確保が容易にできると助かる。
- 共働き世帯の為、子供の体調不良でどうしても仕事を休む都合がつかない時など、急な対応が必要な場合でも頼ることができるサポートがあると助かる。
- 病後児保育が使いにくいと感じる。風邪をひく度に病院に連れていけるほど時間的余裕もないため、受診の要件を緩和してほしい。
- 働いていなくても気軽に預けることができる場所があるとよい。
- オンラインで相談できる環境、家で相談できる環境があるとありがたい。
- 子育て支援ひろばのような気軽に話せる場や、周りの人と関われる環境をもっと多くしてほしい。
- 保育士やカウンセラーの資格を持った人に、子供の発達や育児など、気軽に相談できる機会がほしい。
- 父親教室など、父親としての自覚が持てる機会があれば良かった。
- 子供が体調不良で保育園を休む時など、職場の理解が不十分で休みにくいため、特に中小企業の意識啓発や職場体制の整備を要望したい。また、職場での育休への理解促進が進んでほしい。
- 子育て世帯に寛容な世の中になってほしい。
- 歩いて行ける所に公園がほしい。
- もっと子供たちが遊べる場所を増やしてほしい。
- こども館は遊ぶ環境に親以外の大人（スタッフ）がいてくれるので、ありがたいと感じている。
- 習い事への金銭的サポートがあると助かる。子供達の教育格差が縮小するのではないか。
- 医療費の負担をもっと減らしてほしい。医療費を無料化してほしい。

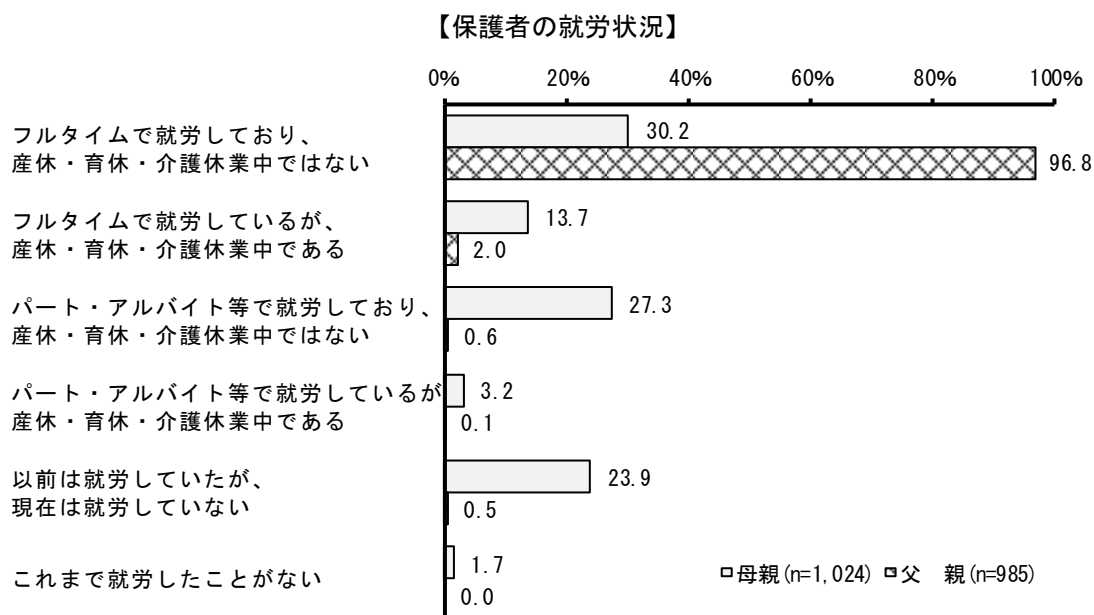
3. お子さんの保護者の就労状況について

①保護者の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者（専従者）含む）をうかがいます。

母親：就労形態は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 30.23%と最も多い。以下、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（27.3%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（23.9%）などとなっている。

父親：就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 96.8%と最も多くなっている。



- 父親に比べ休業者の比率が高い母親を子供の年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるにつれて休業者の割合も高くなる傾向がみられる。

【保護者の就労状況 母親】

母 親		調査回答数	フルタイムで就労中 （産休・育休・介護休業中ではない）	フルタイムで就労中 （産休・育休・介護休業中である）	パート・アルバイト等で就労中 （産休・育休・介護休業中ではない）	パート・アルバイト等で就労中 （産休・育休・介護休業中である）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
合 計		1,024	309 30.2%	140 13.7%	280 27.3%	33 3.2%	245 23.9%	17 1.7%	0 0.0%
子 供 の 年 齢 別	0歳	171	14.0%	41.5%	10.5%	6.4%	26.3%	1.2%	0.0%
	1歳	157	32.5%	14.0%	24.2%	3.2%	24.8%	1.3%	0.0%
	2歳	169	35.5%	7.7%	23.1%	3.0%	26.0%	4.7%	0.0%
	3歳	171	32.2%	9.9%	32.7%	2.9%	20.5%	1.8%	0.0%
	4歳	180	32.8%	3.3%	37.8%	2.8%	22.8%	0.6%	0.0%
	5歳	176	34.1%	6.3%	34.7%	1.1%	23.3%	0.6%	0.0%

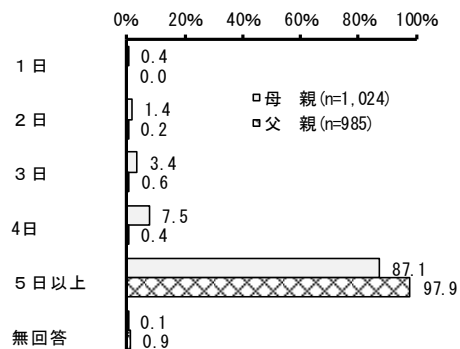
フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等＝「フルタイム」以外の就労

問 12 で就労している（「1～4」に○をつけた）方うかがいます。

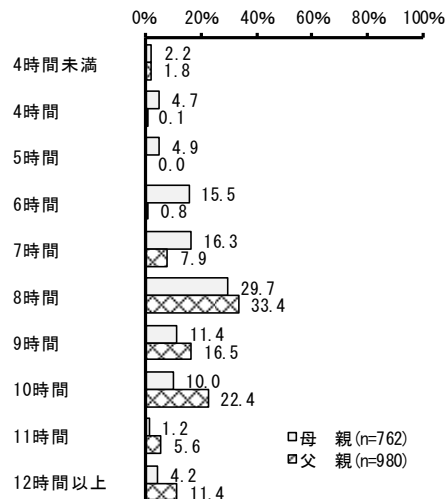
問 12-1 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

問 12-1 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【1 週当たりの就労日数】



【1 日当たりの就労時間】

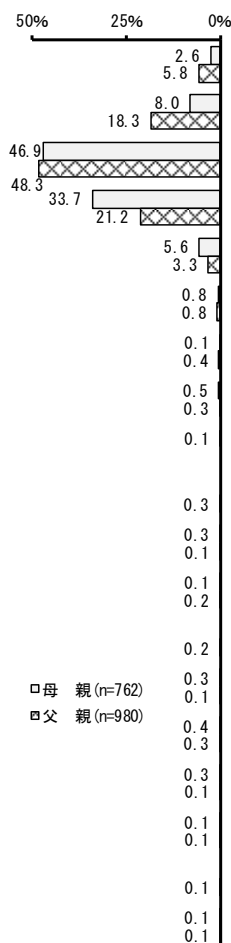


【1 日当たりの勤務時間帯】

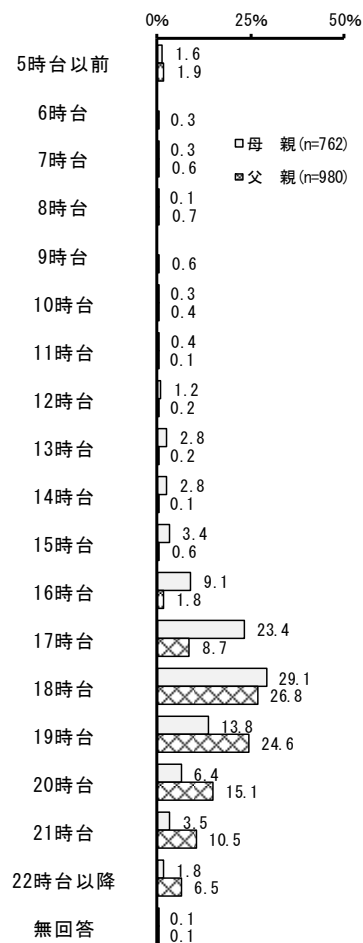
母親：就労日数は「5 日以上」が 87.1%と最も多い。就労時間は「8 時間」が 29.7%と最も多い。以下、「7 時間」（16.3%）、「6 時間」（15.5%）、「9 時間」（11.4%）、「10 時間」（10.0%）などとなっている。家を出る時間は「7 時台」が 46.9%、次いで「8 時台」が 33.7%で合わせた割合は 80.6%となっている。帰宅時間は「18 時台」が 29.1%、次いで「17 時台」23.4%で合わせた割合は 52.5%となっている。

父親：就労日数は「5 日以上」が 97.9%と最も多い。就労時間は「8 時間」が 33.4%と最も多い。以下、「10 時間」（22.4%）、「9 時間」（16.5%）、「12 時間以上」（11.4%）などとなっている。家を出る時間は「7 時台」が 48.3%と最も多い。以下、「8 時台」（21.2%）、「6 時台」（18.3%）などとなっている。帰宅時間は「18 時台」が 26.8%、次いで「19 時台」24.6%で合わせた割合は 51.4%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】

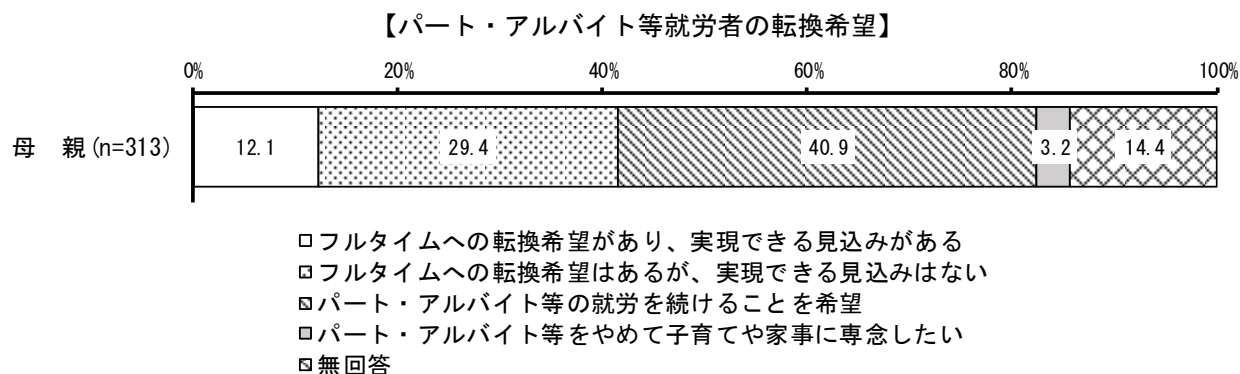


②保護者（母親）の転換・就労希望

問 12 でパート・アルバイト等で就労している（「3、4」に○をつけた）方にうかがいます。
問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

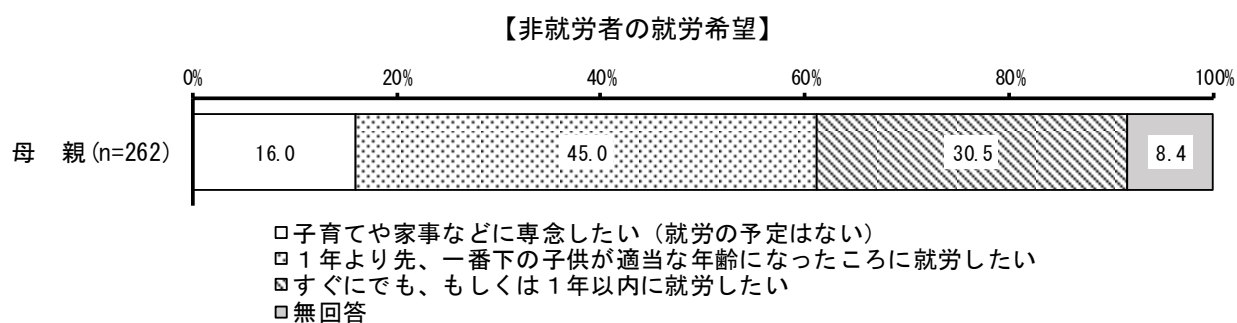
- パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が40.9%と最も多い。以下、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は29.4%で、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は12.1%などとなっている。

注）父親は該当する回答数が少ないので割愛した。



問 12 で就労していない（「5、6」に○をつけた）方にうかがいます。
問 14 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

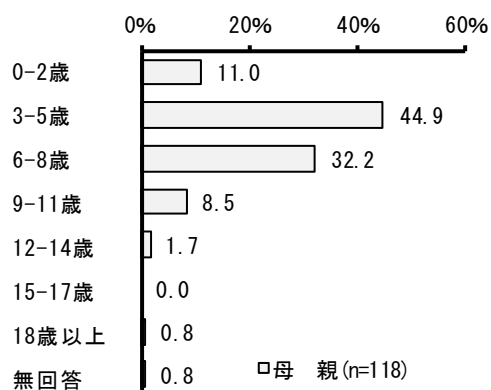
- 就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子供が適当な年齢になったところに就労したい」が45.0%と最も多い。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.5%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は16.0%となっている。



- 1年より先に就労したい方の就労希望時の末子の年齢は、「3～5歳」が44.9%と最も多い、次いで「6～8歳」が32.2%と合わせた割合は77.1%となっている。

注）父親は該当する回答数が少ないので割愛した。

**【1年より先に就労したい方の
就労希望時の末子の年齢】**

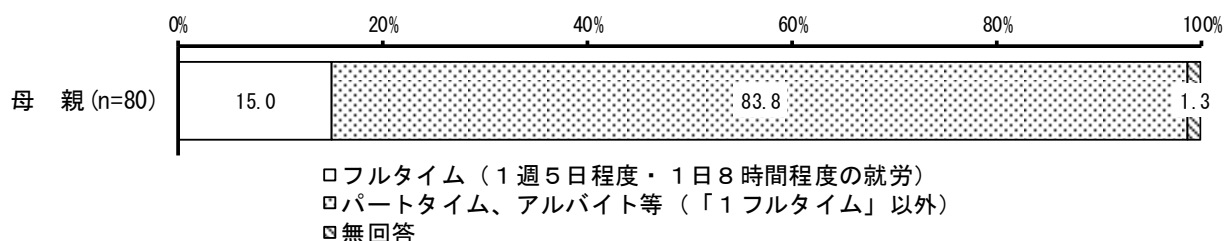


問14で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた) 方がいます。

問14-1 希望する就労形態を教えてください。

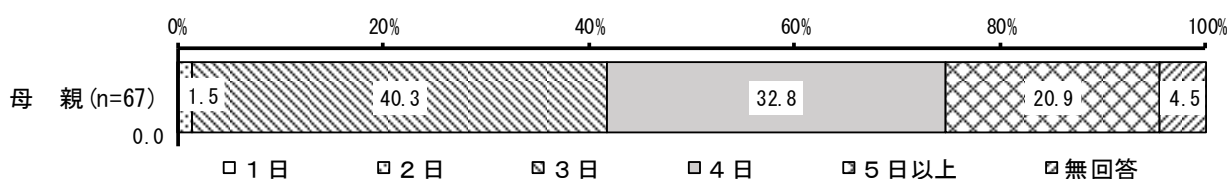
- 1年以内に就労したい方の希望する就労形態は「パート、アルバイト等」が83.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」は15.0%などとなっている。

【1年以内に就労したい方の希望する就労形態】

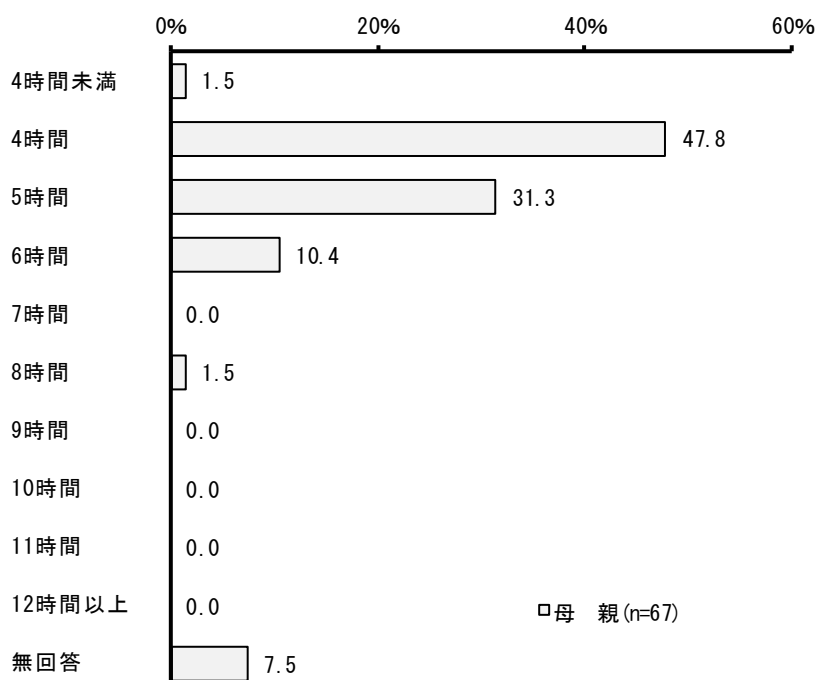


- パートタイム・アルバイト等希望者の1週当たりの就労日数は「3日」が40.3%と最も多い。以下、「4日」(32.8%)、「5日以上」(20.9%) などとなっている。1日当たりの時間は「4時間」が47.8%と最も多い。以下、「5時間」(31.3%)、「6時間」(10.4%) などとなっている。

【パートタイム・アルバイト希望者の就労内容 1週当たりの出勤日数】



【パートタイム・アルバイト希望者の就労内容 1日当たりの勤務時間】



注) 父親は該当する回答数が少ないので割愛した。

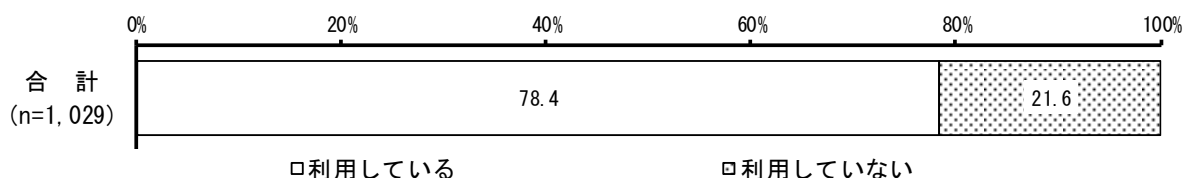
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

①平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(○は1つ)

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は「利用している」が78.4%、「利用していない」21.6%となっている。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無】

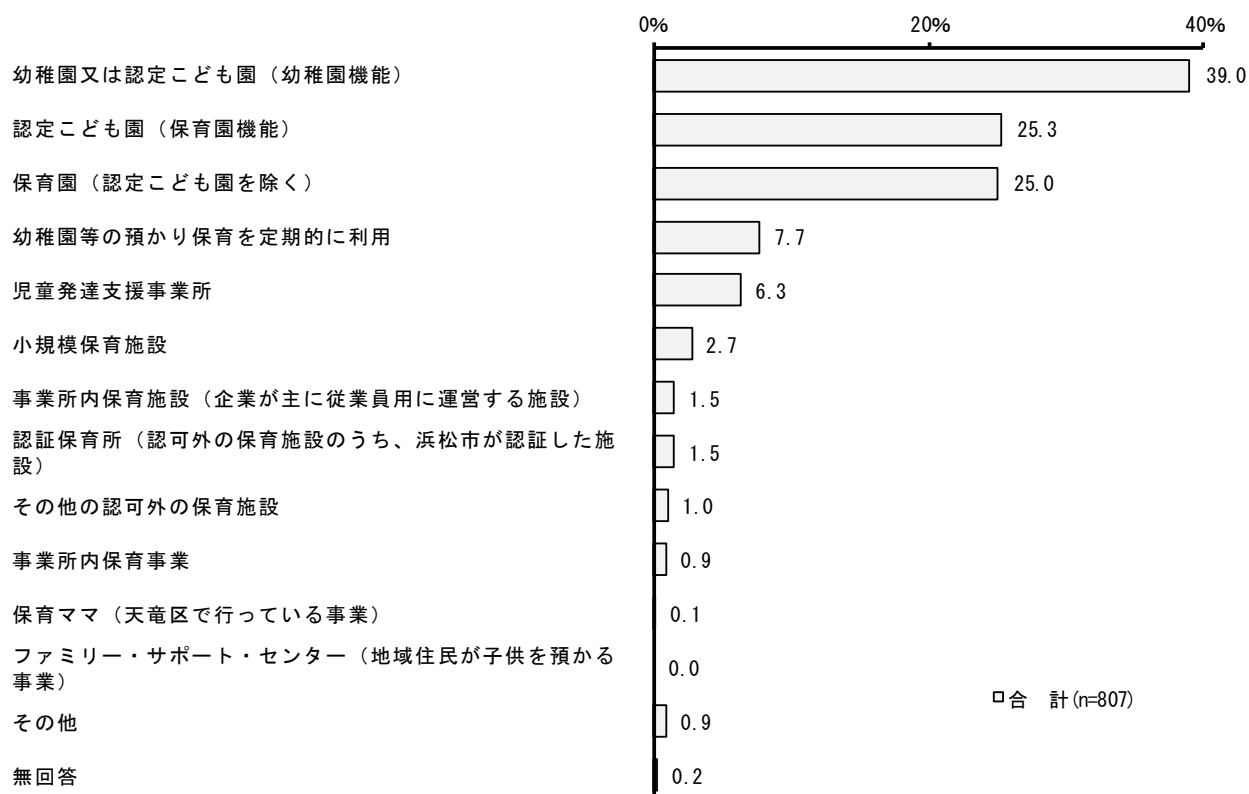


問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

- 平日、年間を通し定期的に利用している教育・保育事業は、「幼稚園又は（幼稚園機能）」が39.0%と最も多い。以下、「認定こども園（保育園機能）」(25.3%)、「保育園（認定こども園を除く）」(25.0%)、「幼稚園等の預かり保育を定期的に利用」(7.7%) などとなっている。

【平日、年間を通し定期的に利用している教育・保育事業】



問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-2 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。

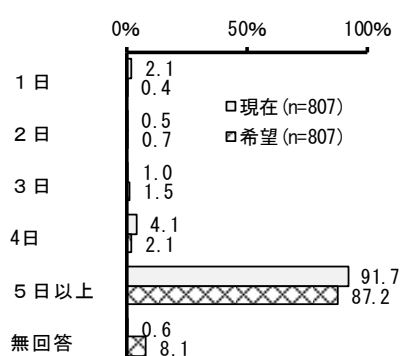
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを具体的な数字でご記入ください。

●平日定期的に利用している教育・保育の事業の現在の利用日数と希望する日数に乖離は少なく「5 日以上」が最も多く、現在の利用日数は 91.7%、希望日数は 87.2%となっている。

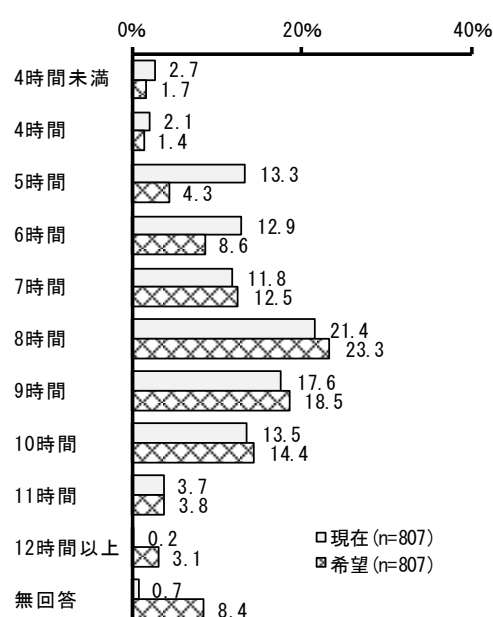
●利用時間は「8 時間」が、現在の利用時間は 21.4%、希望時間は 23.3%と最も多い。「5 時間」では現在の利用時間が 13.3%に対し希望時間は 4.8%と希望時間が 8.5 ポイント低くなっている。

【平日、年間を通し定期的に利用している教育・保育事業の利用内容】

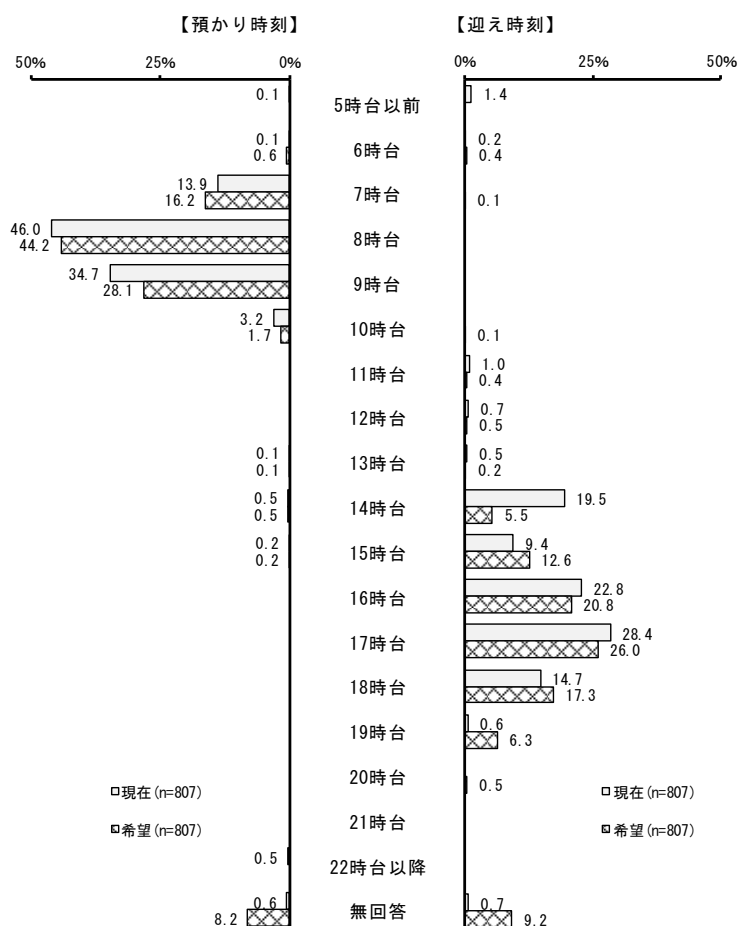
【1 週当たりの利用日数】



【1 日当たりの利用時間】



【1 日当たりの利用時間帯】

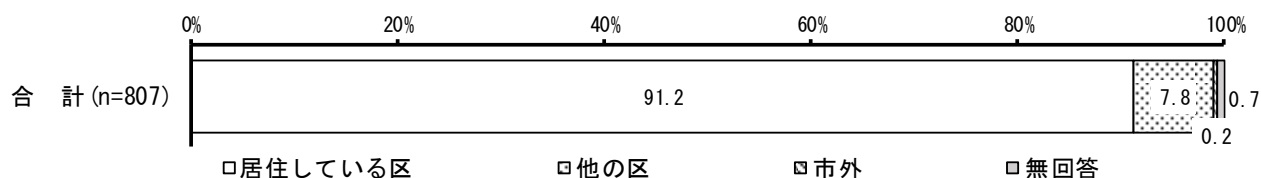


問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の所在地はどこですか。(○は1つ)

- 現在、利用している教育・保育事業の所在地は「居住している区」が91.2%と最も多くなっている。

【利用している教育・保育事業の所在地】

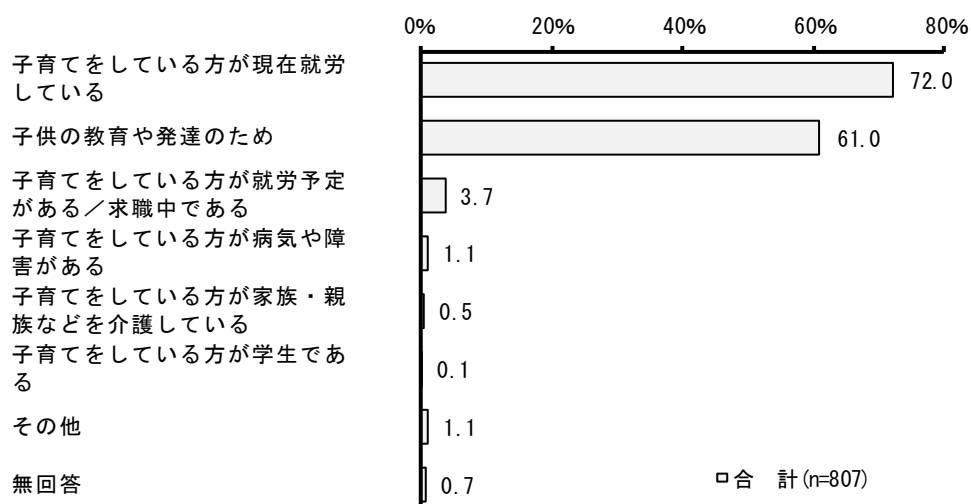


問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は「子育てをしている方が現在就労している」が72.0%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が61.0%などとなっている。

【教育・保育の事業の利用理由】

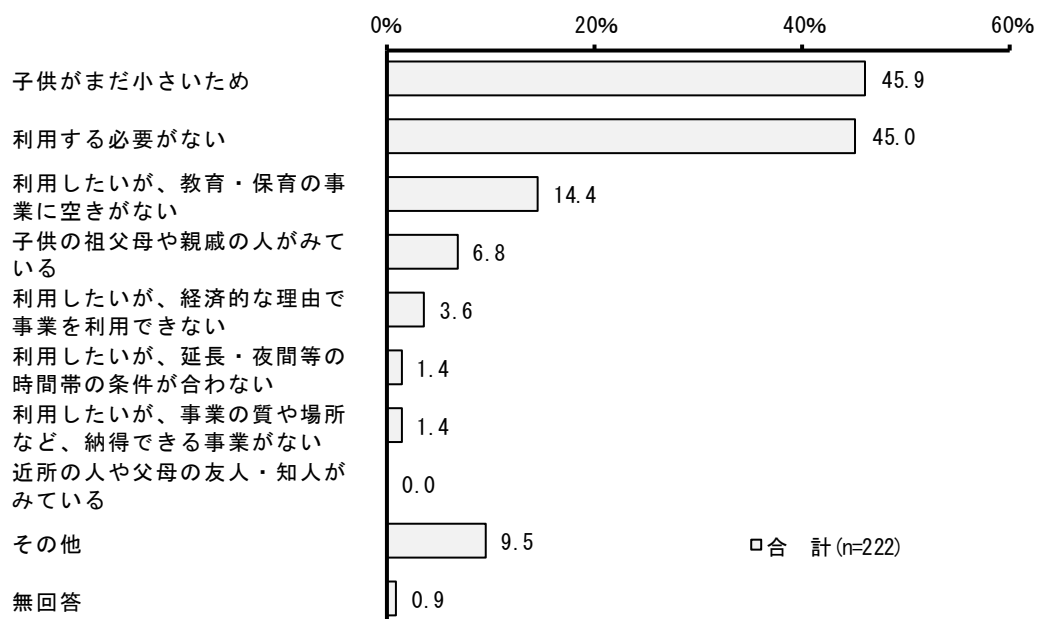


問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-5 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は「子供がまだ小さいため」(45.9%)と「利用する必要がある」(45.0%)が多い。以下、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」(14.4%)などとなっている。

【教育・保育の事業を利用しない理由】

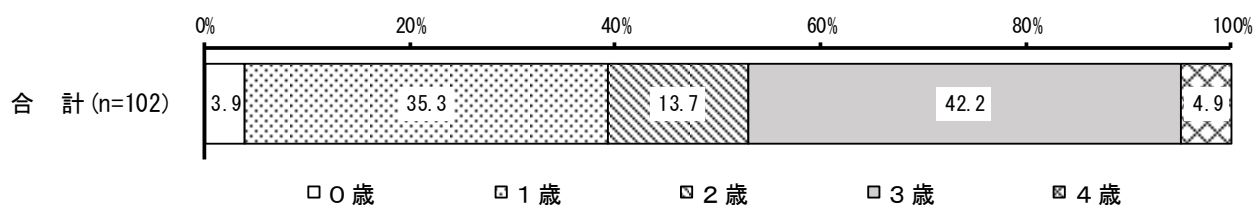


問 15-5 で「8. 子供がまだ小さい～」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-5 利用を始める子供の年齢は。

- 子供がまだ小さいと回答した人の子供の利用開始年齢は「3歳」が42.2%と最も多く、次いで「1歳」が35.3%となっている。

【教育・保育の事業を利用する子供の利用開始年齢】

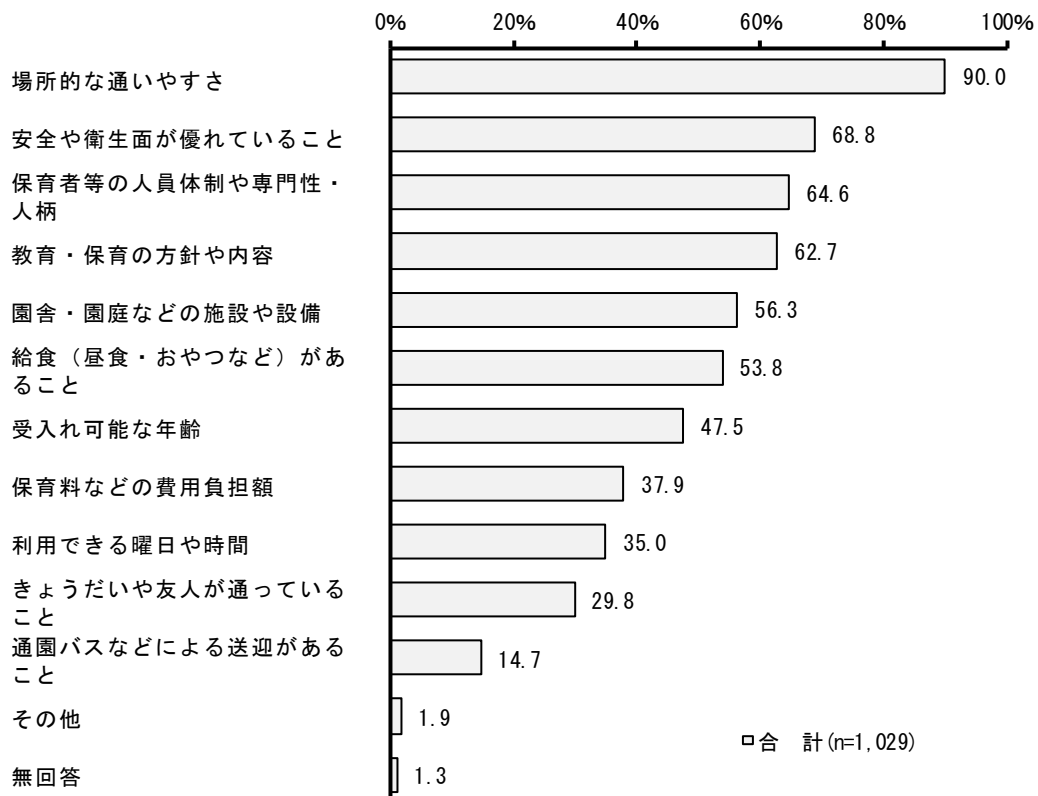


すべての方にうかがいます。

問 15-6 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を行う施設を選ぶ際に、重視することは何ですか。
(〇はいくつでも)

- 平日の教育・保育の事業を行う施設を選ぶ際に重視するのは「場所的な通いやすさ」が 90.0%と最も多い。以下、「安全や衛生面が優れていること」(68.8%)、「保育者等の人員体制や専門性・人柄」(64.6%)、「教育・保育の方針や内容」(62.7%)、「園舎・園庭などの施設や設備」(56.3%)、「給食(昼食・おやつなど)があること」(53.8%) などとなっている。

【平日の教育・保育の事業を行う施設を選ぶ重視点】

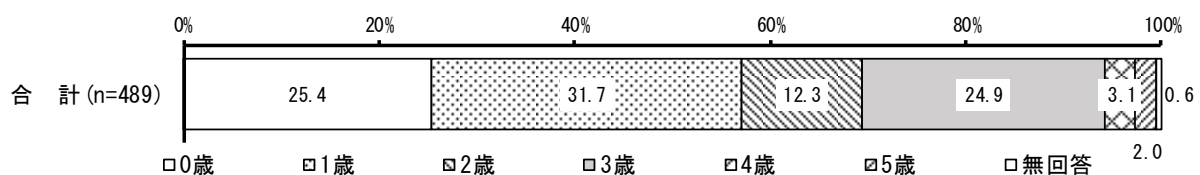


問 15-6 で「1. 受入れ可能な年齢」に〇をつけた方にうかがいます。

問 15-6-1 利用を開始したい年齢に〇をつけてください。

- 受け入れ可能な年齢と答えた人が利用を開始したい年齢は「1 歳」が 31.7%と最も多い。以下、「0 歳」(25.4%)、「3 歳」(24.9%) などとなっている。

【教育・保育の事業を利用する子供の利用開始年齢】

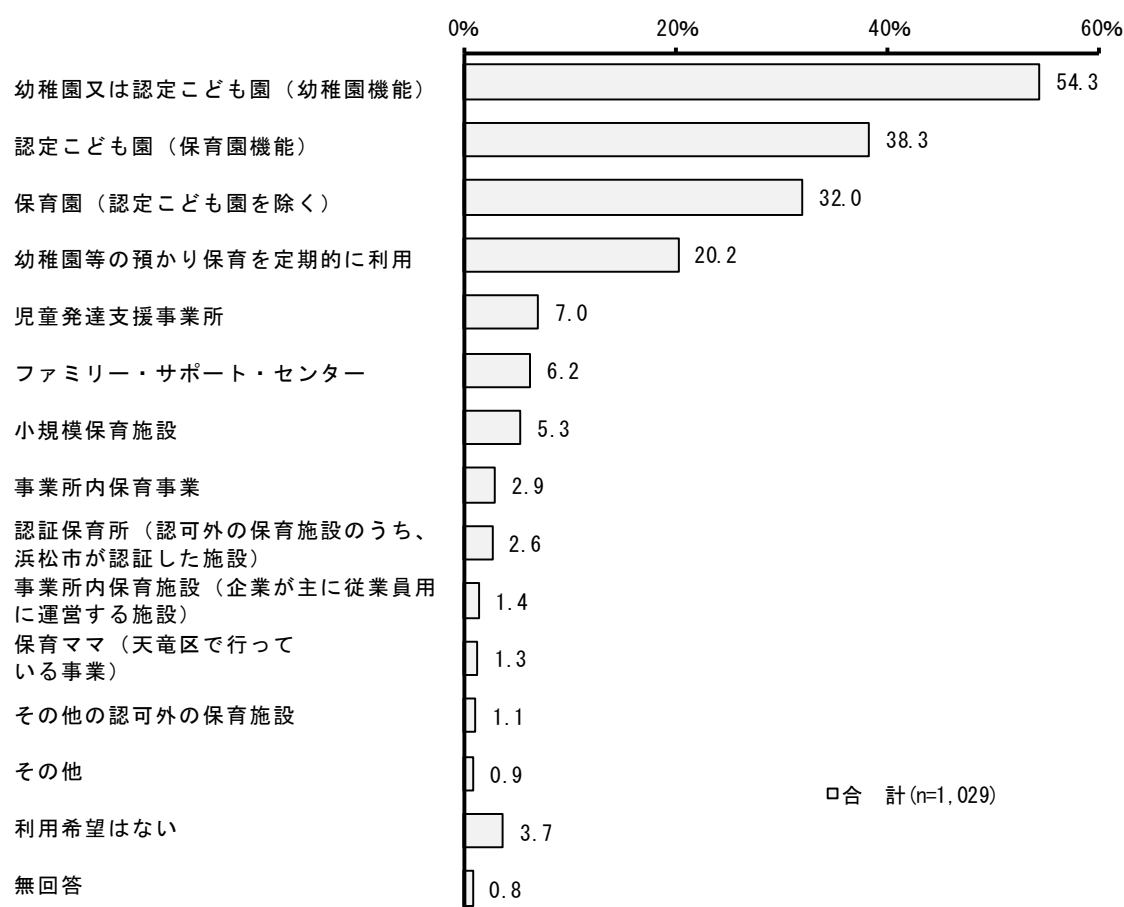


②今後、利用したい平日の定期的な教育・保育事業

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（〇はいくつでも）

- 平日の教育・保育の事業で「定期的に」利用したいと考える事業は「幼稚園又は認定こども園（幼稚園機能）」が 54.3%と最も多い。以下、「認定こども園（保育園機能）」（38.3%）、「保育園（認定こども園を除く）」（32.0%）、「幼稚園等の預かり保育を定期的に利用」（20.2%）などとなっている。

【今後、定期的に利用したい平日の教育・保育事業】

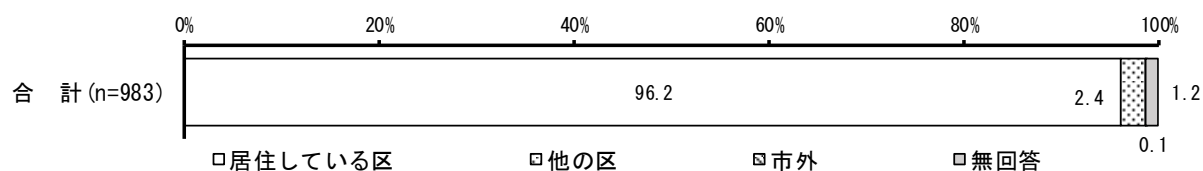


問 16 で利用希望がある（「1. ～13.」に○をつけた）方にうかがいます。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（○は1つ）

●今後、利用してみたい教育・保育事業の場所は「居住している区」が96.2%と最も多くなっている。

【利用したい教育・保育事業の場所】

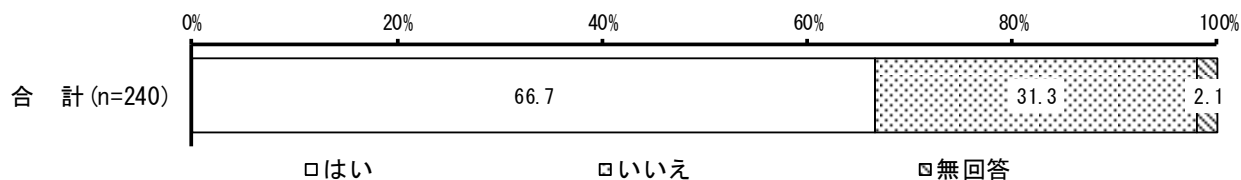


問 16 で幼稚園利用（「1、2のいずれかに○をつけ」、かつ「3～12」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

●幼稚園と他の事業の併用者で幼稚園利用を強く希望する人（はい）の割合は66.7%で、望まない人（いいえ）は31.3%であった。

【幼稚園利用の優先意識】



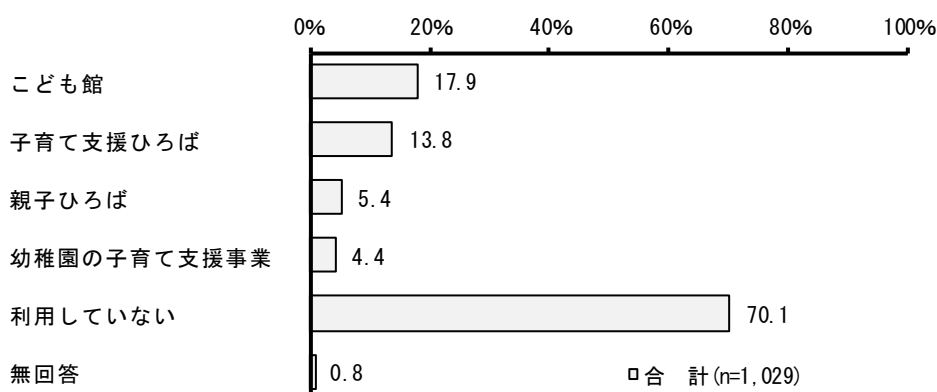
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

①地域の子育て支援事業の利用状況

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援ひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。（〇はいくつでも）

●地域の子育て支援事業の利用施設は「こども館」が 17.9%、「子育て支援ひろば」が 13.8%などで「利用していない」は 70.1%となっている。

【地域の子育て支援事業の利用施設】



【地域の子育て支援事業の利用状況】

＜1週当たり＞	調査 回答数	1回未満	1回程度	2回程度	3回程度	4回程度	5回以上	無回答
子育て支援ひろば	(n=142)	46.5%	20.4%	11.3%	7.7%	2.1%	0.7%	11.3%
こども館	(n=184)	66.3%	4.3%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	28.3%
親子ひろば館	(n=56)	51.8%	28.6%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	16.1%
幼稚園の子育て支援事業	(n=45)	71.1%	15.6%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	8.9%

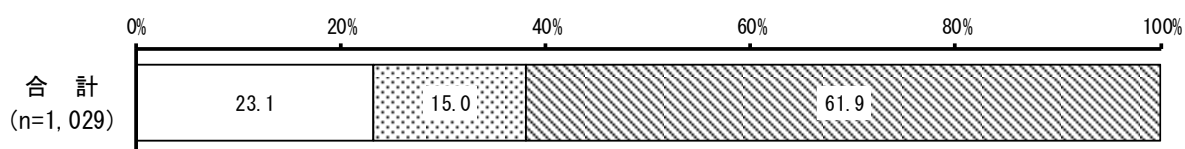
1ヶ月の回数は1/4で算出しているため1日未満がある。

＜1日当たり＞	調査 回答数	1時間以下	2時間程度	3時間程度	4時間程度	5時間以上	無回答
子育て支援ひろば	(n=142)	21.1%	62.7%	11.3%	0.0%	0.0%	4.9%
こども館	(n=184)	4.9%	42.4%	28.8%	10.9%	9.2%	3.8%
親子ひろば館	(n=56)	30.4%	58.9%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%
幼稚園の子育て支援事業	(n=45)	22.2%	62.2%	4.4%	0.0%	0.0%	11.1%

問 18 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ)

- 地域子育て支援拠点事業の利用意向は「利用していないが、今後利用したい」が23.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は15.0%で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は61.9%であった。

【地域子育て支援拠点事業の利用意向】



□利用していないが、今後利用したい

□すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

□新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

【地域子育て支援拠点事業の利用頻度】

＜1週当たり＞	調査 回答数	1回未満	1回程度	2回程度	3回程度	4回程度	5回以上	無回答
利用していないが、今後利用したい	(n=238)	52.1%	26.1%	9.7%	2.5%	0.0%	0.8%	8.8%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	(n=154)	47.4%	26.6%	5.2%	1.3%	0.6%	1.9%	16.9%

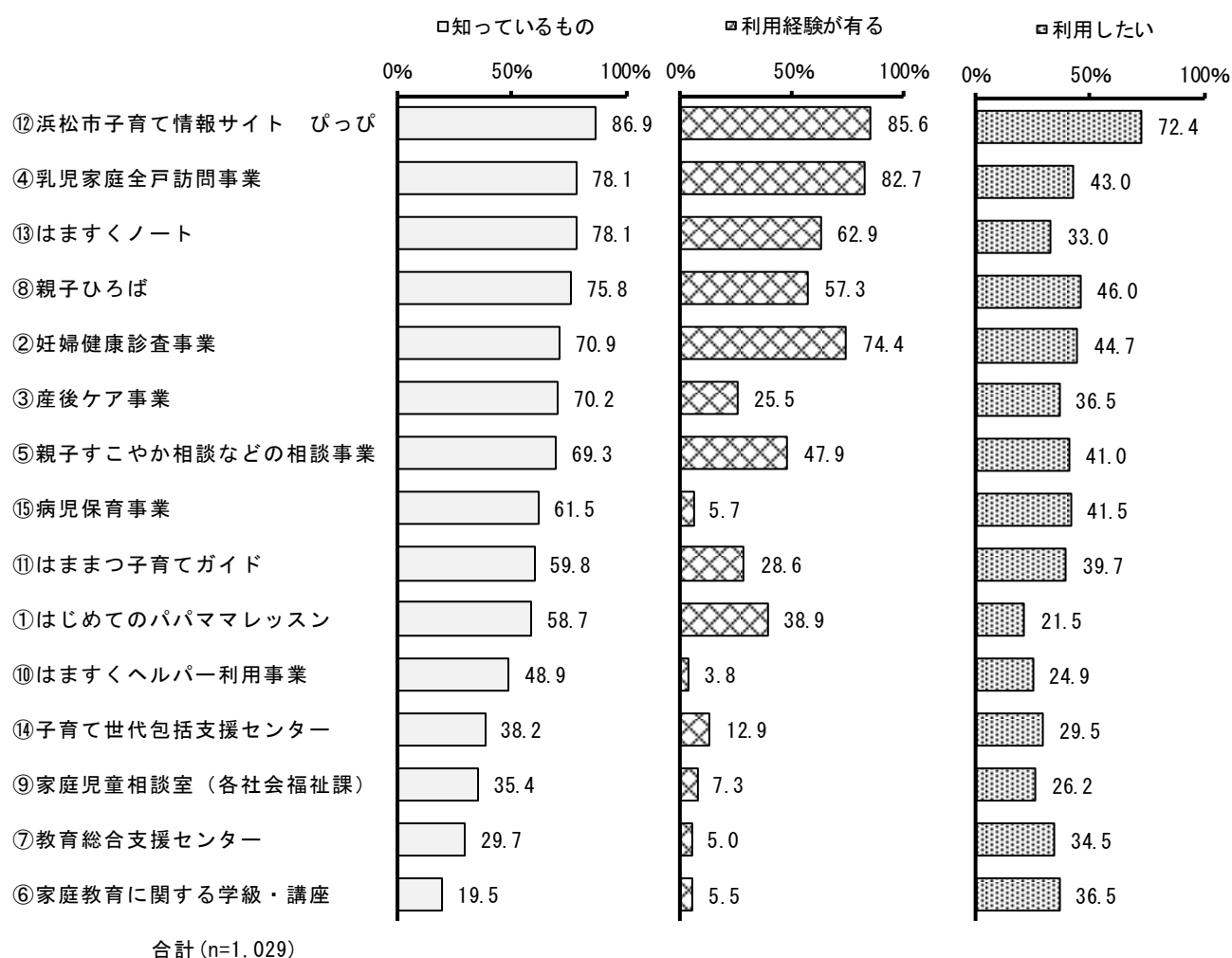
1ヶ月の回数は1/4で算出しているため1回未満がある。

②浜松市の子育て支援事業について

問 19 浜松市子育て事業で「知っているもの」、「これまでに利用したことがあるもの」、「今後、利用したいと思うもの」をお答えください。

- 知っている子育て支援事業は「⑫浜松市子育て情報サイトびっぴ」が 86.9%と最も多く知られている。以下、「④乳児家庭全戸訪問事業」(78.1%)、「⑬はますくノート」(78.1%)、「⑧親子ひろば」(75.8%)、「②妊婦健康診査事業」(70.9%)、「③産後ケア事業」(70.2%) などとなっている。
- 利用したことのある子育て支援事業は「⑫浜松市子育て情報サイトびっぴ」が 85.6%と最も多く利用されている。以下、「④乳児家庭全戸訪問事業」(82.7%)、「②妊婦健康診査事業」(74.4%)、「⑬はますくノート」(62.9%)、「⑧親子ひろば」(57.3%)、「⑤親子すこやか相談などの相談事業」(47.9%) などとなっている。
- 今後利用したい子育て支援事業は「⑫浜松市子育て情報サイトびっぴ」が 72.4%と最も多くの利用意向がある。以下、「⑧親子ひろば」(46.0%)、「②妊婦健康診査事業」(44.7%)、「④乳児家庭全戸訪問事業」(43.0%)、「⑮病児保育事業」(41.5%)、「⑤親子すこやか相談などの相談事業」(41.0%) などとなっている。

【浜松市の子育て支援事業の認知度、利用経験、利用意向】



③浜松市の子育て支援事業を利用しての感想

問 19-1 利用して良かった点や工夫してほしい点があれば記入してください。

主な意見

①はじめてのパパママレッスン

- 出産前に夫婦で相談したり話し合うとても良い機会となった。
- 夫婦で参加することで親になることへの不安が減ったと思う。
- 沐浴指導や、男性の妊婦体験ができてよかった。

②妊婦健康診査事業

- 初めての妊娠で、どの頻度で受診すればよいか不安があったので、定期的に受診できてよかった。
- 事業内容は良いと思うが、利用料金が高いと感じた。

③産後ケア事業

- 身体的なこと、子育てのこと、自身の体調等について相談でき、精神的にも支えになった。
- 産後ケア事業を利用したが、料金が高いと感じた。出産直後は出費が多く、料金が安ければ利用しやすいと思う。

④乳児家庭全戸訪問事業

- 初めての出産・育児で不安な中、区の保健師さんが来てくれて、たいへん助かった。
- 保健師さんにいろいろ相談できたり、励ましてもらえたりしたことが、心強かった。希望する方は、2 ヶ月、3 ヶ月も訪問してもらえたらいいと思った。

⑤親子すこやか相談などの相談事業

- 親子すこやか相談は子育ての不安などを相談できたので、とても助かった。LINE での予約システムも利用しやすかった。
- 身体測定や食事について、相談した。検診のない時期の育ち具合などの状況も分かり、アドバイスをいただけたので、悩みが少し軽くなった。

⑥家庭教育に関する学級・講座

- なし

⑦教育総合支援センター

- なし

⑧親子ひろば

- 親子ひろばは無料で様々な場所で行われおり、乳幼児の遊び場としてたいへんよかった。
- それぞれの親子ひろばで、イベントがあったり、先生たちがとても優しく声を掛けてくださったり、孤立せず親子で楽しく過ごせた。また、親同士の交流の場所としてもよかった。

⑨家庭児童相談室（各社会福祉課）

- なし

⑩はますくヘルパー利用事業

- なし

⑪はままつ子育てガイド

- はままつ子育てガイドはわかりやすく、出産から子育てまで参考になった。

⑫浜松市子育て情報サイト ぴっぴ

- 行政的な情報からおでかけ・発達のことまで幅広く載っていて、とても助かる。
- 浜松のママ達の中でぴっぴはかなり浸透していると思う。子育て事業がまとまっていて、とても見やすい。
- 書類等印刷などでもできるようになっていて、使いやすくなっていると思う。

⑬はますくノート

- 赤ちゃんのときの子供の様子を大きくなってから見返すことができ良い思い出になる。
- 家庭だけでなく産院や小児科でも、はますくノートの利用をもっと広めてほしい。
- 成長記録は母子手帳に残すので、二重に記録するのは面倒で使わなくなった。不要ではないか。

⑭子育て世代包括支援センター

- なし

⑮病児保育事業

- 病児保育事業を拡充してほしい。

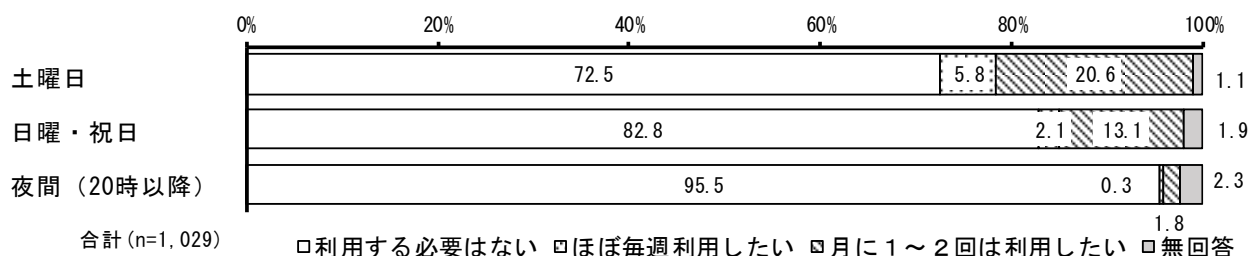
6. 平日以外の教育・保育事業の利用意向について

①土曜日と日曜日・祝日又は夜間の定期的な教育・保育事業の利用意向

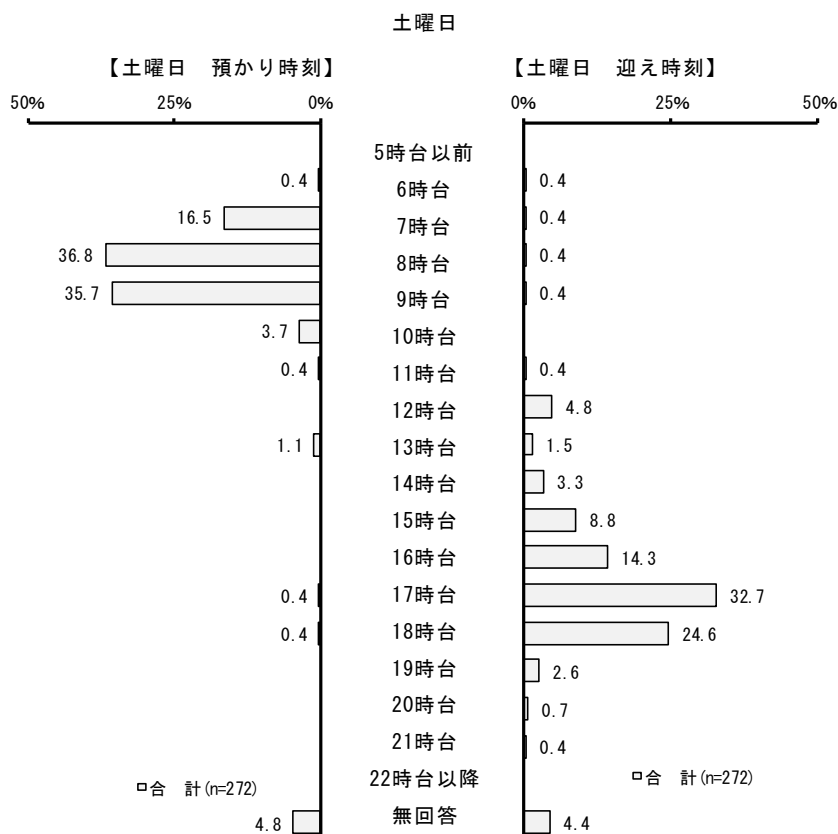
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日又は夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）（○はそれぞれ1つ）※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 土曜日の利用意向は「月に1～2回は利用したい」が20.6%、「ほぼ毎週利用したい」が5.8%で、「利用する必要はない」は72.5%となっている。
- 日曜・祝日の利用意向は「月に1～2回は利用したい」が13.1%、「ほぼ毎週利用したい」が2.1%で、「利用する必要はない」は82.8%となっている。
- 夜間（20時以降）の利用意向は「月に1～2回は利用したい」が1.8%、「ほぼ毎週利用したい」が0.3%で、「利用する必要はない」は95.5%となっている。

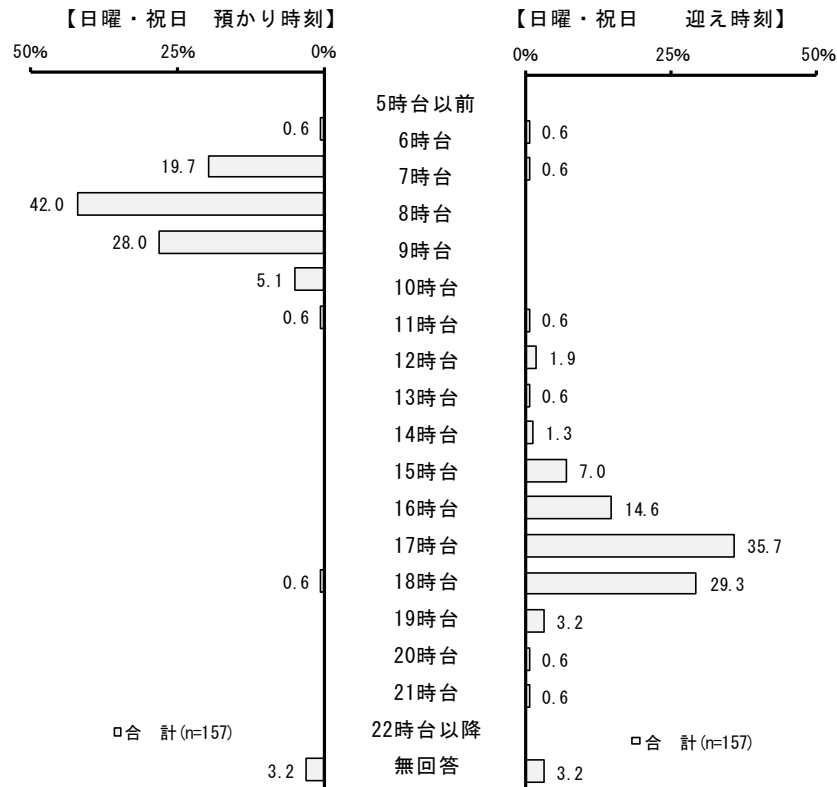
【平日以外の定期的な教育・保育事業の利用意向】



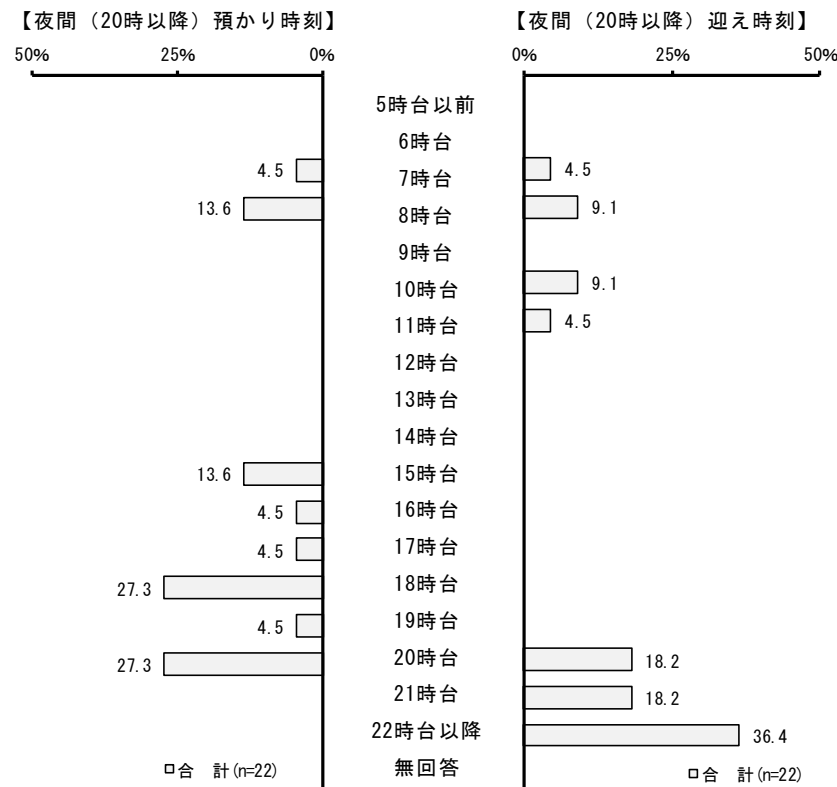
【浜松市の子育て支援事業、利用したい時間帯】



日曜・祝日



夜間（20時以降）

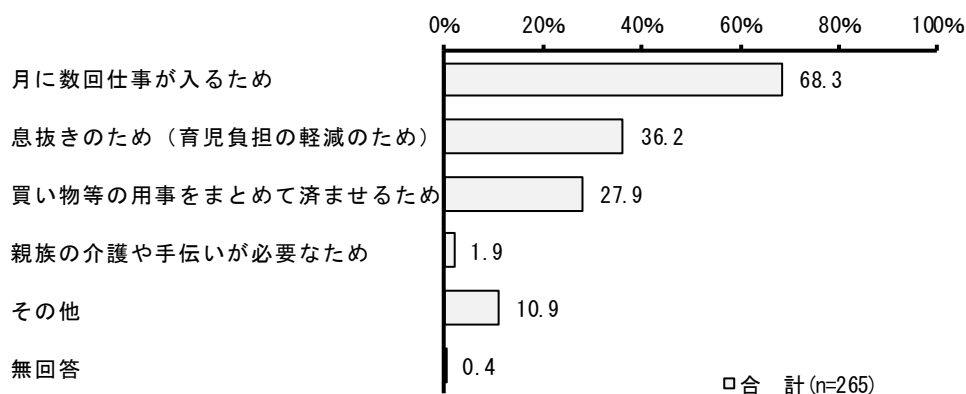


問 20 で土曜日と日曜日・祝日又は夜間のいずれかで、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 利用頻度が「月に 1～2 回」と不定期な理由は「月に数回仕事が入るため」が 68.3%と最も多い。以下。「息抜きのため（育児負担の軽減のため）」（36.2%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（27.9%）などとなっている。

【利用が月に 1～2 回ではない理由】



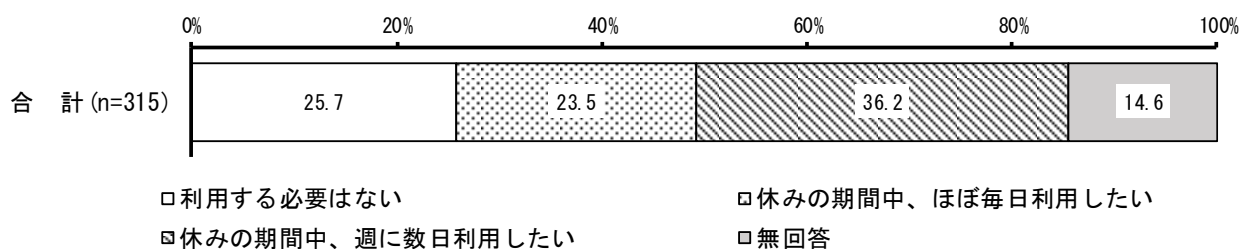
②幼稚園児の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向

「幼稚園」（認定こども園を除く）を利用されている方にうかがいます。

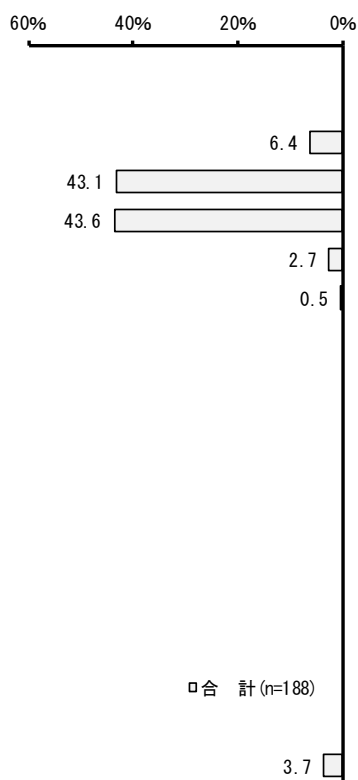
問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

●幼稚園児の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向は「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.5%で、「利用する必要はない」は25.7%であった。

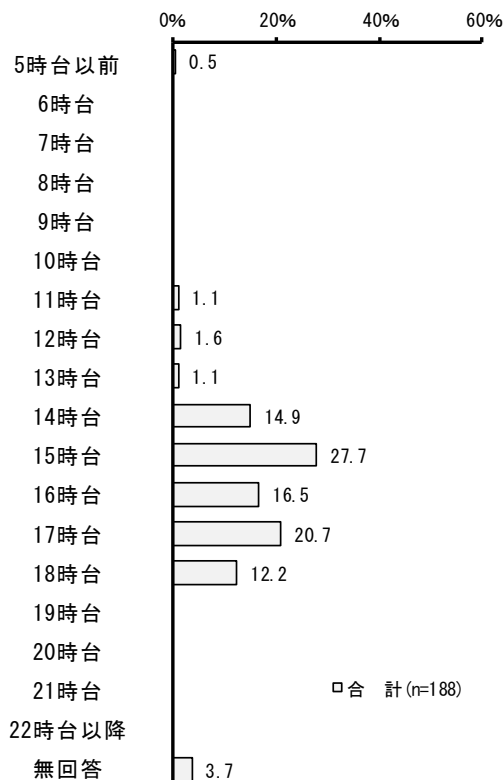
【長期期間中の教育・保育事業の利用意向と利用時間帯】



【長期休暇 預かり時刻】



【長期休暇 迎え時刻】

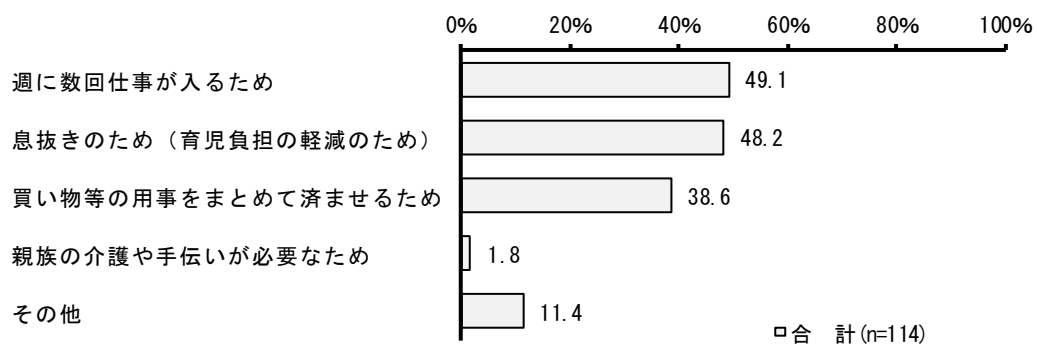


問 21 「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、時々利用したい理由はなんですか。（○はいくつでも）

- 利用頻度が「休みの期間中、週に数日利用したい」理由は「週に数回仕事が入るため」が 49.1%、「息抜きのため（育児負担の軽減のため）」が 48.2%、次いで、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 38.6%などとなっている。

【利用が毎日ではない理由】



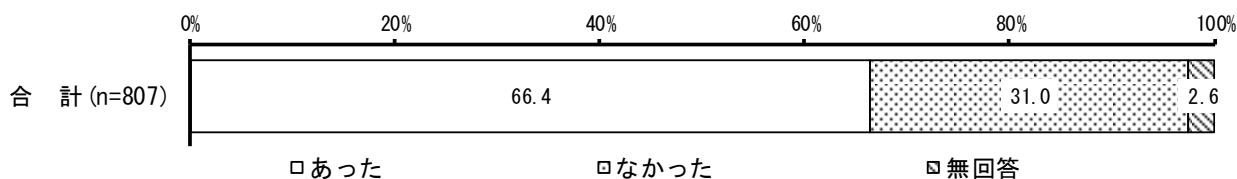
③幼稚園児が病気の際の対応状況

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

- この1年間に幼稚園児（平日の教育・保育を利用する子ども）が病気等で通常の事業が利用できなかったことが「あった」は66.4%、「なかった」は31.0%であった。

【病気等で通常の事業が利用できなかったことの有無】

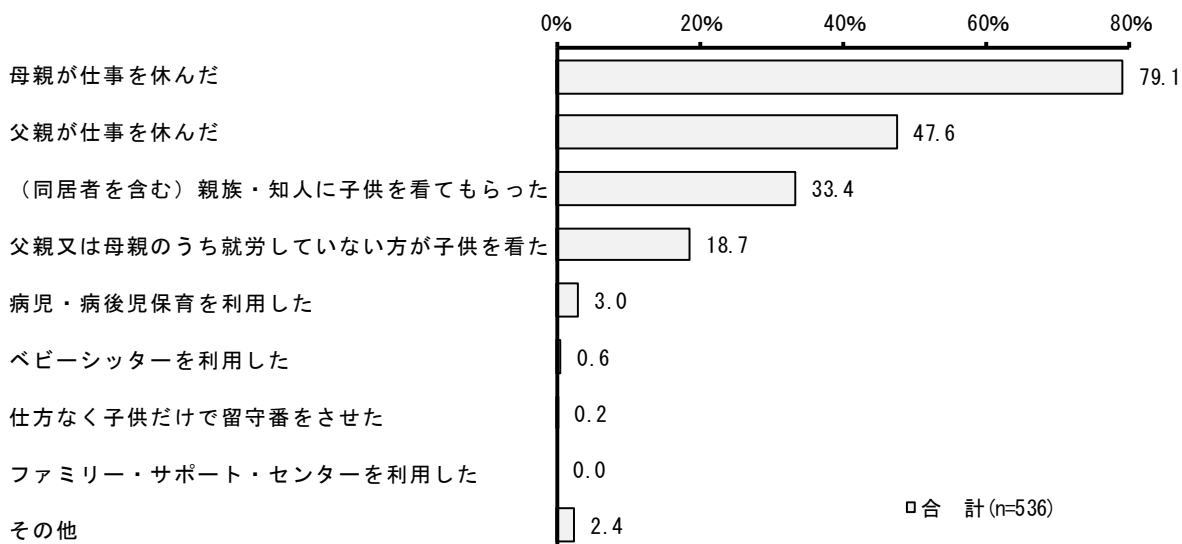


問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 その際、この1年間に行った対処方法を教えてください。（○はいくつでも）

- 幼稚園児が病気等で通常の事業が利用できなかった際の対処方法は「母親が仕事を休んだ」が79.1%で最も多い。以下、「父親が仕事を休んだ」（47.6%）、「（同居者を含む）親族・知人に子供を看てもらった」（33.4%）などとなっている。

【病気等で通常の事業が利用できなかった際の対処方法と日数】



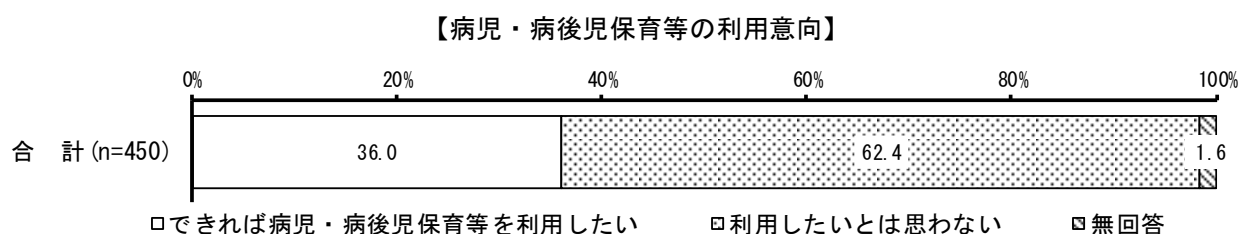
対処方法と日数	調査回答数	1日	2日	3日	4日	5日	6-14日	15日以上	無回答
母親が仕事を休んだ	424	3.8%	5.9%	7.5%	2.6%	16.7%	29.5%	26.2%	7.8%
父親が仕事を休んだ	255	15.3%	14.9%	12.9%	2.4%	19.6%	21.2%	6.3%	7.5%
（同居者を含む）親族・知人に子供を看てもらった	179	10.6%	16.2%	17.3%	2.8%	17.3%	15.1%	8.4%	12.3%
父親又は母親のうち就労していない方が子供を看た	100	2.0%	1.0%	2.0%	2.0%	6.0%	22.0%	20.0%	45.0%
病児・病後児保育を利用した	16	18.8%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	37.5%	6.3%	0.0%
ベビーシッターを利用した	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
仕方なく子供だけで留守番をさせた	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0								
その他	13	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	15.4%	30.8%

問 22-1 で父親、母親が対処したと回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思いましたか。(○は1つ)

※なお、病児・病後児保育等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

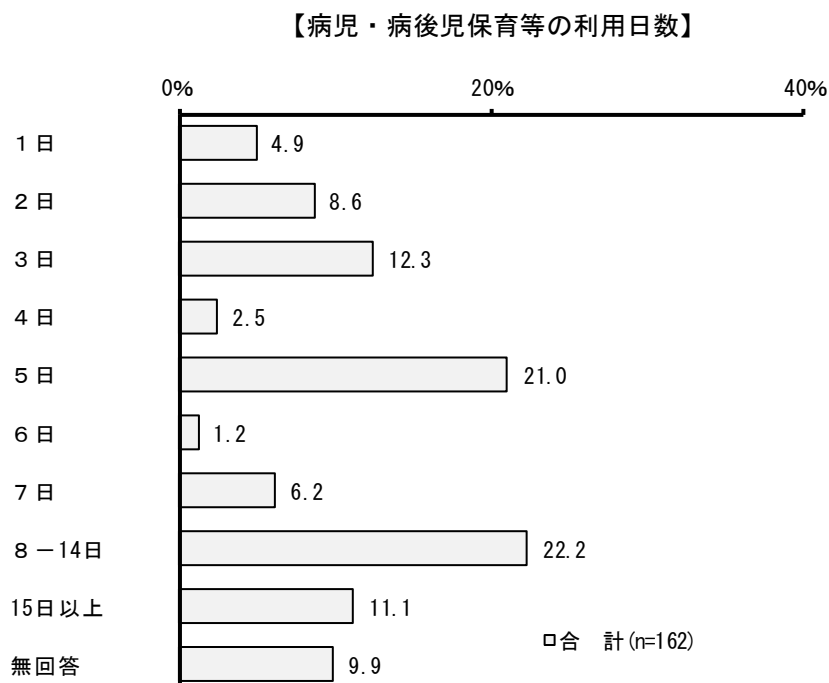
- 父親、母親が対処した際に、病児・病後児保育等を「利用したいと思った」は 36.0%で、「利用したいと思わなかった」が 62.4%であった。



問 22-2 で「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思った方へ

問 22-2 その際、希望される対処日数を教えてください。

- 病児・病後児保育等で利用したい日数は「8～14日」が 22.2%と最も多い。以下、「5日」(21.0%)、「3日」(12.3%)、「15日以上」(11.1%) などとなっている。

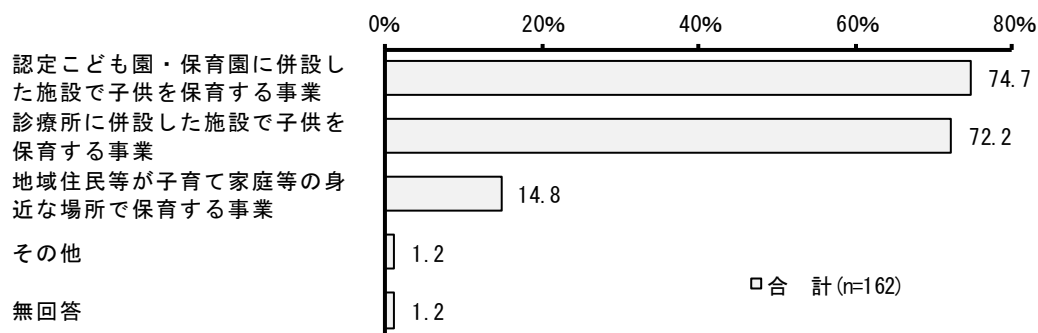


問 22-2 で「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思った方へ

問 22-3 その際、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

- 利用する際の望ましい事業形態は「認定こども園・保育園に併設した施設で子供を保育する事業」が 74.7%、「診療所に併設した施設で子供を保育する事業」は 72.2%などとなっている。

【病児・病後児保育等の望ましい事業形態】

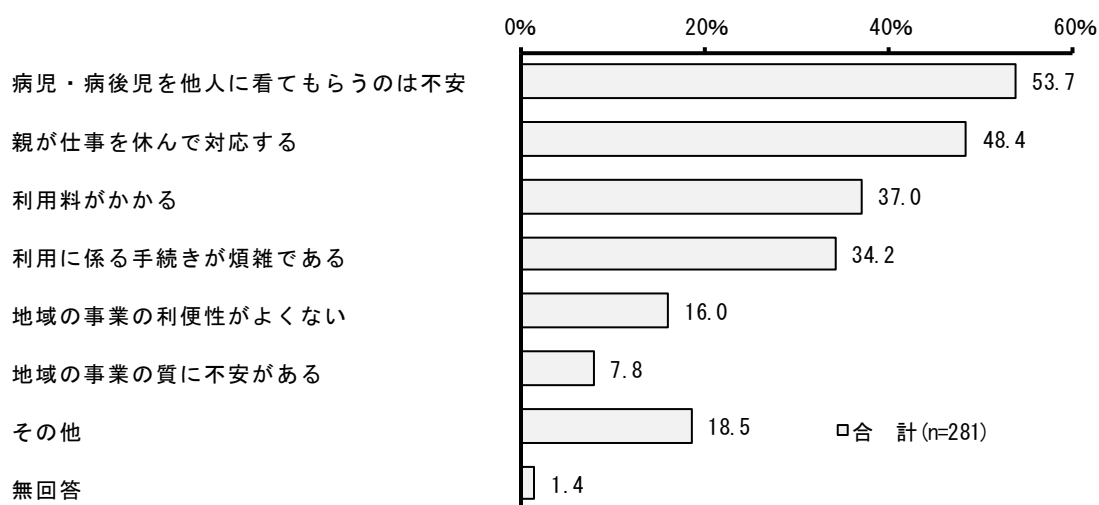


問 22-2 で「利用したいとは思わない」と思った方へ

問 22-4 そう思われる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 利用したいと思わなかった理由は「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 53.7%と最も多い。以下、「親が仕事を休んで対応する」(48.4%)、「利用料がかかる」(37.0%)、「利用に係る手続きが煩雑である」(34.2%) などとなっている。

【病児・病後児保育等を利用したいと思わなかった理由】

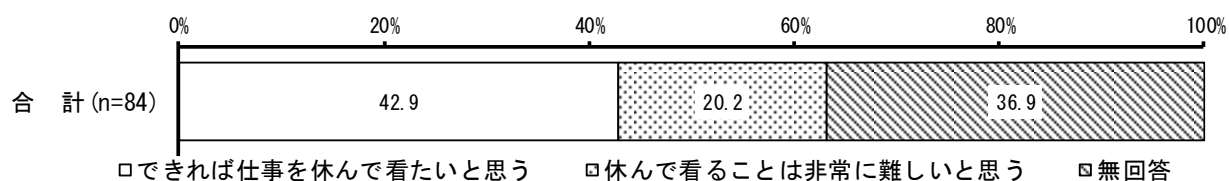


問 22-1 で父親、母親が対処しなかった（問 22-1 で 3～9 だけ）と回答した方にうかがいます。

問 22-5 できれば仕事を休んで看たいと思いましたが。（○は 1 つ）

- 父親、母親が対処できなかった際に「できれば仕事を休んで看たいと思った」は 42.9%、「休んで看することは非常に難しいと思う」が 20.2%であった。

【対処できなかった際の気持ち】

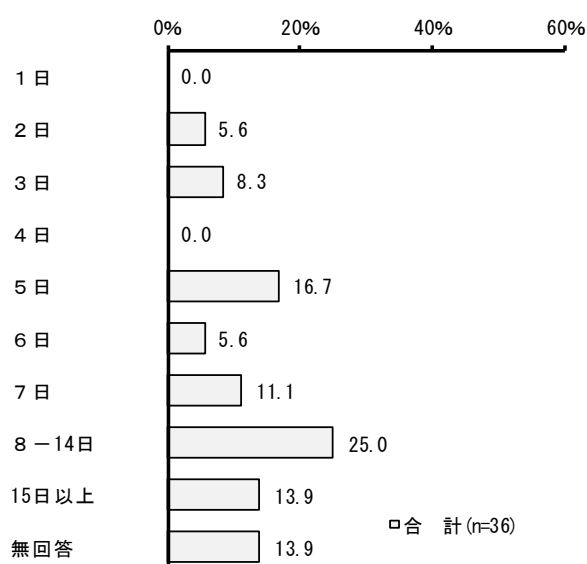


問 22-5 できれば仕事を休んで看たいと思った方へ

問 22-5 その際、希望される対処日数を教えてください。

- できれば休んで看たかったと思った日数は「8～14 日」が 25.0%と最も多い。以下、「5 日」(16.7%)、「15 日以上」(13.9%) などとなっている。

【休んで看たかった日数】

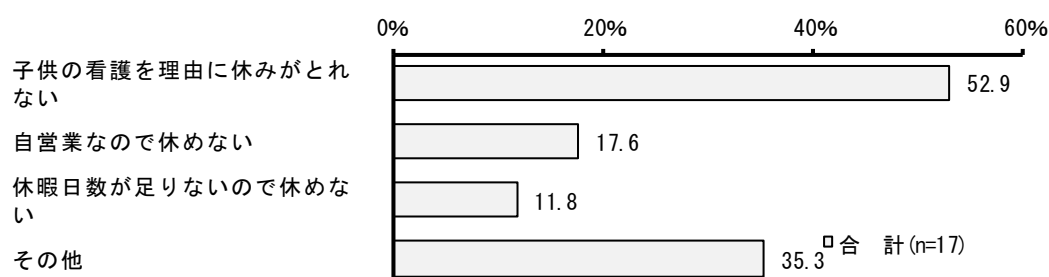


問 22-5 休んで看することは非常に難しいと思った方へ

問 22-6 そう思う理由を教えてください。（○はいくつでも）

- 休んで看することは非常に難しいと思った理由は「子供の看護を理由に休みがとれない」が 52.9%と最も多い。次いで、「自営業なので休めない」(17.6%)、「休假日数が足りないので休めない」(11.8%) などとなっている。

【休んで看することは非常に難しいと思った理由】

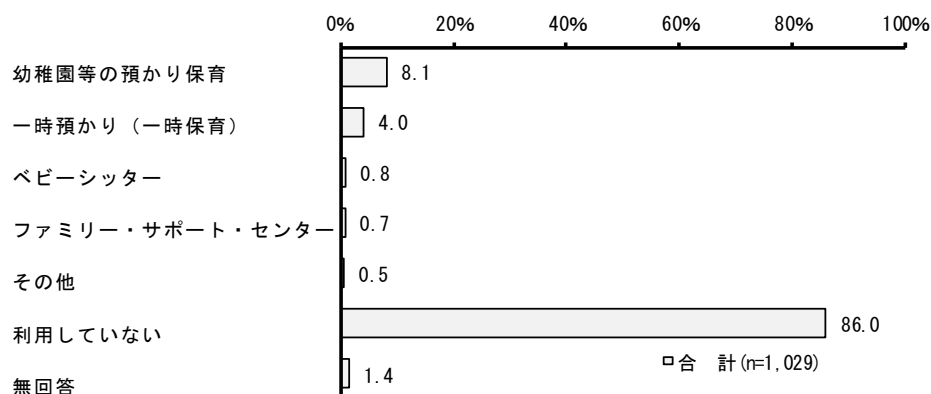


④不定期の教育・保育事業や宿泊利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（○はいくつでも）
その際、この１年間に利用した対処日数を教えてください。

- 不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は「幼稚園等の預かり保育」が 8.1%となっている。一方、「利用していない」は 86.0%であった。

【不定期に利用している事業と利用日数】



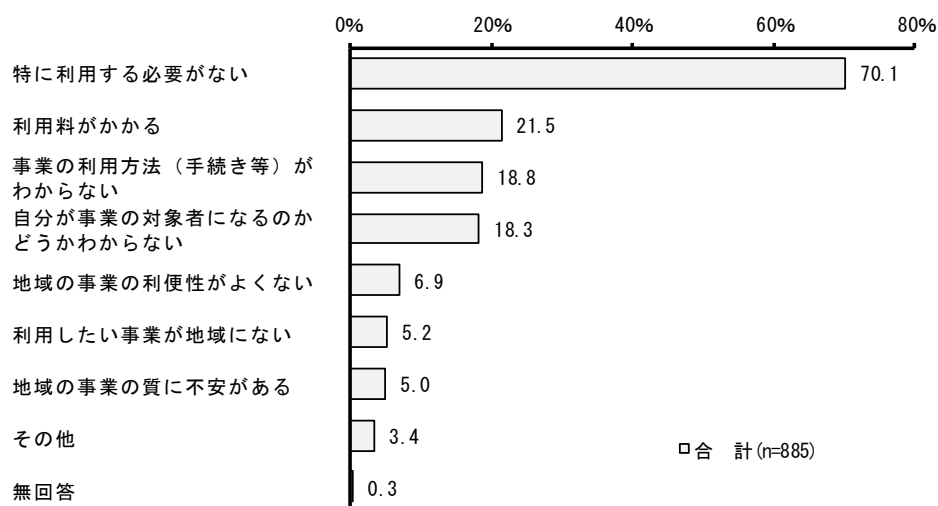
利用している事業と日数	調査 回答数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6-14 日	15 日以上	無回答
幼稚園等の預かり保育	83	6.0%	7.2%	8.4%	1.2%	12.0%	19.3%	33.7%	12.0%
一時預かり（一時保育）	41	12.2%	9.8%	14.6%	0.0%	4.9%	19.5%	34.1%	4.9%
ベビーシッター	8	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
ファミリー・サポート・センター	7	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
その他	5	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%

問 23 で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 現在利用していない理由は「特に利用する必要がない」が 70.1%と最も多い。以下、「利用料がかかる」（21.5%）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（18.8%）、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」（18.3%）などとなっている。

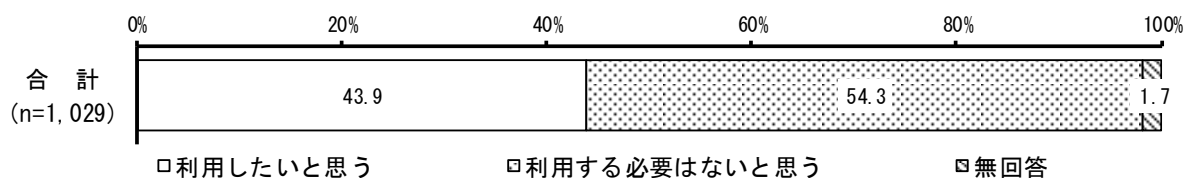
【現在利用していない理由】



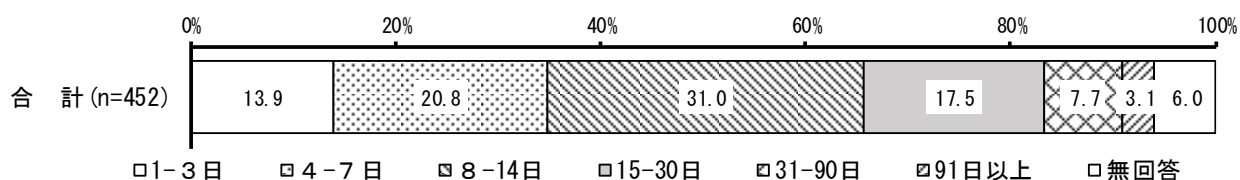
問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。(〇は1つ) 利用する必要があると思った場合、1年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。

- 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を「利用したいと思う」が 43.9%で「利用する必要はないと思う」は 54.3%であった。

【私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業利用意向と必要日数】



- 事業を利用するのに必要な日数は「8～14日」が 31.0%と最も多い。以下、「4～7日」(20.8%)、「15～30日」(17.5%) などとなっている。



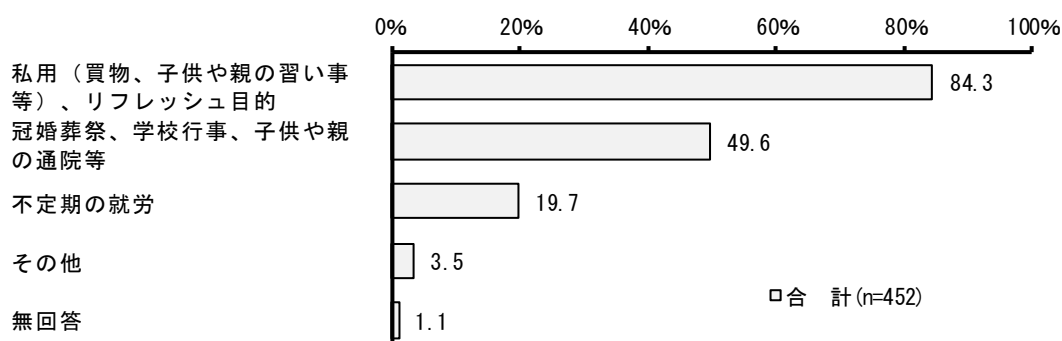
問 24 で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいと思う方にうかがいます。

問 24-1 目的ごとに年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- 私用、親の通院等の目的で利用する事業は「私用（買物、子供や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 84.3%と最も多い。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子供や親の通院等」49.6%などとなっている。

【利用目的と必要日数】



利用する理由と日数	調査回答数	1－3日	4－7日	8－14日	15-30日	31-90日	91日以上	無回答
私用、リフレッシュ目的	381	19.7%	23.9%	22.6%	8.7%	5.0%	0.5%	19.7%
冠婚葬祭、学校行事、子供や親の通院等	224	21.4%	32.1%	20.1%	10.3%	2.2%	0.0%	13.8%
不定期の就労	89	6.7%	14.6%	16.9%	12.4%	10.1%	2.2%	37.1%
その他	16	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	18.8%	0.0%	18.8%

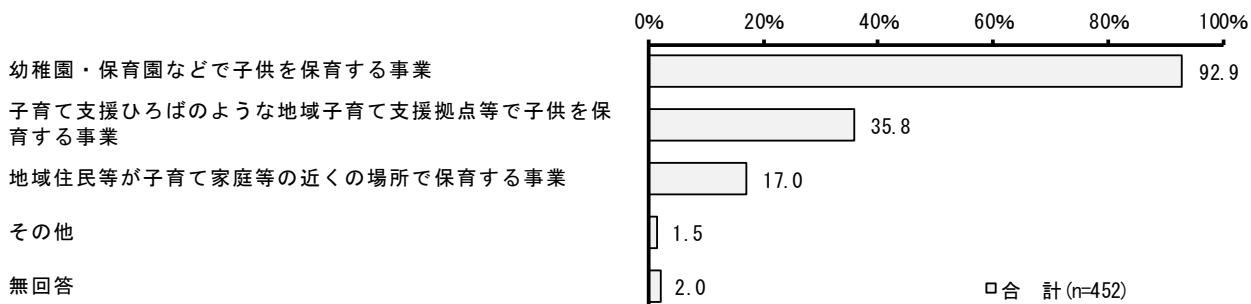
問 24 で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいと思う方にうかがいます。

問 24-2 問 24-1 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(○はいくつでも)

- 私的な目的で事業を利用する場合に望ましい事業形態は「幼稚園・保育園などで子供を保育する事業」が 92.9%と最も多い。次いで「子育て支援ひろばのような地域子育て支援拠点等で子供を保育する事業」が 35.8%などとなっている。

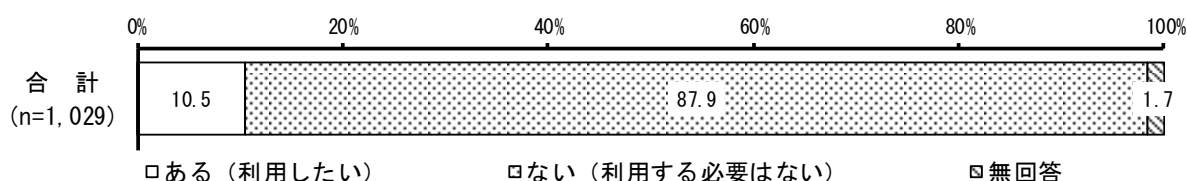
【私的な目的で事業を利用する場合に望ましい事業形態】



問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。（○は1つ）

- 保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預ける必要が「ある（利用したい）」は10.5%、「ない（利用する必要はない）」は87.9%となっている。

【子どもを保護者の用事で泊りがけで家族以外に預ける必要の有無】

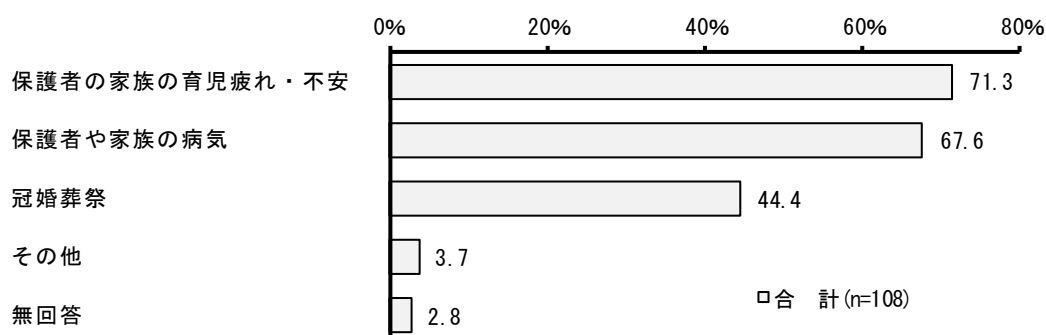


問 25 で「1. ある（利用したい）」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 目的ごとに一年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。当てはまる全てに○を付け、必要な泊数を記入してください。 ※なお、事業の利用にあたっては、一定の料金がかかります。

- 保護者の用事で泊りがけで家族以外に預ける必要があるのは「保護者の家族の育児疲れ・不安」が71.3%で最も多く、続いて「保護者や家族の病気」が67.6%などとなっている。

【泊りがけが必要な用事と必要宿泊数】



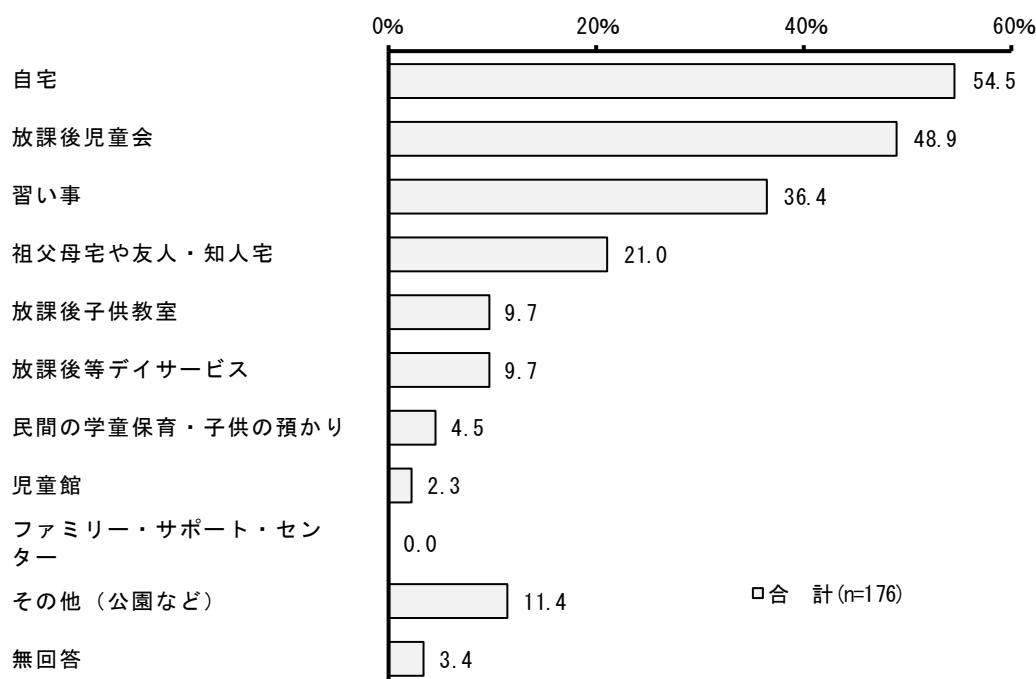
利用する理由と泊数	調査 回答数	1－3泊	4－7泊	8－14泊	15－21泊	22－28泊	29泊以上	無回答
保護者の家族の育児疲れ・不安	77	44.2%	31.2%	13.0%	3.9%	1.3%	3.9%	2.6%
保護者や家族の病気	73	45.2%	30.1%	12.3%	6.8%	0.0%	0.0%	5.5%
冠婚葬祭	48	70.8%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
その他	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑤小学校就学後の放課後の過ごし方について（５歳以上）

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）

- 小学校に就学した低学年（１～３年生）時、希望する放課後の居場所は「自宅」が 54.5%と最も多い。以下、「放課後児童会」（48.9%）、「習い事」（36.4%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（21.0%）などとなっている。

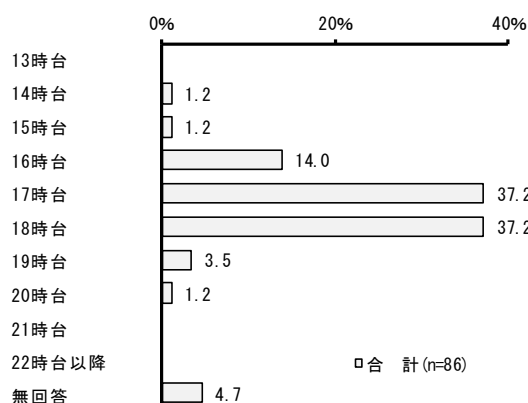
【小学校就学後の放課後の居場所 小学校低学年（１～３年生）】



【小学校就学後の放課後の居場所別利用日数 小学校低学年（１～３年生）】

場所と日数	調査 回答数	週に 1 日	週に 2 日	週に 3 日	週に 4 日	週に 5 日	週に 6 日	週に 7 日	無回答
自宅	96	9.4%	15.6%	29.2%	6.3%	31.3%	1.0%	3.1%	4.2%
放課後児童会	86	3.5%	8.1%	11.6%	15.1%	58.1%	0.0%	1.2%	2.3%
習い事	64	37.5%	39.1%	14.1%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%
祖父母宅や友人・知人宅	37	43.2%	21.6%	8.1%	0.0%	21.6%	0.0%	2.7%	2.7%
放課後子供教室	17	23.5%	41.2%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%
放課後等デイサービス	17	23.5%	29.4%	0.0%	5.9%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%
民間の学童保育・子供の預かり	8	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童館	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ファミリー・サポート・センター	0								
その他（公園など）	20	55.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%

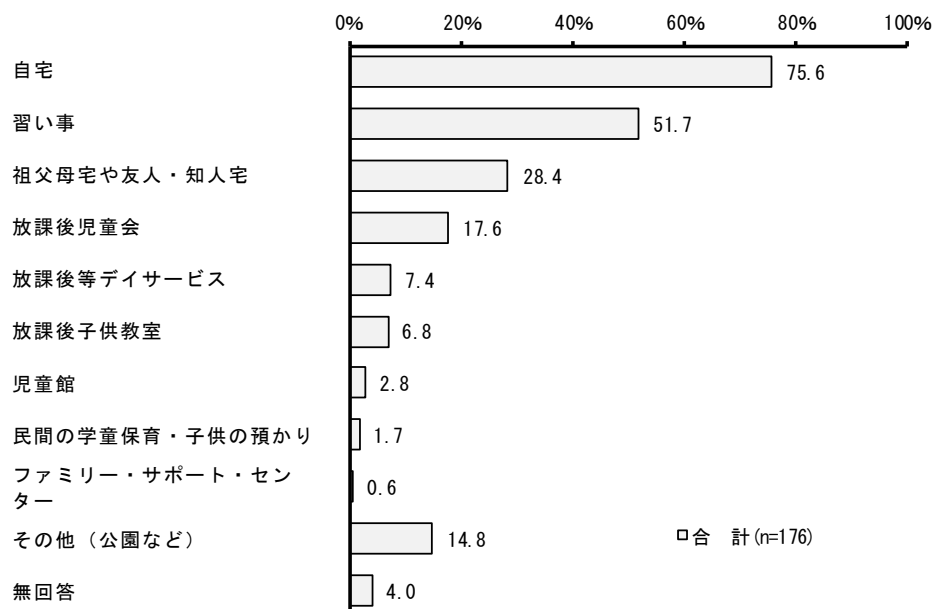
【放課後児童会の利用終了の希望時間 小学校低学年（１～３年生）】



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 小学校に就学した高学年（４～６年生）時、希望する放課後の居場所は「自宅」が75.6%と最も多い。以下、「習い事」（51.7%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（28.4%）、「放課後児童会」（17.6%）などとなっている。

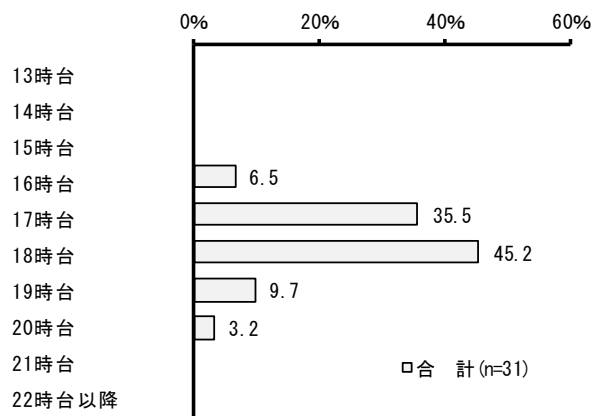
【小学校就学後の放課後の居場所 小学校高学年（４～６年生）】



【小学校就学後の放課後の居場所別利用日数 小学校高学年（４～６年生）】

場所と日数	調査 回答数	週に１日	週に２日	週に３日	週に４日	週に５日	週に６日	週に７日	無回答
自宅	133	8.3%	22.6%	24.8%	9.0%	31.6%	0.0%	1.5%	2.3%
習い事	91	26.4%	44.0%	18.7%	4.4%	4.4%	0.0%	0.0%	2.2%
祖父母宅や友人・知人宅	50	30.0%	32.0%	14.0%	4.0%	16.0%	0.0%	0.0%	4.0%
放課後児童会	31	9.7%	16.1%	29.0%	3.2%	38.7%	0.0%	3.2%	0.0%
放課後等デイサービス	13	23.1%	7.7%	15.4%	7.7%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%
放課後子供教室	12	25.0%	50.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
児童館	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
民間の学童保育・子供の預かり	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
ファミリー・サポート・センター	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他（公園など）	26	34.6%	26.9%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%

【放課後児童会の利用終了の希望時間 小学校高学年（４～６年生）】



問 26・27 で「5. 放課後児童会」の利用意向のある方にうかがいます。

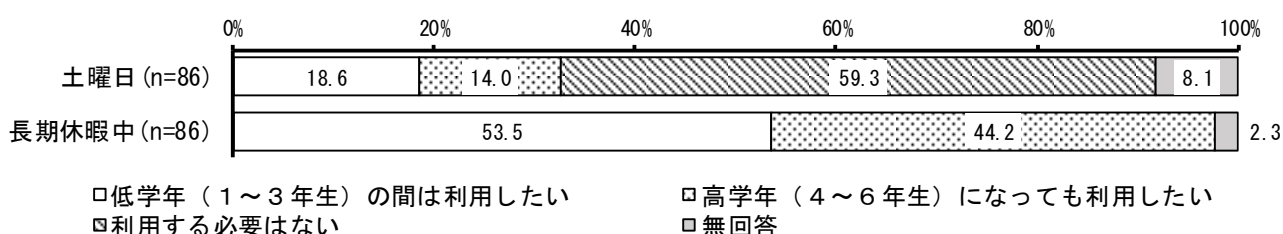
問 28 宛名のお子さんについて、土曜日に、放課後児童会の利用希望はありますか。※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望はありますか。※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

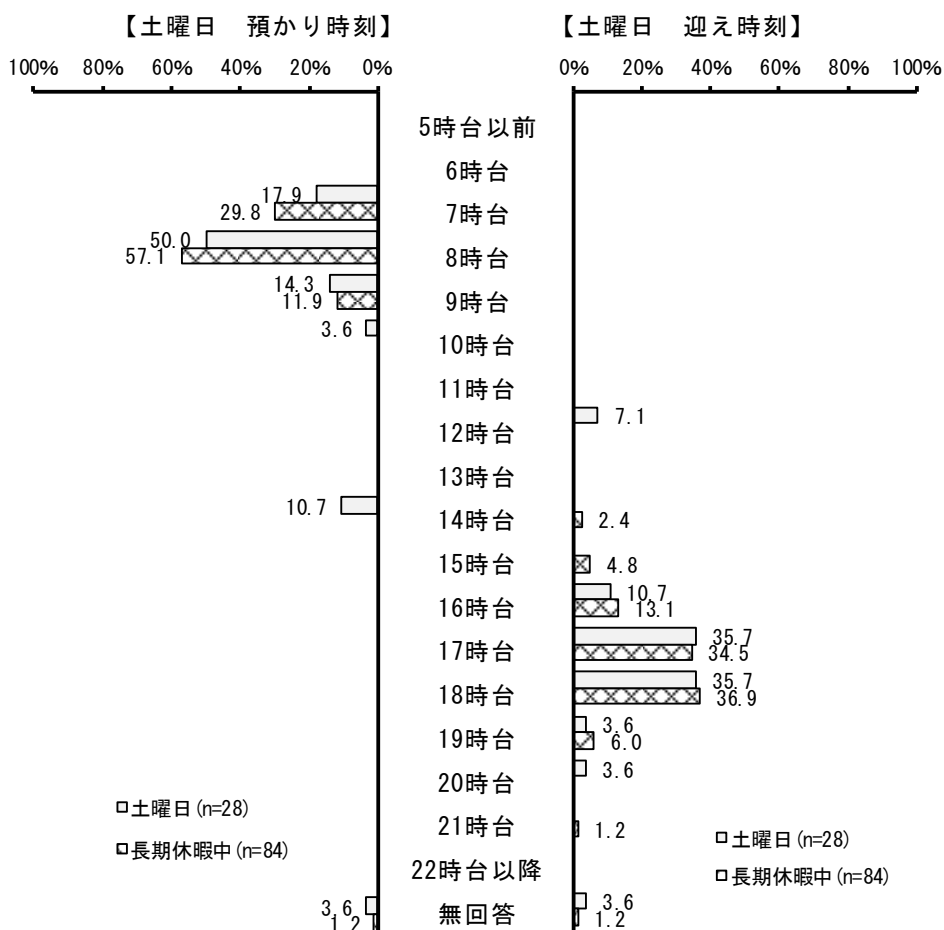
●小学生に就学して放課後児童会利用希望者の、土曜日の利用意向は「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 18.6%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は 14.0%となっている。一方、「利用する必要はない」は 59.3%であった。

●小学生に就学して放課後児童会利用希望者の、長期休暇期間中の利用意向は「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 53.5%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は 44.2%となっている。

【小学校就学後の放課後児童会利用希望者の土曜日、長期休暇中の利用意向】



【利用したい時間帯】



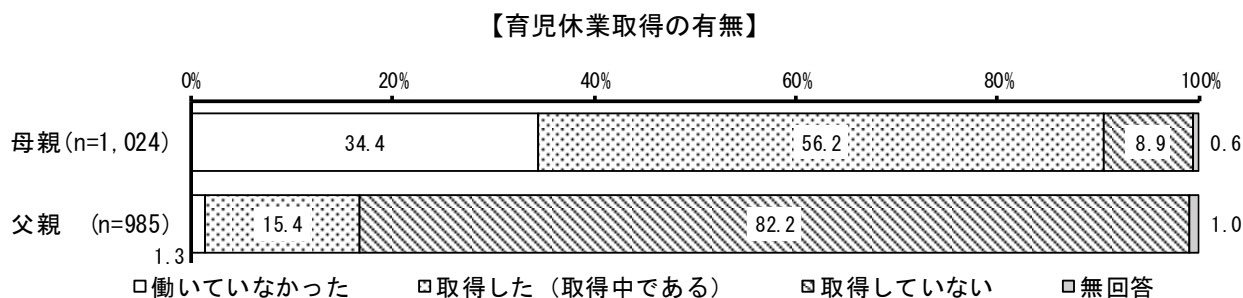
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

①育児休業の取得状況

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(○は1つ)

母親：育児休業を「取得した（取得中である）」が 56.2%、「取得していない」が 8.9%、「働いていなかった」は 34.4%であった。

父親：育児休業を「取得した（取得中である）」が 15.4%、「取得していない」が 82.2%、「働いていなかった」は 1.3%であった。

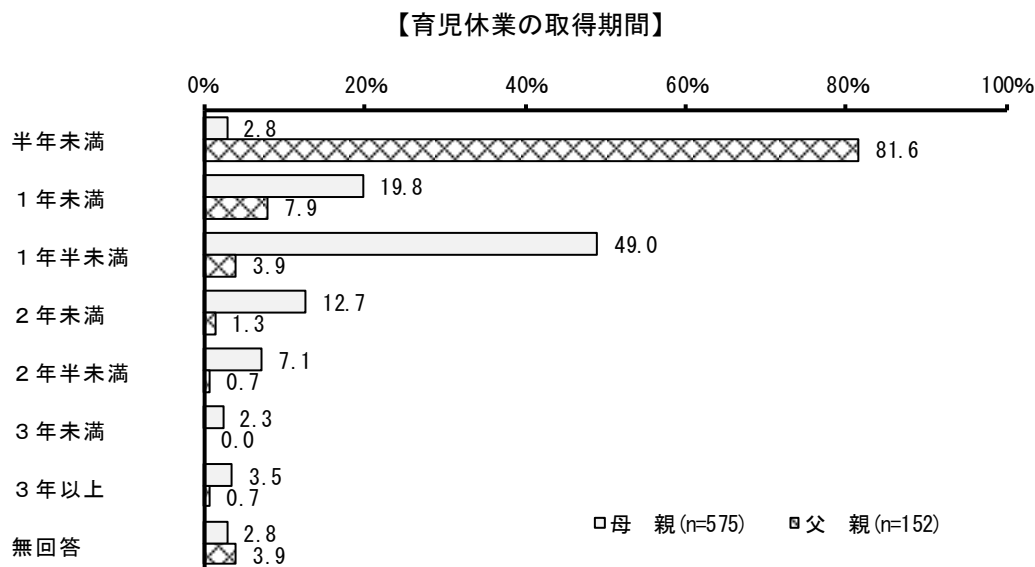


問 30 で「2. 取得した（取得中である）」方へうかがいます。

問 30 育児休業の取得期間はどの位ですか。

母親：育児休業取得者の取得期間は「1年半未満」が 49.0%と最も多い。以下、「1年未満」(19.8%)、「2年未満」(12.7%) などとなっている。

父親：育児休業取得者の取得期間は「半年未満」が 81.6%と最も多い。以下、「1年未満」(7.9%)「1年半未満」(3.9%) などとなっている。



問30で「3. 取得していない」方へ

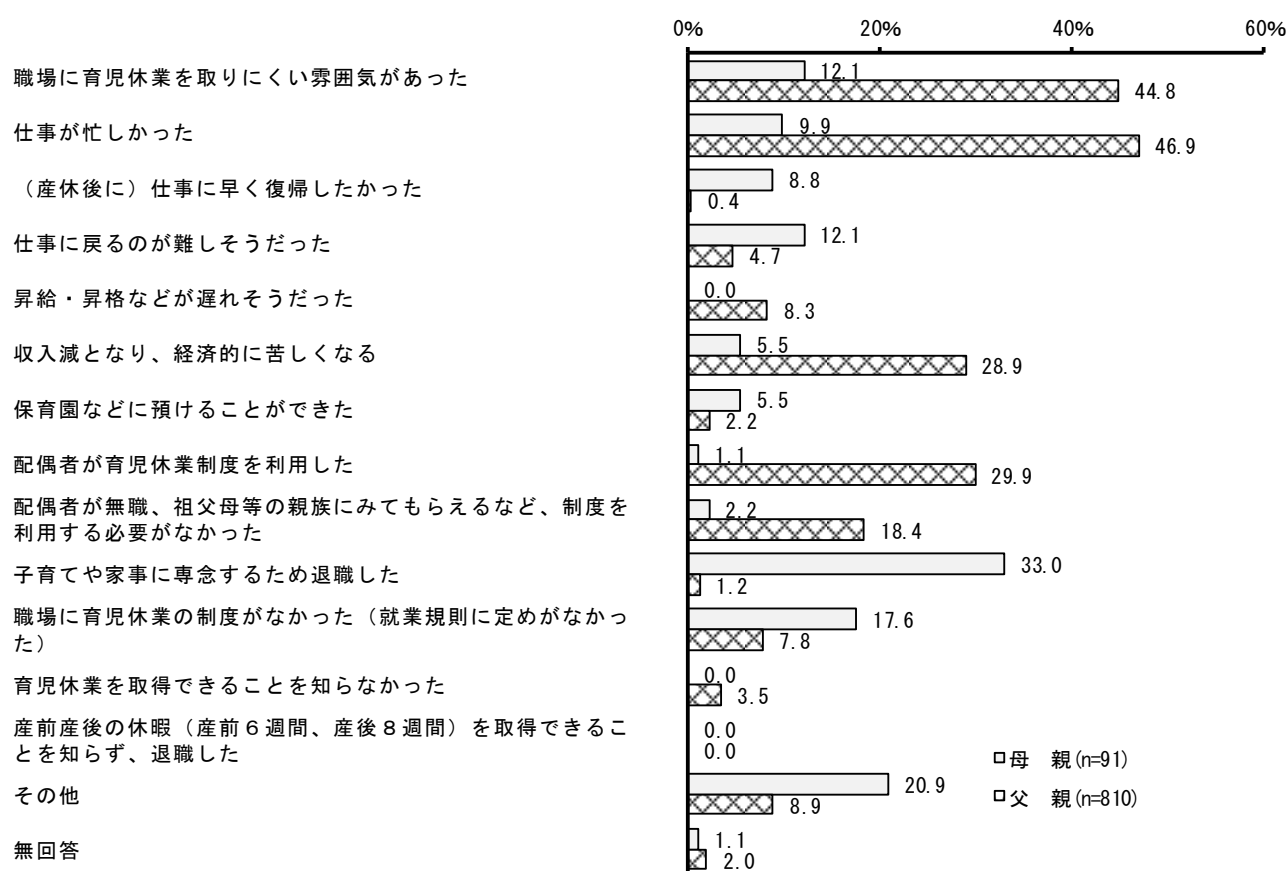
問30 育児休業を取得していない理由は。(〇はいくつでも)

母親：育児休業を取得しなかった理由は「子育てや家事に専念するため退職した」が33.0%と最も多い。

以下、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」(17.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(12.1%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(12.1%) などとなっている。

父親：育児休業を取得しなかった理由は「仕事が忙しかった」が46.9%と最も多い。以下、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(44.8%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(29.9%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(28.9%) などとなっている。

【育児休業を取得しなかった理由】

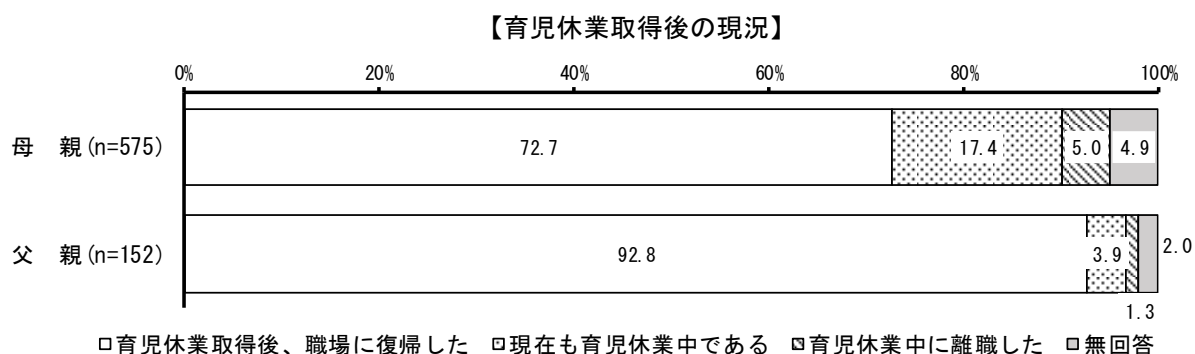


問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は 1 つ）

母親：育児休業取得後の現況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 72.7%、「現在も育児休業中である」が 17.4%、「育児休業中に離職した」は 5.0%となっている。

父親：育児休業取得後の現況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 92.8%、「現在も育児休業中である」が 3.9%、「育児休業中に離職した」は 1.3%となっている。

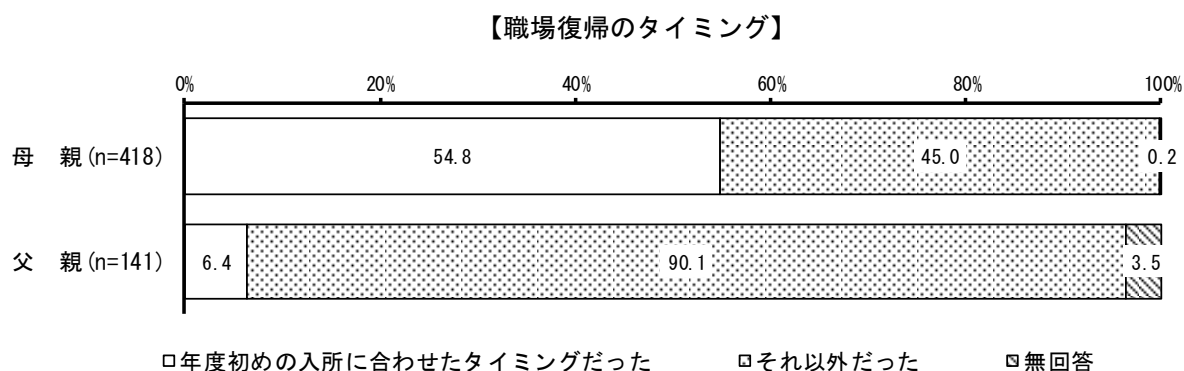


問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園などの入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親：育児休業から職場に復帰したタイミングは「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 54.8%、「それ以外だった」は 45.0%であった。

父親：育児休業から職場に復帰したタイミングは「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は 6.4%、「それ以外だった」が 90.1%であった。



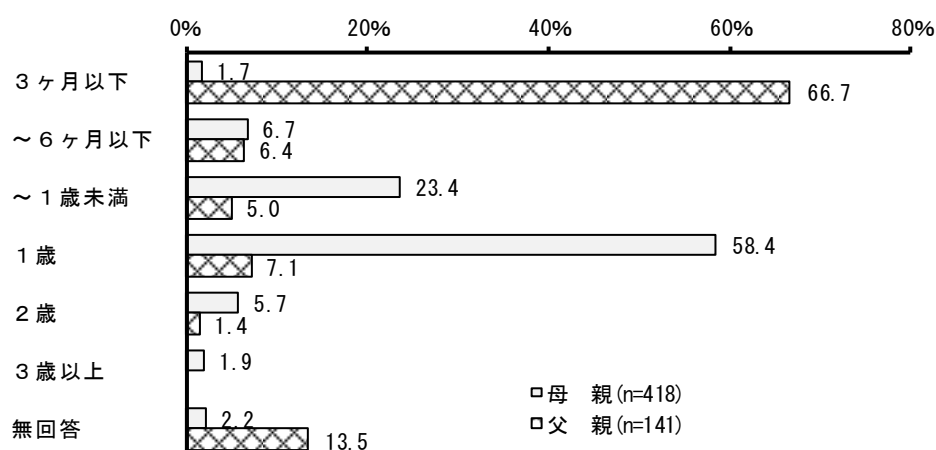
問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親：実際の育児休業取得から職場に復帰の期間は「1歳」が58.4%と最も多い。以下、「～1歳未満」が23.4%などとなっている。

父親：実際の育児休業取得から職場に復帰の期間は「3ヶ月以下」が66.7%と最も多くなっている。

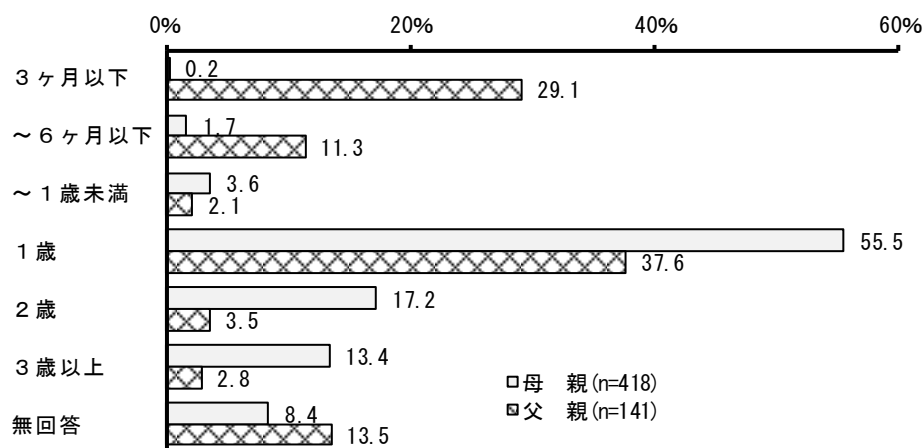
【実際の育児休業期間】



母親：勤務先の育児休業制度の期間内で希望する育児休業期間は「1歳」が55.5%と最も多い。以下、「2歳」(17.2%)、「3歳以上」(13.4%)などとなっている。

父親：勤務先の育児休業制度の期間内で希望する育児休業期間は「1歳」が37.6%と最も多い。以下、「3ヶ月以下」(29.1%)、「～6ヶ月以下」(11.3%)などとなっている。

【勤務先の育児休業制度の期間内で希望する育児休業期間】



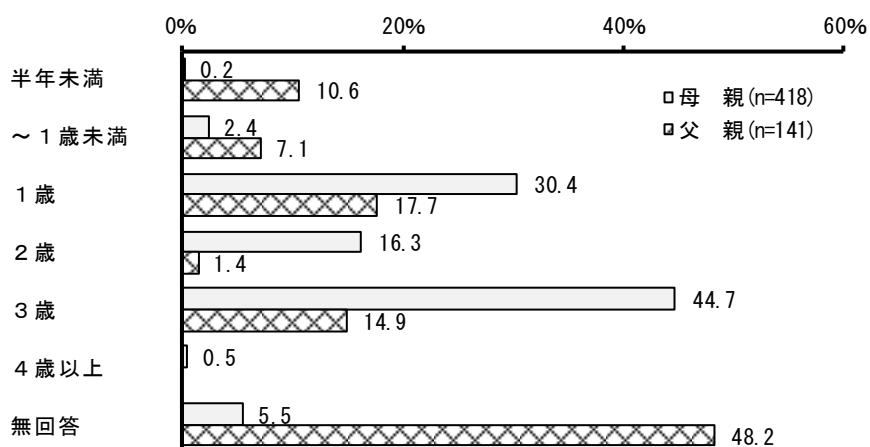
問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親：制度として育児休業期間が3歳までとしたら希望する育児休業期間は「3歳」が44.7%と最も多い。以下、「1歳」(30.4%)、「2歳」(16.3%) などとなっている。

父親：制度として育児休業期間が3歳までとしたら希望する育児休業期間は「1歳」が17.7%と最も多い。以下、「3歳」(14.9%)、「半年未満」(10.6%) などとなっている。

【制度として3歳までの育児休業期間があれば希望した育児休業期間】



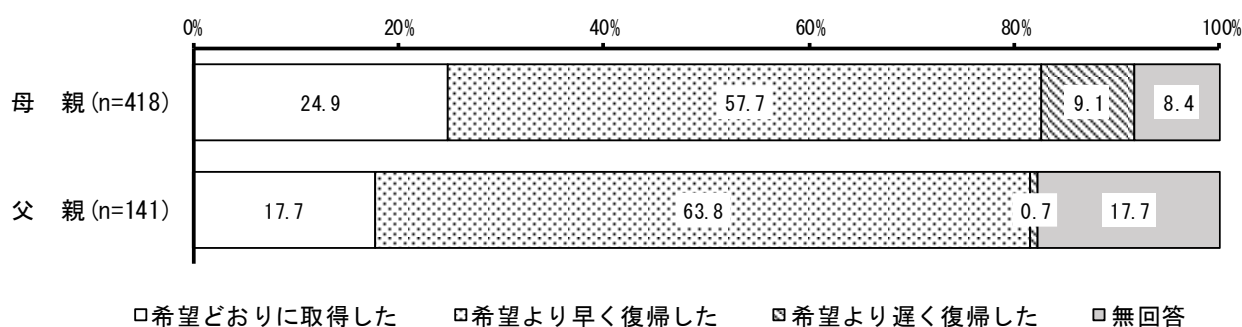
問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-4 育児休業の実際の復帰と希望した復帰が異なる状況

母親：希望した育児休業期間と実際の育児休業期間で「希望どおりに取得した」は 24.9%、「希望より早く復帰した」が 57.7%、「希望より遅く復帰した」は 9.1%であった。

父親：希望した育児休業期間と実際の育児休業期間で「希望どおりに取得した」は 17.7%、「希望より早く復帰した」が 63.8%、「希望より遅く復帰した」は 0.7%であった。

【育児休業期間の希望と実際の期間】



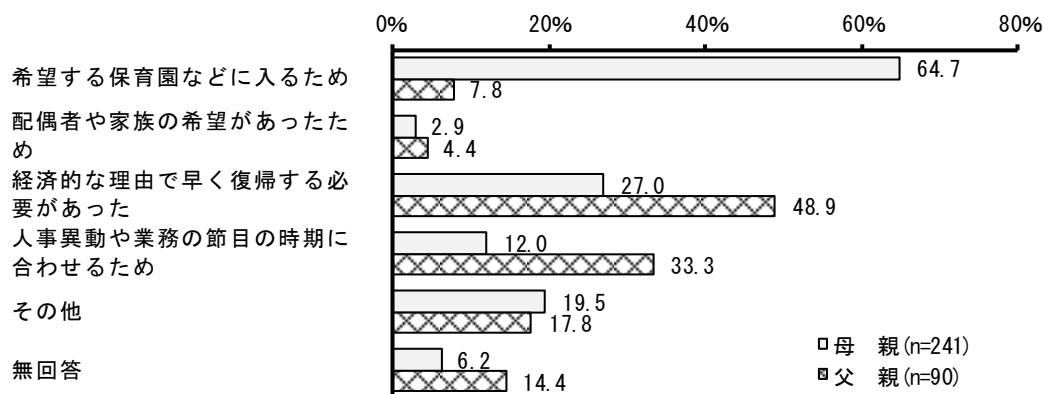
問 30-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(○はいくつでも)

母親：希望した育児休業期間より早く職場復帰した理由は「希望する保育園などに入るため」が 64.7%と最も多い。以下、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」(27.0%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(12.0%) などとなっている。

父親：希望した育児休業期間より早く職場復帰した理由は「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 48.9%と最も多い。以下、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(33.3%) などとなっている。

【育児休業希望期間より早い復帰の理由】

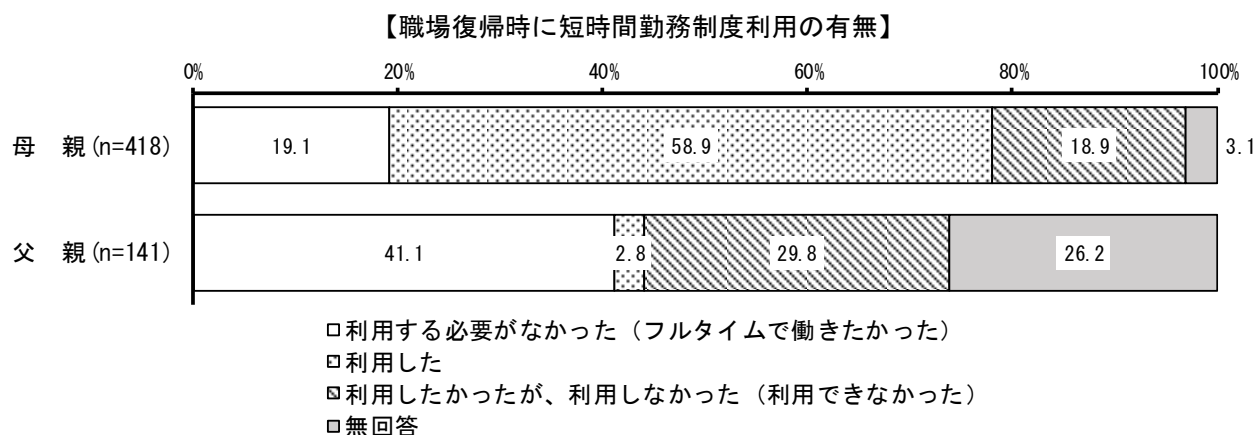


問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

母親：育児休業からの職場復帰時に「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった）」は 19.1%、「利用した」は 58.9%で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 18.9%となっている。

父親：育児休業からの職場復帰時に「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった）」は 41.1%、「利用した」は 2.8%で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 29.8%となっている。

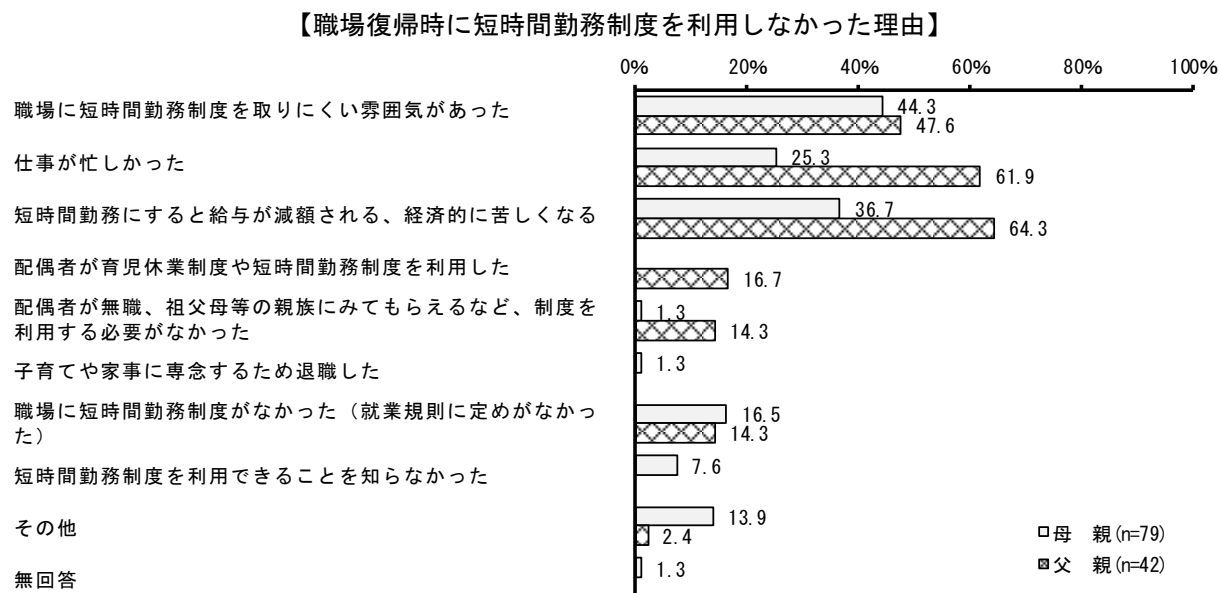


問 30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しなかった方へ

問 30-6-1 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

母親：職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 44.3%と最も多い。以下、「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」(36.7%)、「仕事が忙しかった」(25.3%) などとなり、「職場に短時間勤務制度がなかった」は 16.5%、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」は 7.6%であった。

父親：職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由は「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」が 64.3%と最も多い。以下、「仕事が忙しかった」(61.9%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(47.6%) などとなり、「職場に短時間勤務制度がなかった」は 14.3%であった。



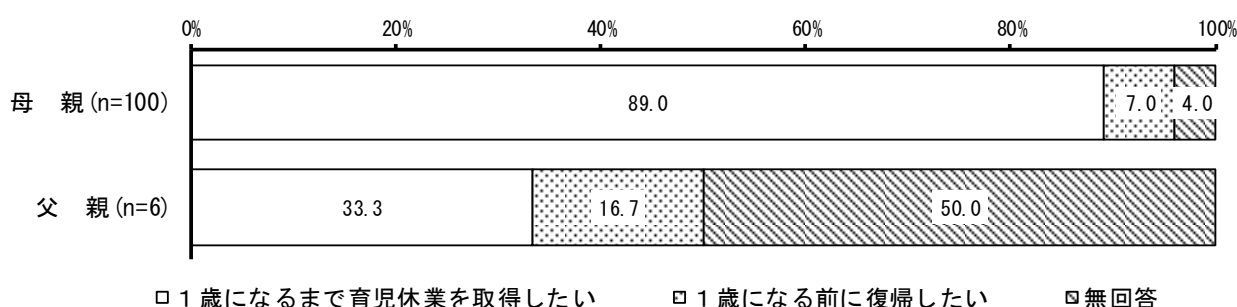
問 30-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。

母親：現在育児休業中の方ではお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば「1歳になるまで育児休業を取得したい」は89.0%で「1歳になる前に復帰したい」は7.0%であった。

父親：現在育児休業中の方ではお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば「1歳になるまで育児休業を取得したい」は33.3%で「1歳になる前に復帰したい」は16.7%であった。

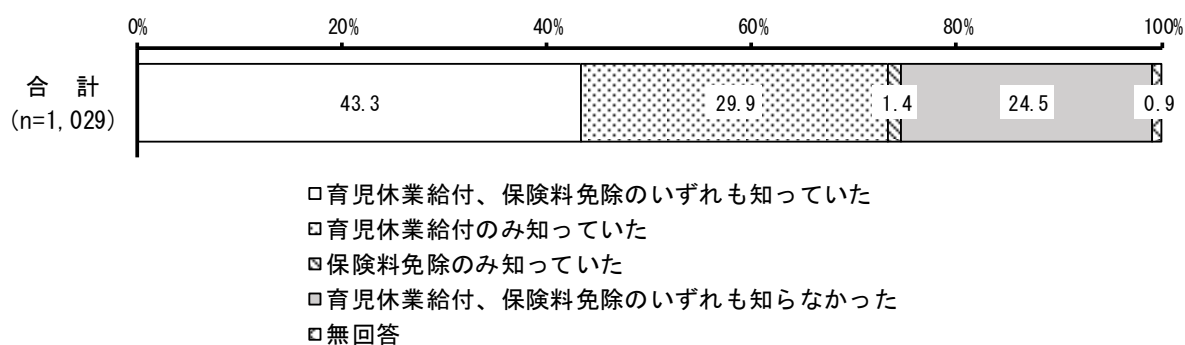
【子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業の利用の有無】



問 30-8 子供が原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子供が満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。そのことをご存じでしたか。(○は1つ)

●育児休業給付や保険料免除など支援制度の認識状況は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が43.3%と最も多い。以下、「育児休業給付のみ知っていた」(29.9%)、「保険料免除のみ知っていた」(1.4%)となり、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は24.5%であった。

【育児休業給付金や保険料免除制度の認識】

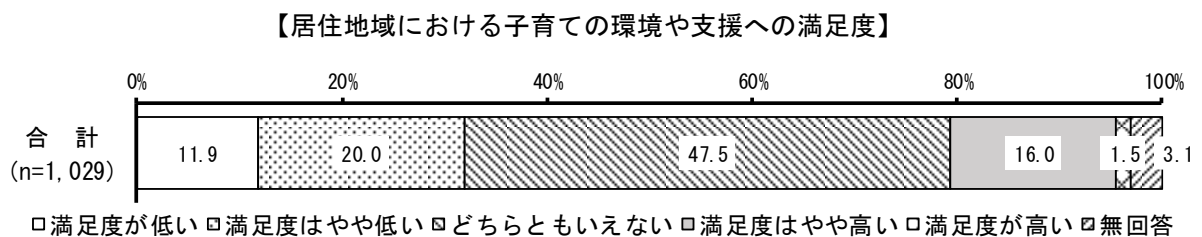


8. その他

①地域の子育て環境や支援の満足度

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 地域における子育て環境や支援の評価は「満足度が高い」(1.5%)と「やや満足度が高い」(16.0%)を合わせた割合 17.5%が満足度合いが高い人で、「満足度が低い」(11.9%)と「やや満足度が低い」(20.0%)を合わせた割合 31.9 が満足度合いが低い人で、満足度合いが低いの方が 14.4 ポイント多くなっている。なお、「どちらともいえない」とした人は 47.5%と最も多くなっている。



②子育ての環境や支援に関してのご意見

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見

①地域における子育て支援について 130 件

- 子育て支援は他県と比べてあまり充実していない気がする。例えば育児にかかるオムツ代やミルク代の支援や医療費の免除など。子育てに関することで相談できる事業があることは良いことだが、経済的支援がもう少し手厚くなれば子供を浜松市で育てたい気になると思う。
- 仕事復帰している人への子育て支援が不足していると感じる。土日祝に実施（相談、イベント、預かり等）してほしいし、金銭面においても負担が大きくならないように補助してほしい。
- 子育て支援を充実してもらいたい。出産したら祝金をもらえたり、子育て中の児童手当を増額したりしてほしい。

②親子の健康について 70 件

- 子供の医療費が無料になるとよい。また、予防接種はすべて無料にしてほしい。
- 子供の医療費については、子育て支援というならば中高生まで無料でも良いかと思う。
- 行政が子供の健康を確認する頻度が少ないと感じる。1才半から3才まで間が空き、その後は就学までない。

③教育・保育環境の整備について 170 件

- 保育園やこども園の入園に関して、待機児童ゼロとは聞くものの、育休を取得して復帰するとなると、入園しやすい4月入園を目処にしなくてはならず、安心して子供と向き合えるとは言い難い。こども園や保育園のさらなる増園を希望する。
- 保育園の募集が少なく、希望する園への入園が希望月とならないため、入りやすい環境が整うとよい。
- 保育園などで気軽に一時預けられる仕組みを整えたり、人員を補強してもらえたりすると助かる。

④職業生活と家庭生活の両立の推進について 43 件

- 男性の育休が推進されていないと思う。男性から休みたいと言えない環境があると思う。
- 職場などの理解がなく、辛い思いをした。職場への理解を促進してもらい、さらに行政のサポートや支援が身近にあり、気軽に利用できる環境になったら願う。

⑤子育てを支援する生活環境の整備について 69 件

- 子育て支援ひろばだけでなく無料で室内で遊べる児童館が増えてほしい。
- 家から歩いて行ける所に公園が少ないし、少し離れた所にあっても駐車場が無い為、利用することが難しい。小さくてもよいので駐車場付きの公園をもう少しだけ増やしてほしい。
- 低年齢の子供は遊ぶところが少ないので、安心・安全に利用できる公園を作ってもらえるとありがたい。

⑥子供の安全・安心の確保について 6 件

- 小学校までの通学路を整備してほしい。街灯が少ない、トラックの交通量が多い、横断歩道がない、道幅がせまいなど多くの問題があると感じている。
- 公園に古い遊具が多く、安全面で心配である。新しい遊具に更新してほしい。

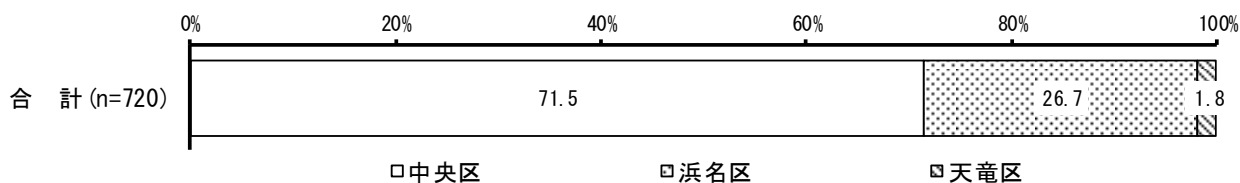
⑦支援が必要な家庭、子供への対応について 28 件

- 自閉症など発達障害を持った子が生きやすい支援がもっとほしい。知識を持った人財をもっと増やしてほしい。
- 子供が発達障害を抱えている。幼稚園には他の子と同じように楽しく通えているが、これから学校へ上がる際、先生方のサポートが無くなってしまうと通えるのだろうかと不安になる。障害のある子供が生きやすく楽しんで毎日過ごせる環境が整うことを願う。

第3章 調査結果 就学児童保護者

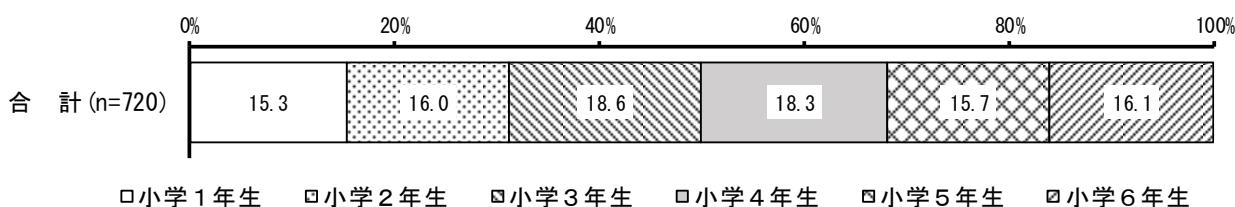
1. 回答者属性と調査対象児童の家庭環境

【居住区】

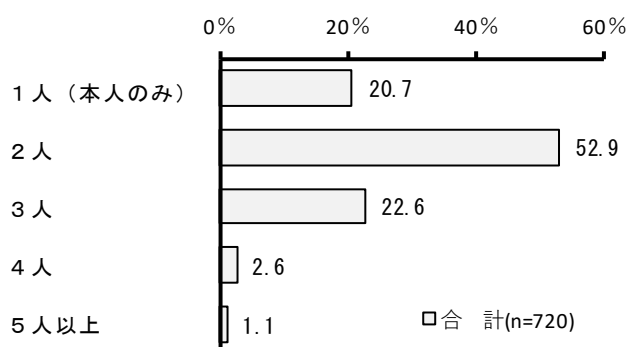


●居住区は中央区 71.5%、浜名区 26.7%、天竜区 1.8%となっている。

【調査対象児童の学年】

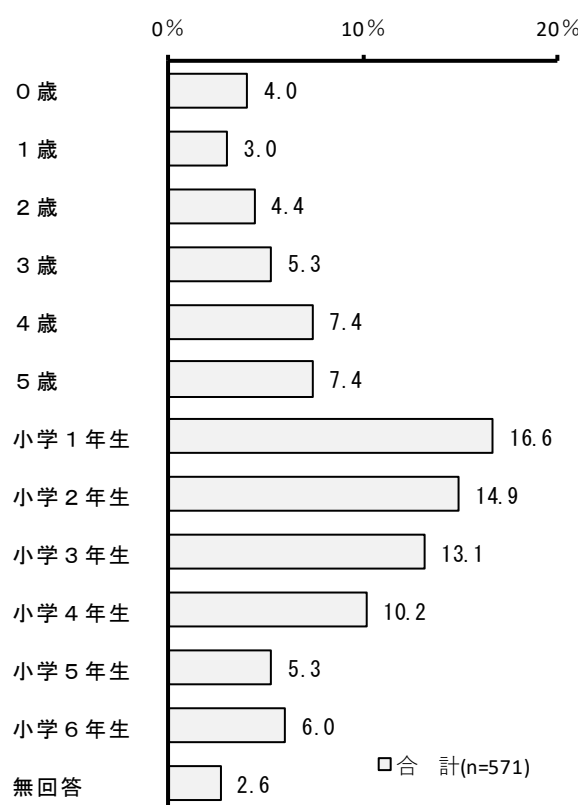


【きょうだいの人数】

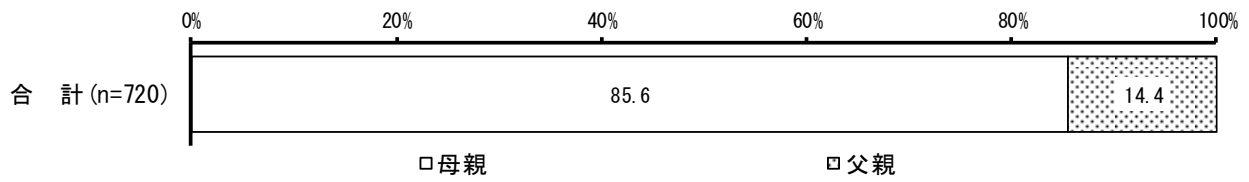


●子供の人数は「2人」が 52.9%と最も多い。以下、「3人」(22.6%)、「1人」(20.7%)である。

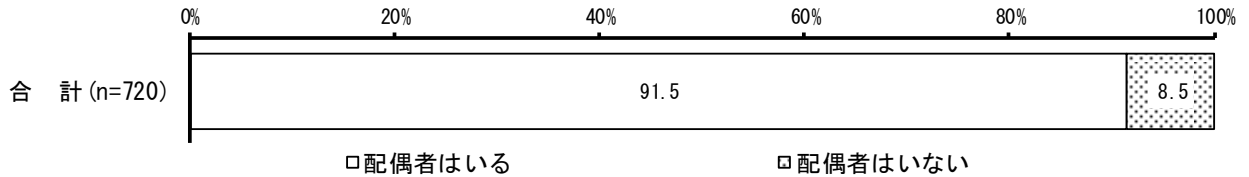
【末子の年齢】※2人以上



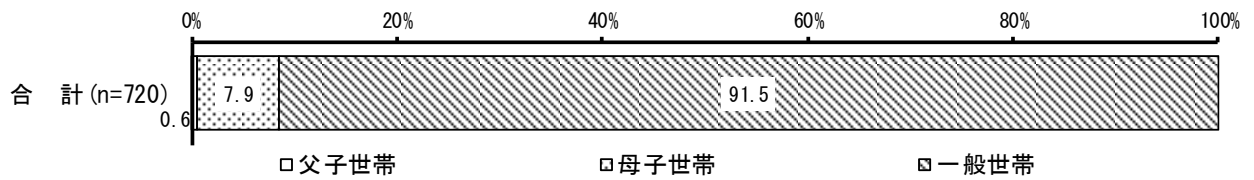
【回答者の性別】



【回答者の配偶者の有無】

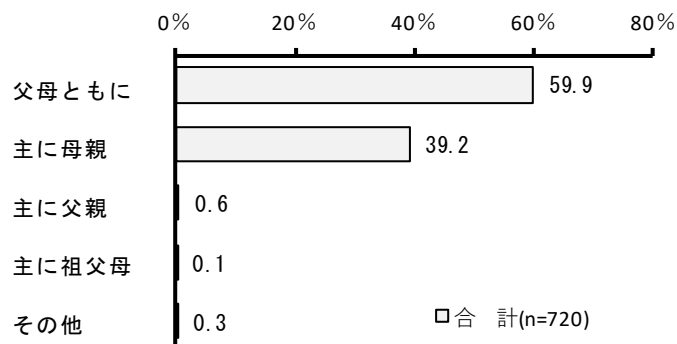


【家庭状況】



●家庭状況は「父のみのひとり親家庭（父子世帯）」は0.6%、「母のみのひとり親家庭（母子世帯）」7.9%で「ひとり親ではない（一般世帯）」は91.5%である。

【主な子育て（教育を含む）者】



●主な子育て者は、「父母ともに」59.9%が最も多く、「主に母親」が39.2%である。

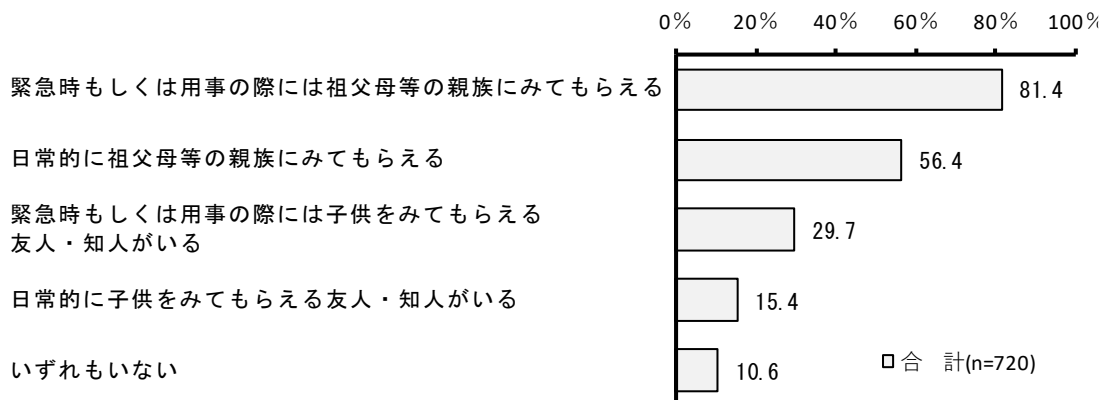
2. 子育ての人的環境

①子育てを頼める親族や友人・知人

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- 子育てを頼める親族や友人・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が81.4%と最も多い。以下、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(56.4%)、「緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる」(29.7%) などとなっている。一方、「いずれもない」は10.6%となっている。

【子育てを頼める親族や友人・知人の有無】



問7で『親族にみてもらう人』に〇をつけた方にうかがいます。

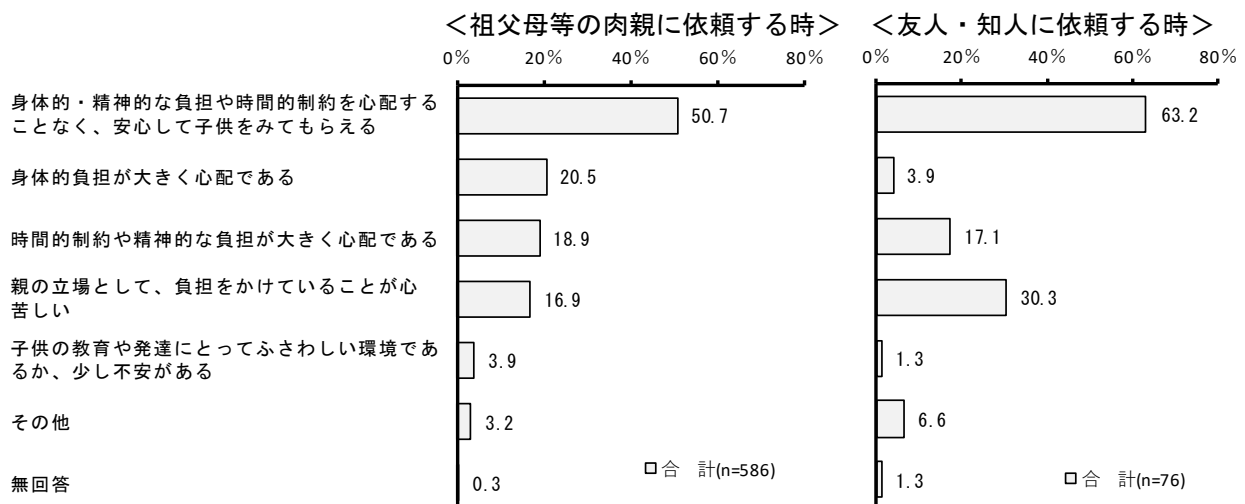
問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

問7で『友人・知人にみてもらう人』に〇をつけた方にうかがいます。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

- 祖父母等の肉親に子育てを依頼する時の負担感は「負担や制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる」が50.7%で最も多い。以下、「身体的負担が大きく心配である」(20.5%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(18.9%)、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(16.9%) などとなっている。
- 友人・知人に子育てを依頼する時の負担感は「負担や制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる」が63.2%と最も多い。以下、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(30.3%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(17.1%) などとなっている。

【子育てを依頼する時の負担感】

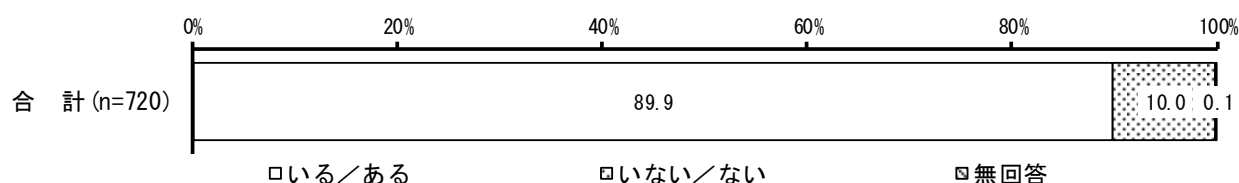


②子育ての気軽な相談先

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。（〇は1つ）

●子育て（教育）の気軽な相談先の有無は、「いる／ある」が89.9%、「いない／ない」は10.0%となっている。

【子育ての気軽な相談先の有無】

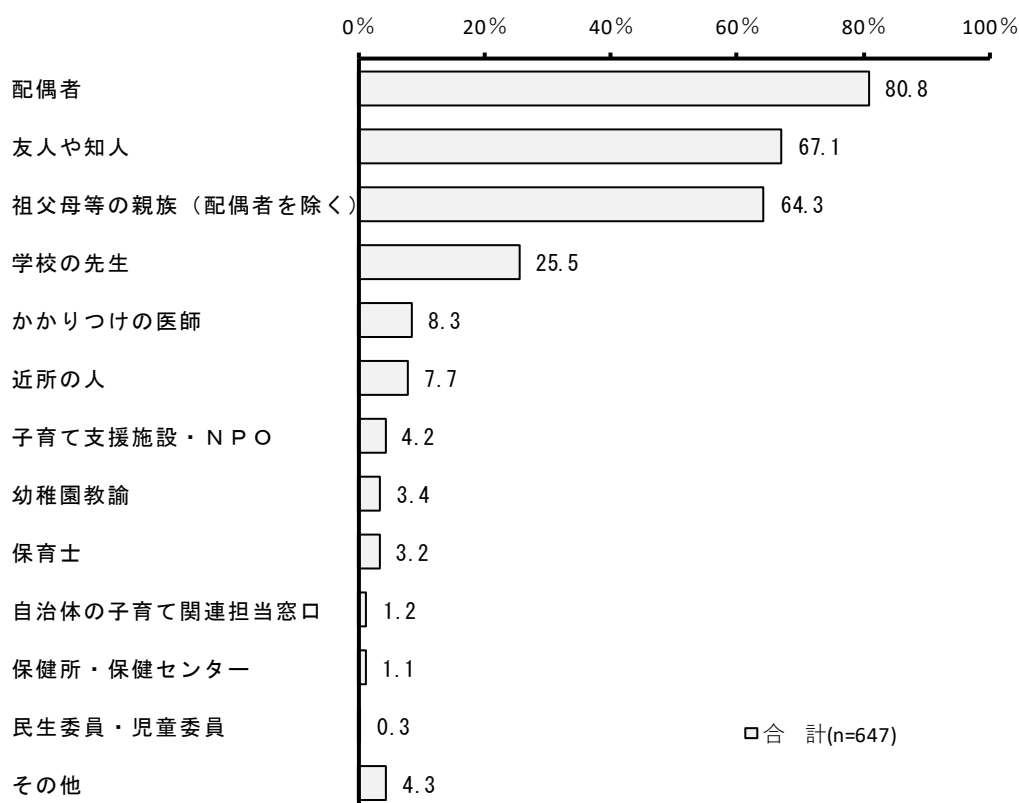


問8で「1. いる／ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

●子育ての気軽な相談先は「配偶者」が80.8%と最も多い。以下「友人や知人」（67.1%）、「祖父母等の親族（配偶者を除く）」（64.3%）、「学校の先生」（25.5%）などとなっている。

【子育ての気軽な相談先の相手】



③周囲からのサポートで希望すること

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見

- 小学校に入ってから学童に通っているが、終わりが早いため、乳幼児の時のほうが、サポートが手厚かったと感じている。
- 祝日に児童を預けられる場所があれば、もっと仕事をしやすいと思う。
- 親が病気の時に預けられる親族や友達がいないので、緊急で預かってもらえる場があればと思う。宿泊や夜間までみてもらえる施設は未就学児までで、小学生低学年を見てもらえるところがない。
- 夏休み、冬休み、春休みなど、普段、学童を利用していない子供の預け先がほしい。
- 学校の長期休暇の時だけ、子供を預けられる場所を充実させてほしい。また、預かるだけでなく、長期休暇中だからこそできる様々な経験や体験ができるようなイベントを企画・開催してもらいたい。
- 学童保育を6年生までかつ、親の就業時間までみてもらいたい。
- 学校行事や面談時など、少しの間だけ預けられる場所が近くにあると母親的にはもの凄く気持ちが楽になると思う。
- 子供を気軽にみてもらえる環境づくりとして、学童の充実が必要である。学童で働く人の給料を増やし、多くの方が学童保育で働きたいという環境作りが必要である。
- 放課後等に宿題や勉強をみてもらえるような場があったら助かる。
- 習い事の送迎サポートをしてもらえたら通いやすくなる。
- 登下校のサポートや見守りを増やしてほしい。
- 重度の障害がある子供が利用できる放課後等デイサービスが増えてほしい。
- 子供の医療費を無料にしてほしい。
- 自分が子育てに困ったり、悩んだりした時にいつでも気兼ねなく相談ができるサポートがほしい。
- 就学前などわからないことが多々あり、就学前健診などで、なにを準備したらいいか、どういうサポートが必要なのかなどの話があるといい。

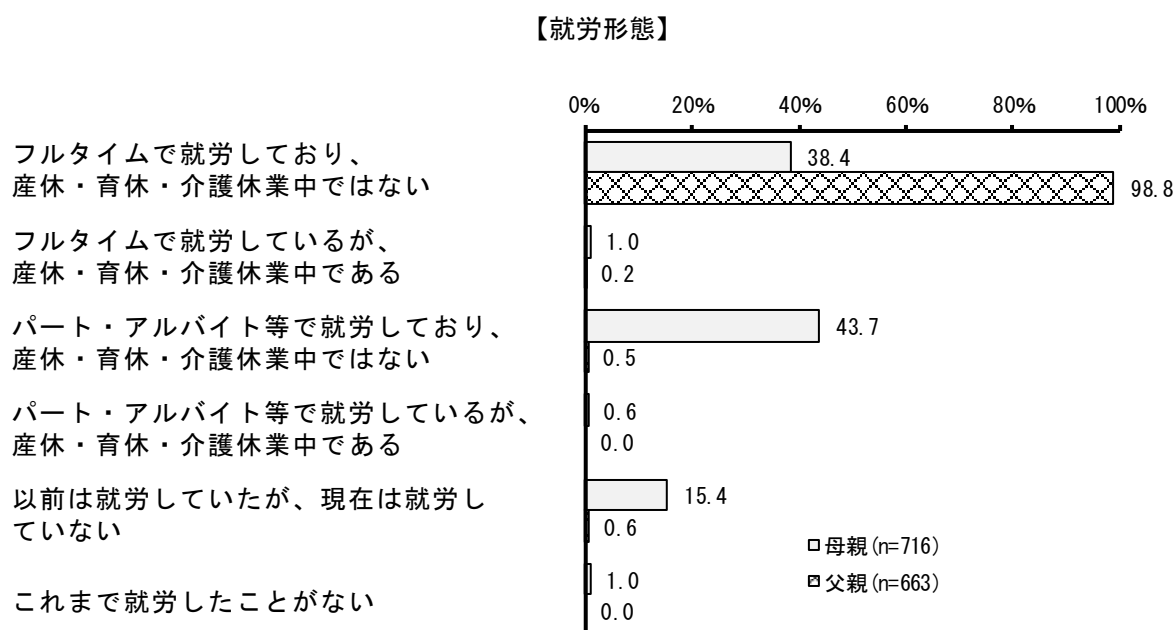
3. お子さんの保護者の就労状況について

①保護者の就労状況

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者（専従者）含む）をうかがいます。

母親：就労形態は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 43.7%と最も多い。以下、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（38.4%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（15.4%）などとなっている。

父親：就労形態は「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」が 98.8%と最も多くなっている。



問10-1で就労している方にうかがいます。

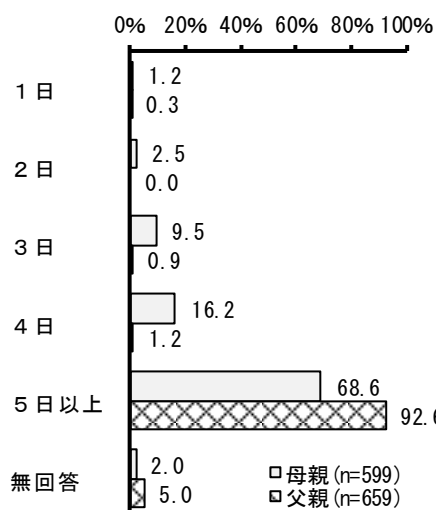
問10-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

問10-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

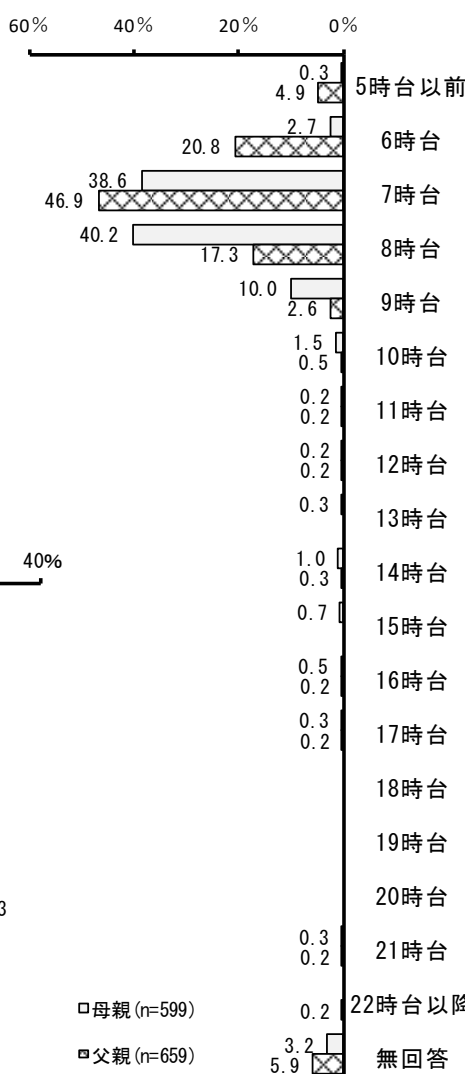
母親：1週間当たりの就労日数は「5日以上」が68.6%と最も多い。以下、「4日」(16.2%)、「3日」(9.5%)などとなっている。1日当たりの就労時間は「8時間」が21.9%と最も多い。以下、「7時間」(17.2%)、「4時間」(16.7%)「6時間」(13.7%)などとなっている。家を出る時刻は「8時台」が40.2%と最も多く、僅差で「7時台」が38.6%、「9時台」は10.0%となっている。帰宅時間は「17時台」が22.9%と最も多く、僅差で「18時台」が22.2%となる。就労形態にパート・アルバイトの割合が高いためか、「12時台」(4.2%)から帰宅者が増えだしている。

父親：就労形態でフルタイムが98.8%と高いため、1週間当たりの就労日数は「5日以上」が92.6%と最も多い。1日当たりの就労時間も「8時間」が30.3%と最も多い。以下、「10時間」(21.7%)、「9時間」(17.1%)などとなっている。家を出る時刻は「7時台」が46.9%と最も多い。以下、「6時台」(20.8%)、「8時台」(17.3%)などとなっている。帰宅時間は「19時台」が22.8%と最も多く、僅差で「18時台」が22.6%となっている。

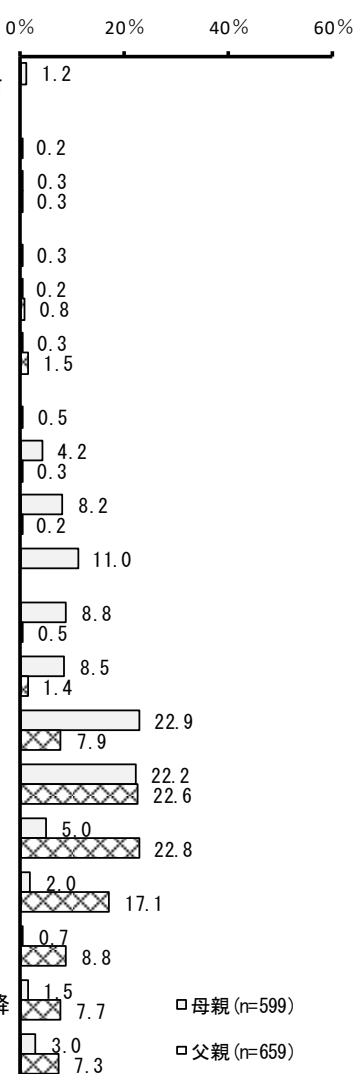
【1週当たりの就労日数】



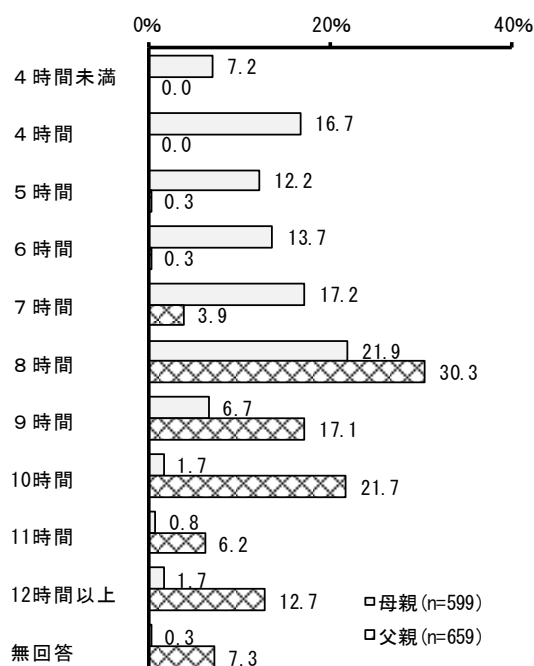
【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



【1日当たりの就労時間】



0.0の数値は記載していない

②保護者（母親）の転換・就労希望

問 10 でパートタイム（「3、4」）に○をつけた方にうかがいます。

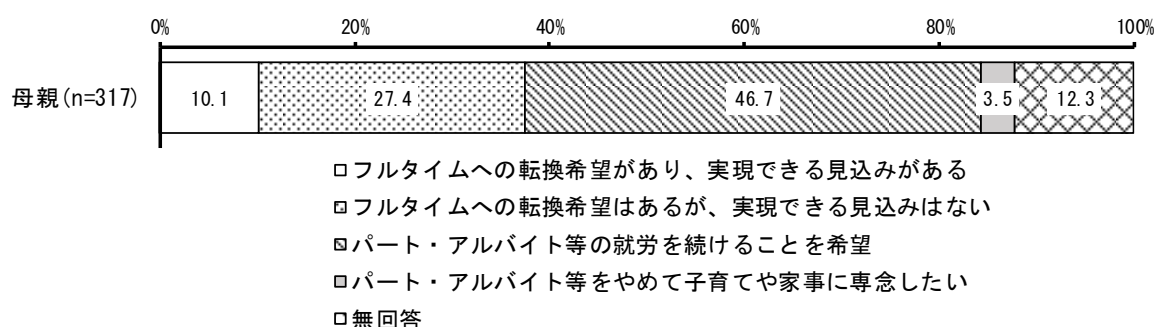
問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

フルタイム=1週5日程度・1日8時間程度の就労 パート・アルバイト等=「フルタイム」以外の就労

- 現在パート・アルバイトなどで働いている母親の転職希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が46.7%で最も多い。以下、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（27.4%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（10.1%）、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」（3.5%）の順となっている。

注）父親は該当する回答者が少ないので割愛した。

【パートタイムからフルタイムへの転換希望】



問 10 で就労していない（「5、6」）に○をつけた方にうかがいます。

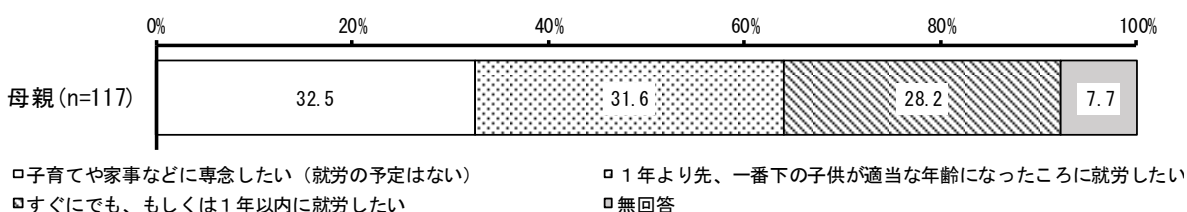
問 12 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

問 12 で「2. 一番下の子の年齢」に○をつけた方にうかがいます。

問 12 就労活動を開始する段階の末子年齢は。

- 未就労者の就業希望は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が32.5%で最も多い。「1年より先、一番下の子供が適当な年齢になったところに就労したい」は31.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は28.2%であった。

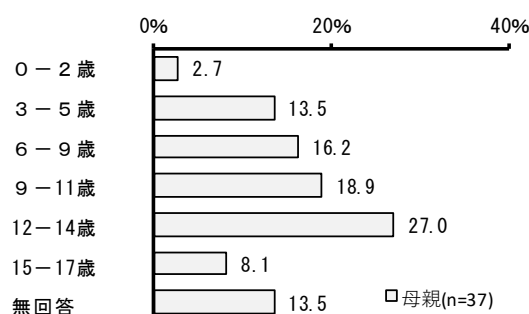
【未就労者の就業希望】



- 就業活動を始められる末子の年齢は、「3歳～5歳」（13.5%）から始まり、年齢が高くなるにつれて就業意識を持つ割合も多くなり、「12歳～14歳」では27.0%と最も多くなっている。

注）父親は該当する回答者が少ないので割愛した。

【就労希望時の末子の年齢】



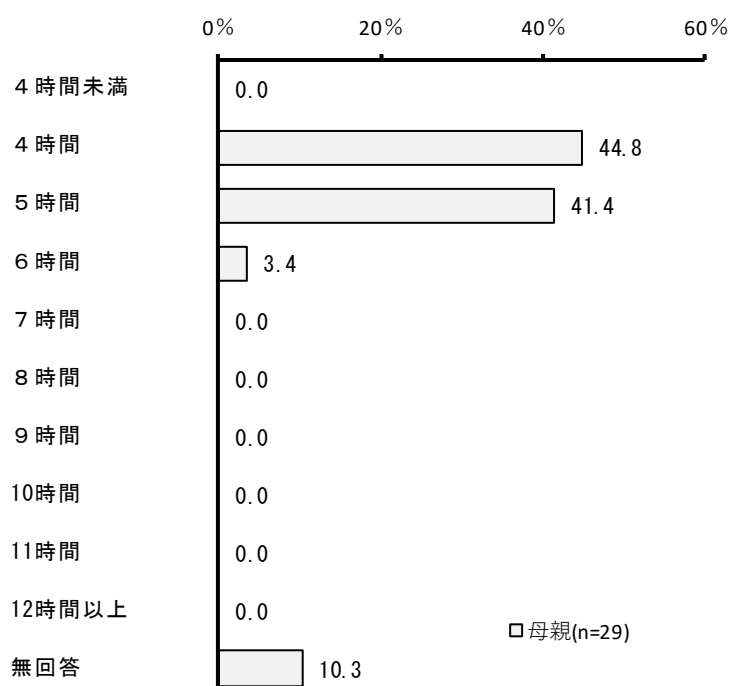
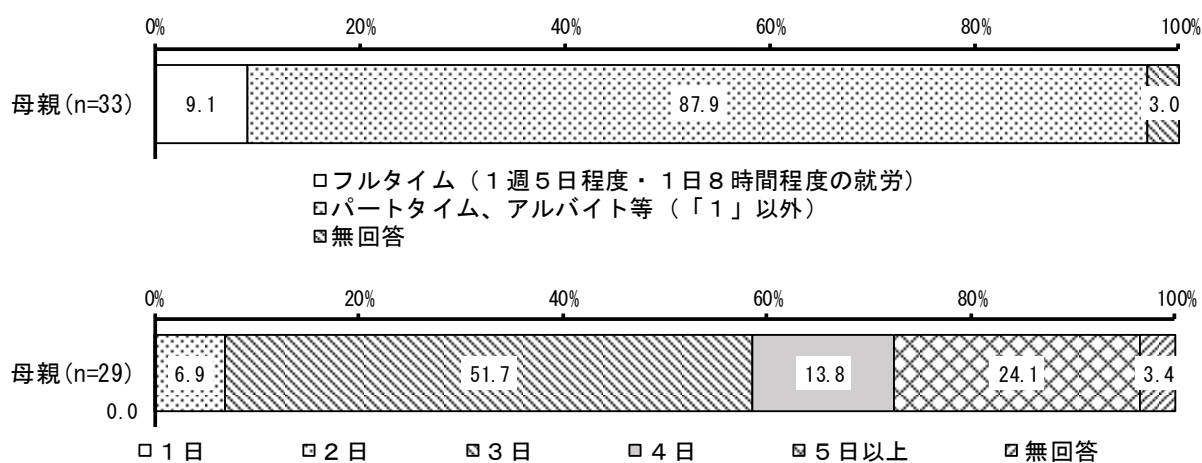
問12で、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（「3」）に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 希望する就労形態を教えてください。

- 1年以内に就労したい人が希望する就業形態は「パート・アルバイト等」が87.9%で、「フルタイム」は9.1%である。
- パートタイム・アルバイト等の希望者就業内容は、就労日数が1週当たり「3日」が51.7%と最も多い。次いで「5日以上」が24.1%、「4日」（13.8%）などとなっている。1日当たりの就業時間は「4時間」が44.8%と最も多く、僅差で「5時間」が41.4%となっている。

注）父親は該当する回答者が少ないので割愛した。

【未就労者の就業希望形態と内容】

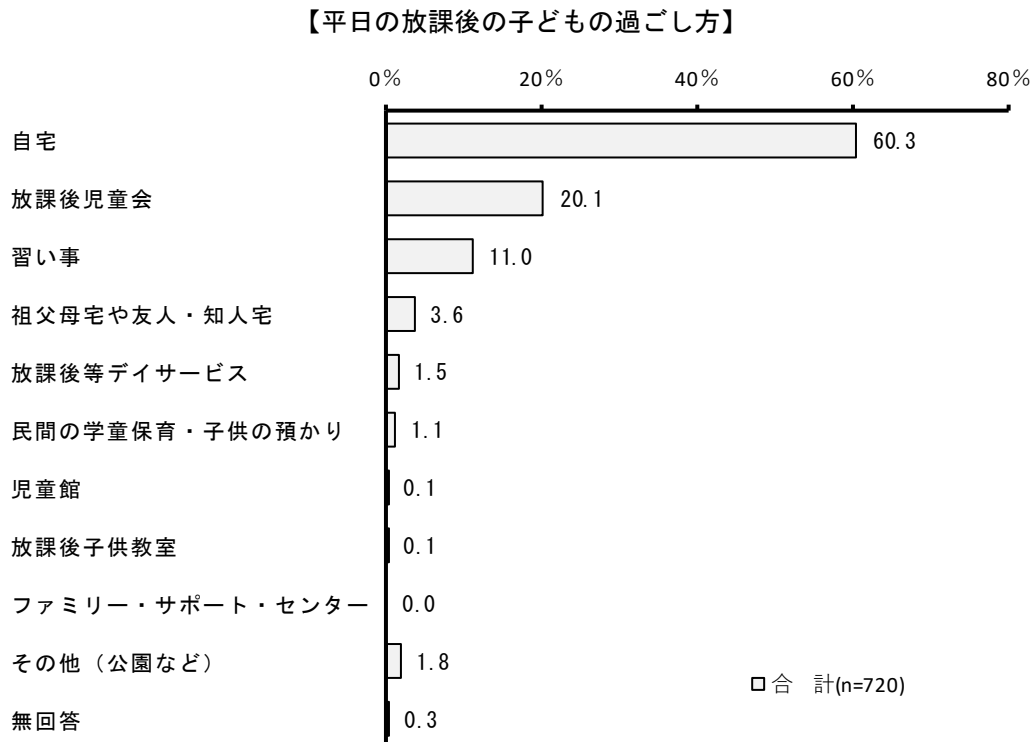


4. 放課後児童会について

①平日の放課後の過ごし方

問 13 平日の放課後に宛名のお子さんはどのように過ごしていますか。一番多いものをお答えください。（○は1つ）

- 平日の放課後の過ごし方は「自宅」が 60.3%と最も多い。以下、「放課後児童会」が 20.1%、「習い事」が 11.0%などとなっている。



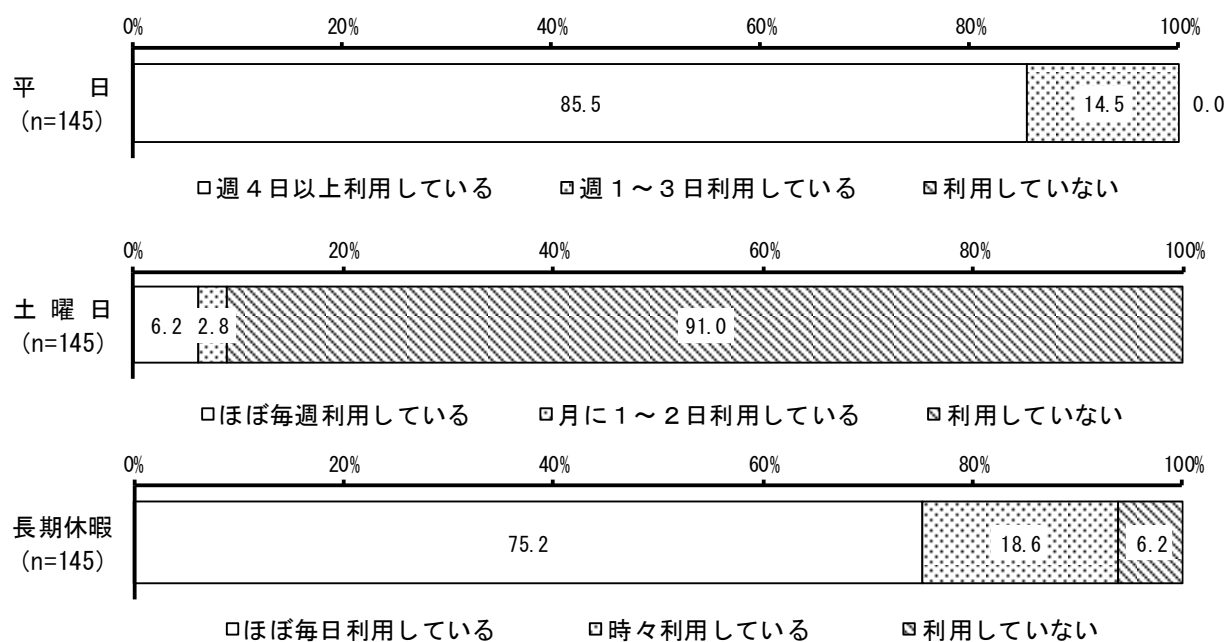
②放課後児童会利用者の利用状況

問 13 で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問 14 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会をどの程度利用していますか。(曜日別にそれぞれ○は1つ)

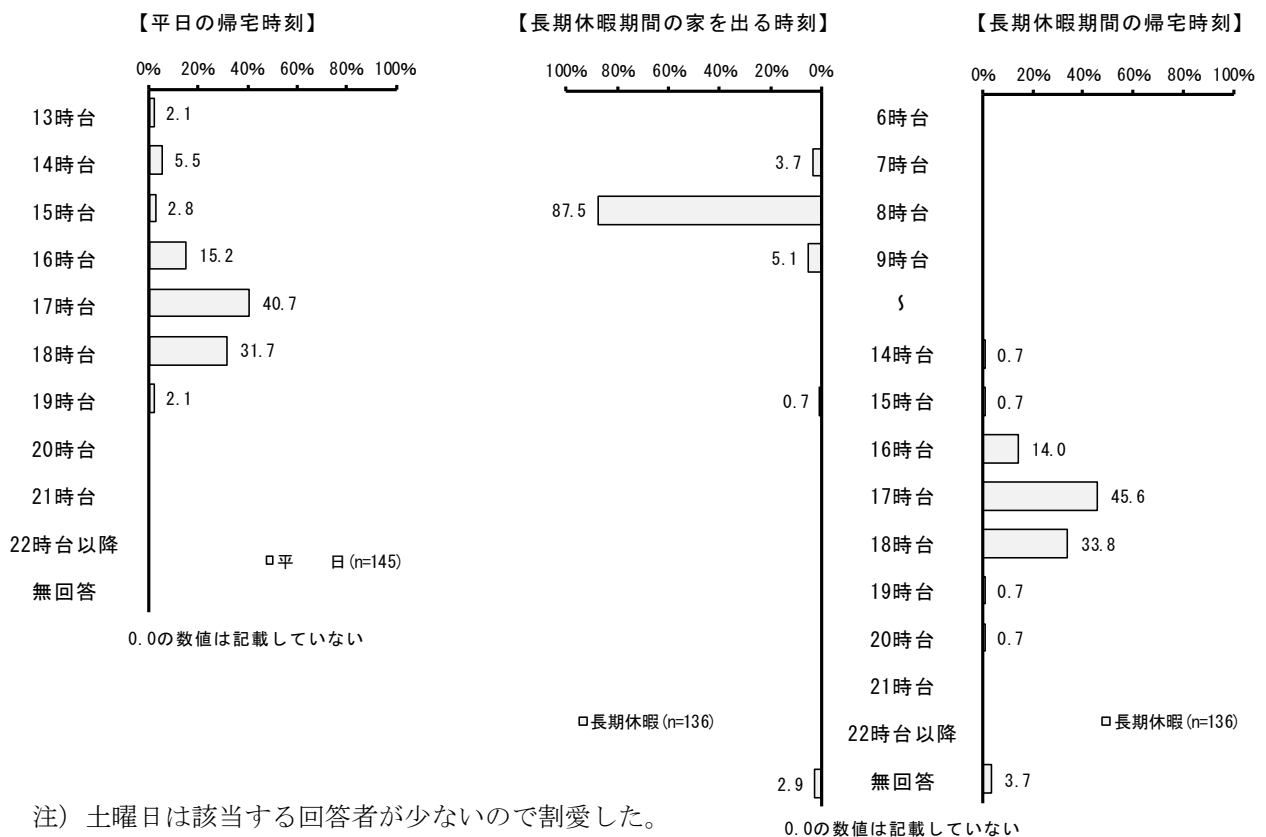
- 市の開設している放課後児童会利用者の平日の利用頻度は「週4日以上利用している」が85.5%で「週1～3日利用している」は14.5%である。
- 土曜日は「ほぼ毎週利用している」が6.2%で「月に1～2日利用している」の2.8%を合わせた9.0%が利用者の割合で、平日は利用しても土曜日は「利用していない」が91.0%となっている。
- 夏休みや冬休みなどの長期休暇期間は「ほぼ毎日利用している」が75.2%で「時々利用している」の18.6%を合わせた93.8%が利用者の割合で、「利用していない」は6.2%であった。

【市の開設している放課後児童会利用者の曜日別利用状況】



- 放課後児童会利用者の平日の帰宅時刻は「17 時台」が 40.7%と最も多い。前後 1 時間の「16 時台」（15.2%）から「18 時台」（31.7%）までの 3 時間を合わせると 87.6%になり、「19 時台」（2.1%）を過ぎると児童は居なくなっている。
- 長期休暇期間中の家を出る時刻は「8 時台」が 87.5%と最も多い。帰宅時刻は「17 時台」が 45.6%と最も多い。前後 1 時間の「16 時台」（14.0%）から「18 時台」（33.8%）までの 3 時間を合わせると 93.4%になっている。

【放課後児童会利用者の利用時間】



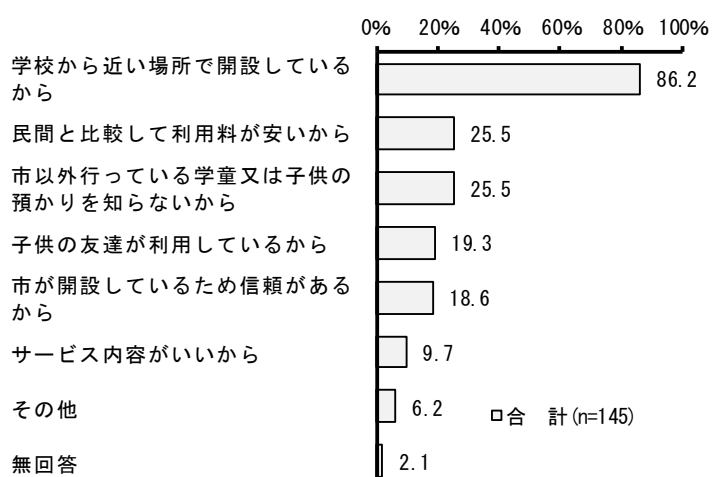
問 13 で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は何ですか。

(○はいくつでも)

【市の放課後児童会を利用する理由】

- 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は「学校から近い場所で開設しているから」が 86.2%と最も多い。以下、「民間と比較して利用料が安いから」(25.5%)と「市以外行っている学童又は子供の預かりを知らないから」(25.5%)、「子供の友達が利用しているから」(19.3%)「市が開設しているため信頼があるから」(18.6%)、などの順となっており、利便性を優先している結果となっている。



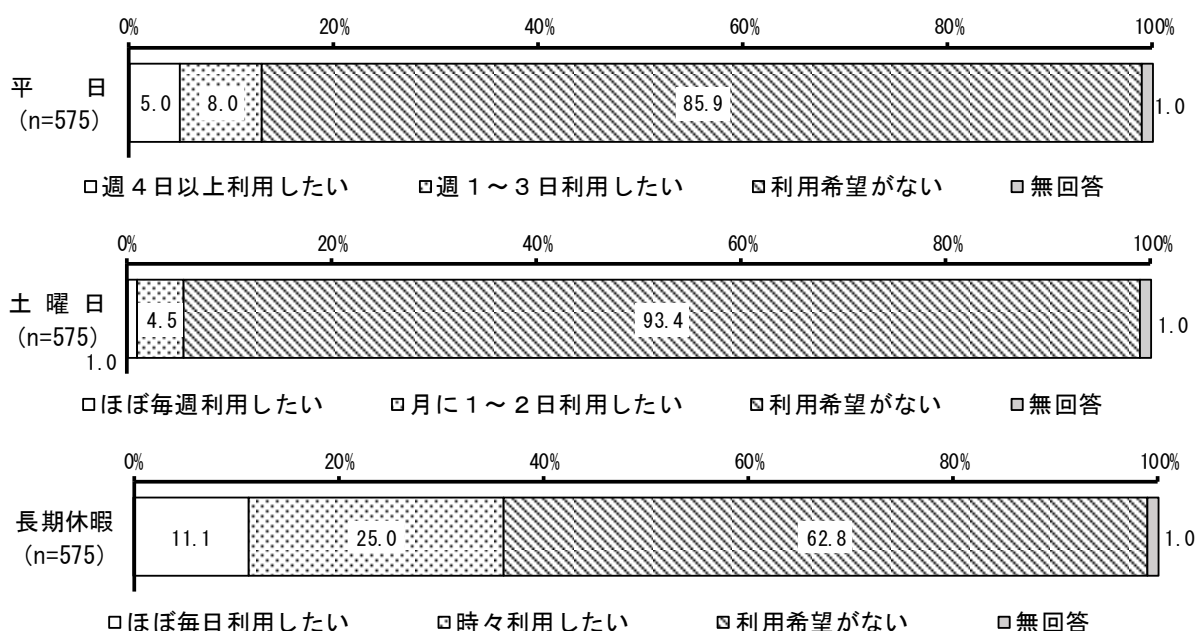
③放課後児童会非利用者の利用意向

問 13 で「5. 放課後児童会」に○をつけなかった方にうかがいます。

問 15 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会の利用希望はありますか。(曜日別にそれぞれ○は1つ))

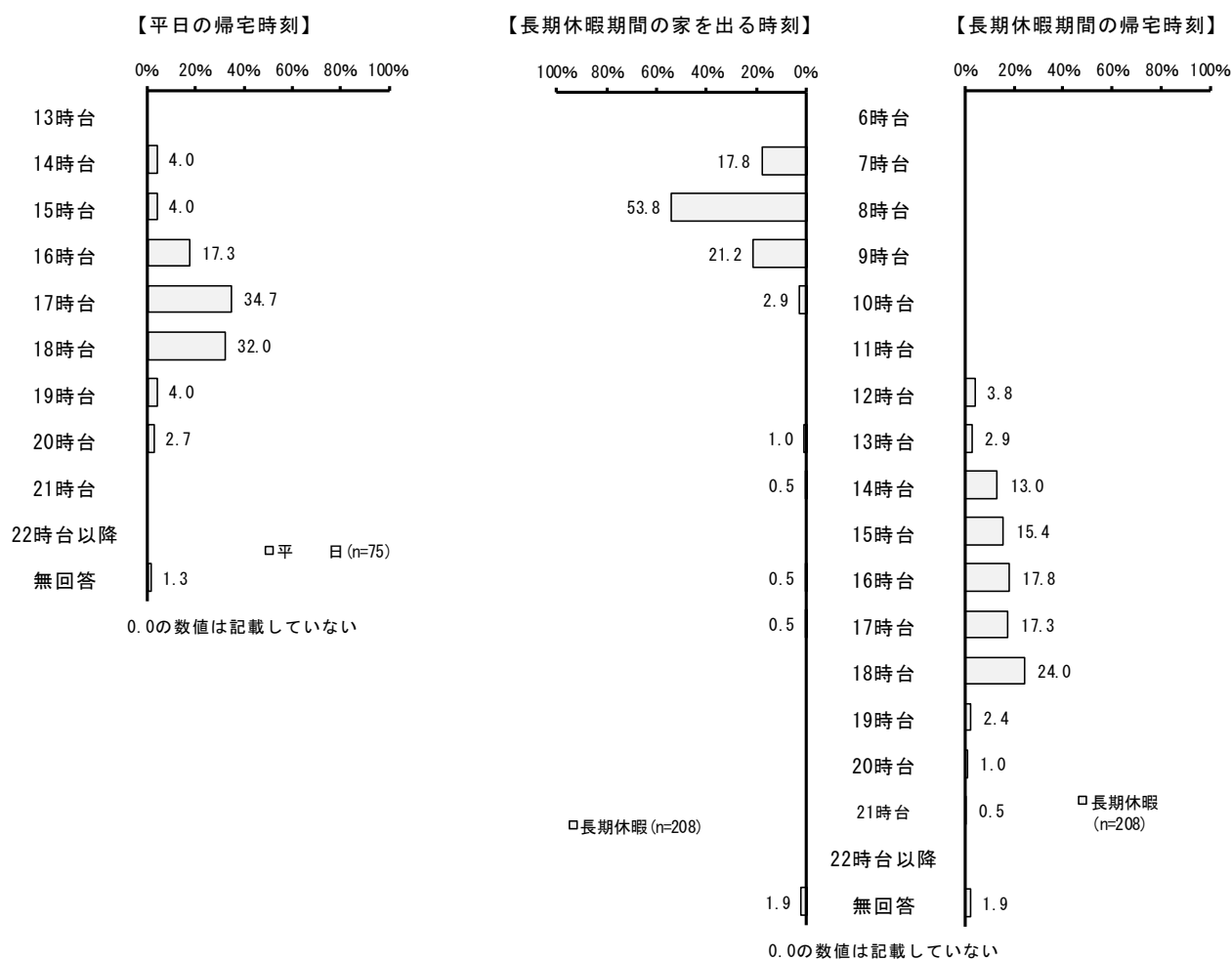
- 市の開設している放課後児童会非利用者の曜日別利用意向の割合は、平日の利用意向は「週4日以上利用したい」が5.0%で「週1～3日利用したい」の8.0%を合わせた利用意向のある人の割合は13.0%である。
- 土曜日は「ほぼ毎週利用したい」が1.0%で「月に1～2日利用したい」の4.5%を合わせた5.5%が利用意向のある人の割合である。
- 夏休みや冬休みなどの長期休暇期間の利用意向は「ほぼ毎日利用したい」が11.1%で「時々利用したい」の25.0%を合わせた36.1%が利用意向のある人の割合である。

【市の開設している放課後児童会非利用者の曜日別利用意向】



- 放課後児童会非利用者の平日の帰宅希望時刻は「17 時台」の希望が 34.7%と最も多い。前後 1 時間の「16 時台」(17.3%) から「18 時台」(32.0%) までの 3 時間を合わせると 84.0%となっている。
- 長期休暇期間の家を出る希望時刻は「8 時台」が 53.8%が最も多い。前後 1 時間の「7 時台」(17.8%) から「9 時台」(21.2%) までの 3 時間を合わせると 92.8%となっている。帰宅希望時刻は「18 時台」が 24.0%と最も多い。「14 時台」(13.0%) から「17 時台」(17.3%) までの帰宅希望時刻は 10%台で推移し、「18 時台」で 24.0%とピークになり「19 時台」(2.4%) 以降は極端に少なくなっている。

【放課後児童会非利用者の利用希望時間】



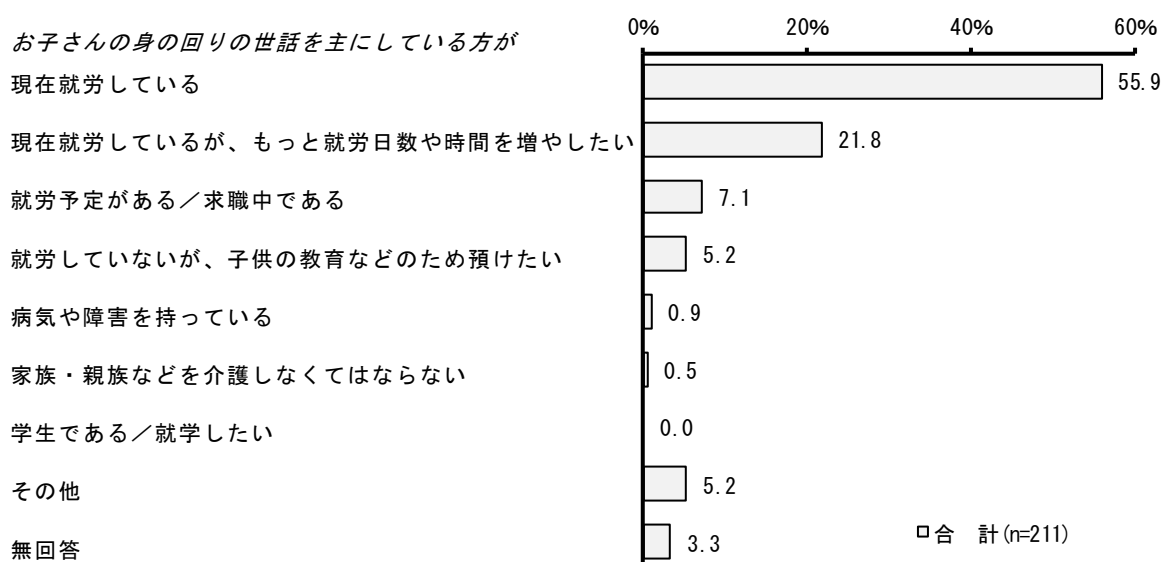
注) 土曜日は該当する回答者が少ないので割愛した。

問 15 で「放課後児童会」を利用したいと回答した方にうかがいます。

問 15-1 サービスを利用したい主な理由は何ですか。(〇は1つ)

- 放課後児童会利用していない人が放課後児童会を希望する理由は「現在就労している」が 55.9%と最も多い。以下、「現在就労しているが、もっと就労日数や時間を増やしたい」(21.8%)、「就労予定がある／求職中である」(7.1%) などとなっている。

【放課後児童会非利用者が放課後児童会を利用希望する理由】

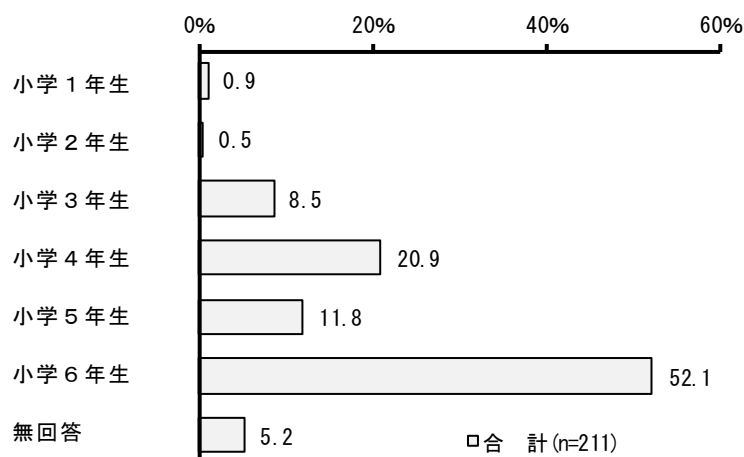


問 15 で「放課後児童会」を利用したいと回答した方にうかがいます。

問 15-2 放課後児童会について、何年生まで利用したいですか。

- 市の放課後児童会に預けたい子供の年齢は「小学6年生」までが 52.1%と最も多い。次いで「小学4年生」(20.9%)、「小学5年生」(11.8%) などとなっている。

【放課後児童会に預ける子供の学年】



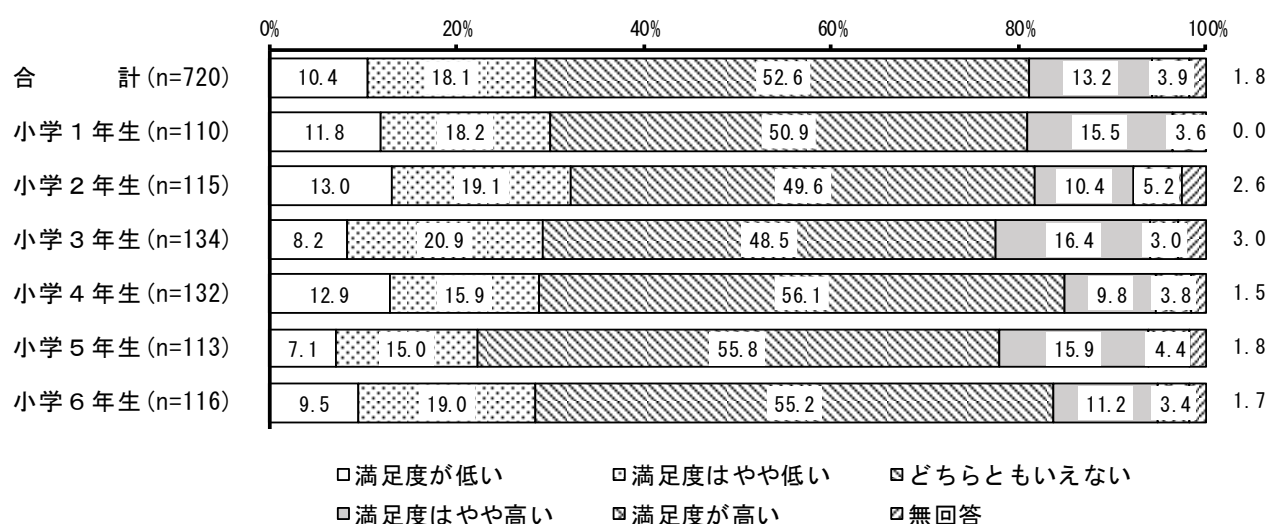
5. 地域の子育て環境や支援の満足度

①地域の子育て環境や支援の満足度

問 16 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 地域の子育て環境や支援の評価は「満足度が高い」(3.9%)と「満足度はやや高い」(13.2%)を合わせた割合 17.1%が満足度合いが高い人で、「満足度が低い」(10.4%)と「満足度はやや低い」(18.1%)を合わせた割合 28.5%が満足度合いが低い人で、満足度合いが低い人が 11.4 ポイント多くなっている。なお、「どちらともいえない」とした人は 52.6%と最も多くなっている。

【地域の子育て環境や支援の満足度 学年別】



②子育ての環境や支援に関してのご意見

問 17 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見

①地域における子育て支援について 172 件

- 放課後児童会は家で過ごしているような家庭的な環境で不満はなかったが、楽しく過ごせるよう制作活動、イベントや講座などもあったらより魅力的だったと思う。
- 放課後児童会が定員の関係で3年生までしか入れず、1人で留守番することになってしまっていたので、受け入れの拡充をしてほしかった。
- 民間の放課後児童会の費用が高すぎる。放課後児童会を辞めて家で留守番させてもいいが、夏休みなどはそういう訳にもいけないので、夏休みなどだけの放課後児童会があってほしい。
- 放課後児童会も希望者が多いようで、入りにくい。就労の有無に関わらず利用できるようなになればよい。

②親子の健康について 40 件

- 子供の医療費が無料になるとよい。

③教育・保育環境の整備について 71 件

- 学校での先生方の様子を見てみると、とにかく忙しそう。ゆとりをもって子供たちと向き合うことができなくなっているのではないかと感じる。非常勤等で補うのではなく、正規の職員の雇用を増やし、もう少し1人当たりの仕事量を減らすことで、子供たちと向き合える時間を確保してもらいたい。
- 高校無償化等の金銭的な支援が必要である。金銭的な余裕があれば、親の働き方も子供の教育環境も選択肢が増えると思う。

④職業生活と家庭生活の両立の推進について 13 件

- 職場における子育て世代への理解が深まり、気兼ねなく、学童に迎えにいける環境になるとよいと思う。

⑤子育てを支援する生活環境の整備について 39 件

- 小学生が放課後に友だちと室内で遊べる場所があるとよいと思う。例えば協働センターの一部を使うとか。外で遊ぶ時は公園や学校などあるが、子供だけで気軽に利用出来る室内の遊び場を検討してほしい。
- 駐車場の整っている広い公園が少ない。駐車場の整っている公園が遠く、数が少ないと思う。こども館は充実しているが、そこだけという感じになっていると思う。

⑥子供の安全・安心の確保について 14 件

- 小学校への通学路がとても危ない。スクールゾーン周りだけでも広く安全に整備してほしい。
- 登下校中の子供の安全面について、交通量が多い狭い道の通学路には、ガードレールの設置などの子供を守る対策を進めていただきたい。

⑦支援が必要な家庭、子供への対応について 18 件

- 子供に障害があるので放課後デイサービスを利用している。大変良くしてもらっているが、事業所によってサービスの良し悪しにバラツキがある。
- 放課後デイサービスを増やしてほしい。満員で登録待ちの状態が続いている。
- 発達障害をもった子が通いやすい学校にしてほしい。

6. 子供から浜松市への意見

(※ 子ども・子育てに関するニーズ調査とは別に子供から浜松市への意見を聴取した。)

問 18 最後に、お子さんから浜松市への意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
「うれしいこと」「困っていること」「もっとこうなるといいなあ」と思うことを記入してください。

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

No.	項目	件数（件）
1	遊び場や居場所に関すること	68
2	学校生活に関すること	41
3	学校施設に関すること	18
4	通学や通学路に関すること	18
5	放課後児童会に関すること	14
6	学校給食に関すること	11
7	部活に関すること	8
8	その他	32
	合計	210

●最も多かったのは「遊び場や居場所に関すること」で 68 件だった。

No.2 から No.4 まで、No.6、No.7 は、学校に関することで合計 96 件であった。

子供の意見については、本市の子供に関する施策の参考とする。

子ども・子育てに関するニーズ調査

～ 調査の趣旨とご協力のお願い ～

あなたの意見が計画に反映されます

皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

各自治体は「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。

浜松市では、子供が生き生きと輝き、子育てが楽しいと感じられる社会の実現のため、令和2年度から平成6年度までの5年間を計画期間とする、「浜松市子ども・若者支援プラン」を作成し、すべての子供の健やかな成長と子育て家庭を社会全体で支える施策を展開してまいりました。

現計画が令和6年度をもって終了するにあたり、引き続き計画的に給付や事業を実施すべく、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする、次期計画を作成するため、ニーズ調査を行うこととなりました。

このニーズ調査は、計画期間中に確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、あなたやあなたのお子さんの教育・保育・子育て支援サービスに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に行うものです。

あなたの回答や意見の一つひとつが、よりよい計画作りに結びつきますので是非ご記入くださいますようお願いいたします。

この調査は市内にお住まいの就学前のお子様がいいらっしゃるご家庭の中から3,000人を無作為に抽出し調査の対象とさせていただきます。

調査票につきましては浜松市が委託した事業者が配付し、WEB回答又は紙調査票の返信により、回収・集計・分析作業を行います。お答えはすべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはございません。すべての質問にありのままにお答えください。ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和6年1月

浜松市長 中野 祐介

ご回答はWEBフォームからも回答できます。右のQRコード又はアドレスURLからWEBフォームに進んでください。便利で簡単なWEBフォームをご活用ください。
(WEBフォームで回答した方は紙の調査票を返送しないでください。)

アドレスURL：<https://logoform.jp/f/tVfG8>

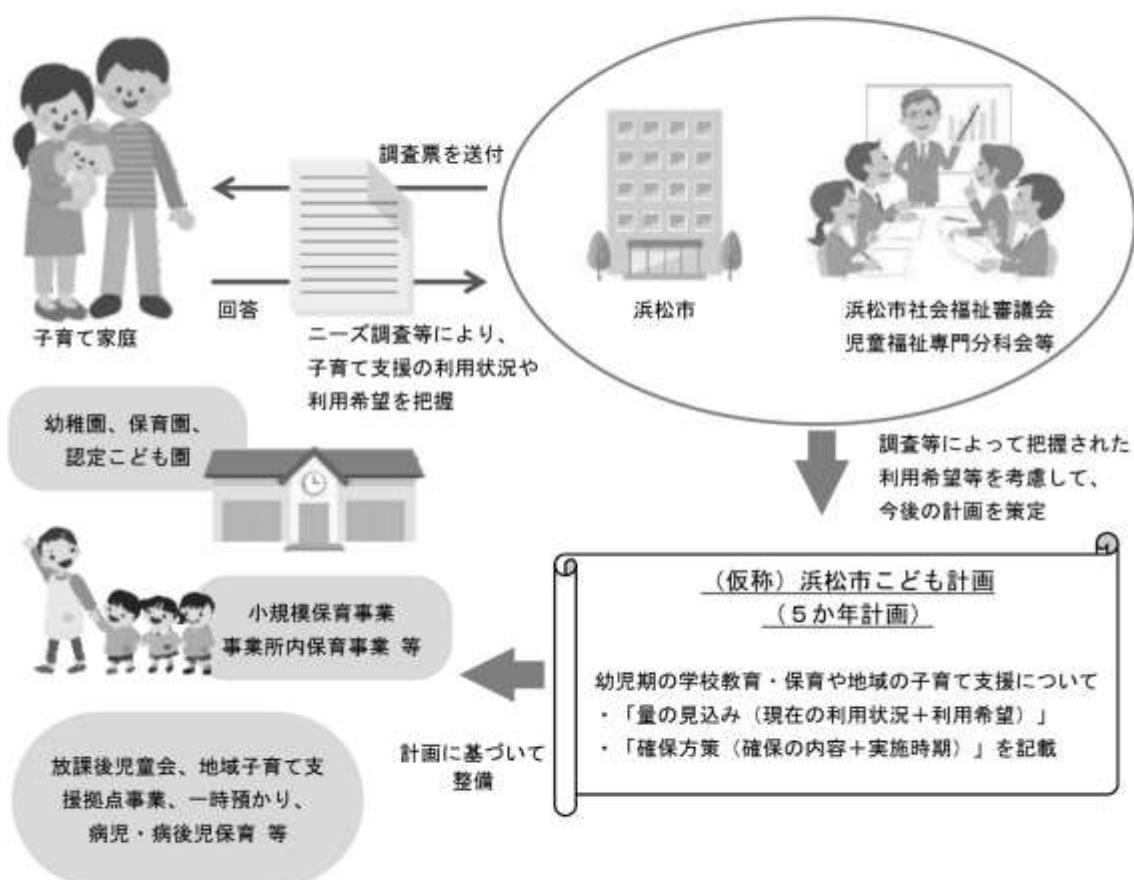


- ・ご回答は、ご家族や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票のページが多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最後までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、選択してください。
- ・調査内容についてご不明点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ご返送締め切り日 令和6年2月13日（火）

【お問い合わせ先】浜松市役所 こども家庭部 次世代育成課
電 話：053-457-2795 F A X：053-457-2039
メー ル：katei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

子ども・子育て支援の制度の目的



用語の定義

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設（就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 小規模保育事業：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業（児童福祉法第6条の3第10項）
- ・ 事業所内保育事業：児童福祉法に定める、従業員の子供と保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業（児童福祉法第6条の3第12項）
- ・ 子育て支援：教育・保育その他の子供の健やかな成長のために行われる支援

●お住まいの地域について

問1 お住まいの区を教えてください。(○は1つ)

1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

1. 平成 2. 令和 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

- きょうだい数 □ 人 末子の生年月 1. 平成 2. 令和 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方を宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。(○は1つ)

※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 配偶者はいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親
3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

●子供の育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

(○はいくつでも) ※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 家庭 2. 幼稚園
3. 保育園 4. 認定こども園
5. 小規模保育事業 6. 事業所内保育事業
7. 認可外保育施設 8. 児童発達支援事業所
9. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 家庭 2. 地域
3. 幼稚園 4. 保育園
5. 認定こども園 6. 小規模保育事業
7. 事業所内保育事業 8. 認可外保育施設
9. 児童発達支援事業所 10. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子供をみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

→問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

→問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる／ある
2. いない／ない

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

→問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族(配偶者を除く) |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援施設(子育て支援ひろば、親子ひろば、児童館等)・NPO | 6. 保健所・保健センター
(区役所健康づくり課) |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. その他 () |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者（専従者）含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ (2)へ

（1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

→（1）-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

→（1）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問14へ

（2）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

→（2）-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

→（2）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）。

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

問12の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
にうかがいます。

該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これ
まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ (1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ (2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

●宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している 2. 利用していない →問15-5へ

問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はいくつでも）

1. 幼稚園又は認定こども園（幼稚園機能）
2. 幼稚園等の預かり保育を定期的に利用
3. 保育園（4の認定こども園を除く）
4. 認定こども園（保育園機能）
5. 小規模保育施設
6. 事業所内保育事業
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可外の保育施設のうち、浜松市が認証した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 保育ママ（天竜区で行っている事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子供を預かる事業）
12. 児童発達支援事業所
13. その他（ ）

→問15-2 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字で右詰）

時間は、（例）「9時」や「18時」のように、24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 （ □ □ 時～ □ □ 時）

（2）希望

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 （ □ □ 時～ □ □ 時）

→問15-3 現在、利用している教育・保育事業の所在地はどこですか。（○は1つ）

1. 居住している区 2. 他の区 3. 市外

→問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 子供の教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

利用していない

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-5 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. （子供の教育や発達のため、子供の母親が父親が就労していないなどの理由で）
利用する必要がない
2. 子供の祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子供がまだ小さいため（ ☐ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問15-6 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を行う施設を選ぶ際に、重視することは何ですか。（○はいくつでも）

1. 受入れ可能な年齢 ↓利用を開始したい年齢に○をつけてください。
⇒ 0歳（ ） 1歳（ ） 2歳（ ） 3歳（ ） 4歳（ ） 5歳（ ）
2. 場所的な通いやすさ
3. 安全や衛生面が優れていること
4. 保育者等の人員体制や専門性・人柄
5. 教育・保育の方針や内容
6. 園舎・園庭などの施設や設備
7. 保育料などの費用負担額
8. 給食（昼食・おやつなど）があること
9. きょうだいや友人が通っていること
10. 通園バスなどによる送迎があること
11. 利用できる曜日や時間
12. その他（ ）

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

1. 幼稚園又は認定こども園（幼稚園機能）
2. 幼稚園等の預かり保育を定期的に利用
3. 保育園（4の認定こども園を除く）
4. 認定こども園（保育園機能）
5. 小規模保育施設
6. 事業所内保育事業
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可外の保育施設のうち、浜松市が認証した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 保育ママ（天竜区で行っている事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子供を預かる事業）
12. 児童発達支援事業所
13. その他（ ）
14. 利用希望はない

問16で「1. ～13.」（利用希望がある）に○をつけた方にうかがいます。

→問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（○は1つ）

1. 居住している区
2. 他の区
3. 市外

問16で「1.」または「2.」に○をつけ、かつ「3. ～12.」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

問16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

●宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

すべての方にうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援ひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。（○はいくつでも）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字で右詰め）

※「1. 子育て支援ひろば」についてはP19の別表①を、「3. 親子ひろば」についてはP19の別表②を参照してください。

1. 子育て支援ひろば

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

2. こども館

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

3. 親子ひろば

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

4. 幼稚園の子育て支援事業

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

5. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

（数字は一桁に一字で右詰め）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □□回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □□回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用したことがあるもの（B）、今後、利用したいと思うもの（C）をお答えください。（○は、①～⑮の事業ごとにそれぞれ○は1つ）
※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①はじめてのパパママレッスン ※初めての出産を迎える妊娠35週までの妊婦さんとその夫を対象とした、親になることを学ぶ講座	1	2	1	2	1	2
②妊婦健康診査事業 ※妊娠中の健康管理のため、産婦人科や助産所で定期的に受診する健診	1	2	1	2	1	2
③産後ケア事業 ※産後の支援が必要な母子に対し、心身のケアや育児のサポート等を実施する事業	1	2	1	2	1	2
④乳児家庭全戸訪問事業 ※生後4か月までのお子さんのいる家庭に助産師や保育士が訪問し、発育発達相談等を行う事業	1	2	1	2	1	2
⑤親子すこやか相談などの相談事業 ※保健センター等で実施している、乳幼児の身体検査や発育発達・食事・歯の相談・育児相談	1	2	1	2	1	2
⑥家庭教育に関する学級・講座 ※子供の健全な成長を促すため保護者を対象として行う家庭教育に関する講座など	1	2	1	2	1	2
⑦教育総合支援センター ※中学生までの教育相談窓口、発達支援学級に関すること、外国児童の就学支援	1	2	1	2	1	2
⑧親子ひろば ※保育園などの園庭、保育室の開放や行事の開催	1	2	1	2	1	2
⑨家庭児童相談室（各社会福祉課） ※家庭における子供の養育などの相談及び支援を行っているところ	1	2	1	2	1	2
⑩はまぐすヘルパー利用事業 ※支援を必要とする親に対してヘルパーを派遣し、育児支援を実施する事業	1	2	1	2	1	2
⑪はまぐす子育てガイド ※浜松市で発行している子育て支援に関する施策や制度を紹介した情報誌	1	2	1	2	1	2
⑫浜松市子育て情報サイト びっぴ ※子育て支援に関する施策や制度を発信しているサイト	1	2	1	2	1	2
⑬はまぐすノート ※保護者が子供の成長を記録し、関係機関と情報共有する記録媒体	1	2	1	2	1	2
⑭子育て世代包括支援センター ※妊娠・出産・子育てについての総合相談窓口	1	2	1	2	1	2
⑮病児保育事業 ※病気のお子さんを一時的に預かり、保護者の保育を支援する事業	1	2	1	2	1	2

問19で「B これまでに利用したことがある」の「はい」を選んだ事業についてうかがいます。

問19-1 利用して良かった点や工夫してほしい点があれば記入してください。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日又は夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○はそれぞれ1つ）
希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）「9時」～「18時」のように24時間制でご記入ください。（□内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字で右詰）
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※教育・保育事業とは、幼稚園や保育園などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週数日利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問20-1 毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため（育児負担の軽減のため）
5. その他（

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで

▶問21-1 毎日ではなく、時々利用したい理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため（育児負担の軽減のため）
5. その他（

●宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった 2. なかった

問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

→問22-1 その際、この1年間に行った対処方法を教えてください。（○はいくつでも）

○をつけたものそれぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字で右詰）

1. 父親が仕事を休んだ	□	□	日
2. 母親が仕事を休んだ	□	□	日
3. （同居者を含む）親族・知人に子供を見てもらった	□	□	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子供を見た	□	□	日
5. 病児・病後児保育を利用した	□	□	日
6. ベビーシッターを利用した	□	□	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□	□	日
8. 仕方なく子供だけで留守番をさせた	□	□	日
9. その他（ ）	□	□	日

※「7.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

→問22-2 その際、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思いましたか。

（○は1つ）日数についても□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字で右詰）

※なお、病児・病後児保育等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育等を利用したい ⇒ □ □ 日
2. 利用したいとは思わない

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問22-3 その際、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 認定こども園・保育園に併設した施設で子供を保育する事業
2. 診療所に併設した施設で子供を保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問22-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。

→問22-4 そう思われる理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる
5. 親が仕事を休んで対応する
6. 利用に係る手続きが煩雑である。
7. その他（ ）

問22-1で「3. ～9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。（○は1つ）
「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。
（数字は一枠に一字右詰）

1. できれば仕事を休んで看たいと思う ⇒			日
2. 休んで看ることは非常に難しいと思う			

問22-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-6 そう思う理由を教えてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 子供の看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他（ <input type="text"/> ） |

●宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（○はいくつでも）

また、それぞれの1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

（数字は一枠に一字で右詰）

利用している事業	日数（年間）	
1. 一時預かり（一時保育） （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子供を保育する事業）		日
2. 幼稚園等の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）		日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子供を預かる事業）		日
4. ベビーシッター		日
5. その他（ ）		日
6. 利用していない		

問23で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる
6. 自分が事業の対象者になるのかわからない
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
8. その他（ ）

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。○は1つ) 利用する必要があると思う場合は、1年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。(数字は一枠に一字右詰)

1. 利用したいと思う → 日
2. 利用する必要はないと思う

問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→ 問24-1 目的ごとに、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数をご記入ください。(数字は一枠に一字で右詰)

※なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------|----------------------|---|
| 1. 私用(買物、子供(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子供(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 3. 不定期の就労 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 4. その他() | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |

→ 問24-2 問24-1の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 幼稚園・保育園などで子供を保育する事業 |
| 2. 子育て支援ひろばのような地域子育て支援拠点等で子供を保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
(例：ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他() |

問25 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹を含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか(○は1つ)

1. ある(利用したい)
2. ない(利用する必要はない)

問25で「1. ある(利用したい)」と答えた方にうかがいます。

→ 問25-1 短期入所生活援助(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、目的ごとに一年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。当てはまる全てに○を付け、必要な泊数を記入してください。(数字は一枠に一字で右詰)

※なお、事業の利用にあたっては、一定の料金がかかります。

- | | | | |
|-------------------|----------------------|----------------------|---|
| 1. 冠婚葬祭 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 泊 |
| 2. 保護者の家族の育児疲れ・不安 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 泊 |
| 3. 保護者や家族の病気 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 泊 |
| 4. その他() | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 泊 |

●宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童会」「民間の学童保育・子供の預かり」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は（例）「18時30分」や「19時00分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童館	週		日くらい
5. 放課後児童会 ※1	週		日くらい
	→下校時から	時 分まで	
6. 放課後子供教室 ※2	週		日くらい
7. 民間の学童保育・子供の預かり	週		日くらい
	→下校時から	時 分まで	
8. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス	週		日くらい
10. その他（公園など）	週		日くらい

※1 放課後児童会…浜松市の補助や委託を受けて運営されており、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子供の生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子供教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校やその他の施設で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童会」「民間の学童保育・子供の預かり」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は（例）「18時30分」や「19時00分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童館	週		日くらい
5. 放課後児童会 ※1	週		日くらい
	→下校時から	時 分まで	
6. 放課後子供教室 ※2	週		日くらい
7. 民間の学童保育・子供の預かり	週		日くらい
	→下校時から	時 分まで	
8. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス	週		日くらい
10. その他（公園など）	週		日くらい

問26または問27で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、土曜日に、放課後児童会の利用希望はありますか。また、利用した時間帯を教えてください。（例）「8時30分～18時30分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一桁に一字で右詰）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで
3. 利用する必要はない		

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望はありますか。（○は1つ）

また、利用したい時間帯を教えてください。（例）「8時30分～18時30分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一桁に一字で右詰）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで
3. 利用する必要はない		

●すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親・父親それぞれについて教えてください。

また、取得していない方はその理由を教えてください。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 年 ヶ月 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 年 ヶ月 3. 取得していない
↓ 取得していない理由	↓ 取得していない理由
①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもら えるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を 満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間） を取得できることを知らず、退職した 15. その他（ ）	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもら えるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を 満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間） を取得できることを知らず、退職した 15. その他（ ）

問30で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園などの入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
 ※年度初めで保育園などの入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。
 ※また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園などに入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	希望	実際の取得期間	希望
□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親（数字は一枠に一字）	希望	②父親（数字は一枠に一字）	希望
□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月	□歳 □□ヶ月

問30-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育園などに入るため	1. 希望する保育園などに入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育園などに入らなかったため	1. 希望する保育園などに入らなかったため
2. 自分や子供などの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子供などの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子供をみてくれる人がいなかったため	5. 子供をみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

また、短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）	1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）
↓利用しなかった（利用できなかった）理由	↓利用しなかった（利用できなかった）理由
①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される、 経済的に苦しくなる 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、制度を利用する必要がなかった 6. 子育てや家事に専念するため退職した 7. 職場に短時間勤務制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らな かった 9. その他（ ）	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される、 経済的に苦しくなる 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、制度を利用する必要がなかった 6. 子育てや家事に専念するため退職した 7. 職場に短時間勤務制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らな かった 9. その他（ ）

問30-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

すべての方にうかがいます。

子供が原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子供が満3歳になるまでの育児休業等（※2）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。

問30-8 そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

※1 保育園などにおける保育が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月です。

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置のことです。

●その他

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援へ満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

満足度が低い ← 2 3 4 → 満足度が高い

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、投函してください。

別表① 浜松市子育て支援ひろば一覧（令和5年4月現在）

区	会 場	通称名	区	会 場	通称名
中	ここみ広場	ここみ広場	西	やまぼうしの家	やまぼうしの家
	瑞雲こども園	カンガルーのおうち		ころころルーム	ころころルーム
	花園こども園	Luana(るあな)	南	太陽こども園	サンサンひろば
	和合こども園	わわわひろば		遠州浜子育て支援ひろば	えんしゅうはま すくすくひろば
	広沢子育て支援ひろば	さわさわひろば		ここみのおうち	ここみのおうち
	まんまの家	まんまのつぼみ	北	なごみCIRCUS(サーカス)	なごみCIRCUS(サーカス)
東	小規模保育室いずみっこ	ぞうさん		聖隷こども園わかば	おひさま
	ながかみこども園	きらり		引佐協働センター	引佐子育て支援広場
	児童発達支援事業所ころころ	どんぐりひろば	浜北	子育てセンターしばもと	そよかぜ
	若宮こども園	ぎゅっと		子育てセンターしんばら	ゆりかご
	みどり保育園	グリーンランド		中瀬南部緑地会館	ここみの森
西	和光こども園	マイひろば	天竜	子育てセンターやまびこ	やまびこ
	花園幼稚園(保育園部園舎)	OHANA(おはな)			

別表② 親子ひろば実施施設一覧（令和5年4月現在）

区	施設名	区	施設名	区	施設名
中	南保育園	東	太陽さぎのみやこども園	南	たかつか光こども園
	鴨江保育園		遊歩の丘かみしこども園		はあもにこども園
	花川保育園		きなりこどもえん		若林こどもの園
	江西保育園		蒲こども園		遊歩の丘みなみプレスクール
	権現谷保育園		そらいろこども園		エオスプレスクール
	佐鳴台保育園		ありたまこども園	北	三方原保育園
	寺島保育園		天竜こども園		引佐保育園
	西保育園		浜松東こども園		三ヶ日保育園
	ひくまこども園		あそびこども園浜松		都筑保育園
	なかざわこども園		浜っ子こども園		クリストファーこども園
	相生こども園		あそび西ヶ崎こども園		聖隷こども園桜ヶ丘
	なかよし第2こども園	西	ルミーナプレスクール		みどりのもり都田
	遊歩の丘にしおかこども園		イーエーエスはんだやま保育園		こども園みらい
	みぞらこども園		神田原保育園		初生保育園
	聖隷こども園めぐみ		舞阪第1保育園		ひまわり保育園
	れんげこども園		舞阪第2保育園		細江保育園
	小豆餅ゆすらうめこども園		雄踏保育園		はらっぱ保育園
	上池さくらこども園		入野こども園		ひまわり第二保育園
	音の森こども園		さざんかこども園		たんぼぼ保育園
	浜松中央こども園		春日こども園		ひがしみかた保育園
	たかい丘こども園		瞳ヶ丘こども園	浜北	チャイルドスクエア浜松三ヶ日
	天林寺こども園		順愛こども園		れんりの子
	まつばこども園		雄踏ちゅうりつこども園		はぐみなの風保育園
	葵ヶ丘こども園		湖東白ゆりこども園		認定こども園さじの里
	中央ながかみこども園		生命の樹保育園		子育てセンターこまつ
	こぼと保育園		わかづさ保育園		子育てセンターきぶね
	天使園子どもの家		館山寺保育園		子育てセンターなかぜ
	愛恵保育園		大平台わかづさ保育園		遊歩の丘はまなこども園
	ヘリオスプレスクール		志都呂保育園		子育てセンターかきのみ
	なのはな保育園		ヒーローズ浜松西保育園		あゆみの森こども園
	チャイルドスクエア浜松花川		マーガレット保育園		子育てセンターみゆうのおか
	まつきの保育園	南	伊左地保育園		こども園ことり
	みみ・あんふあんしゅしゅ		チャイルドスクエア浜松篠原		ひらくちかえでこども園
東	中ノ町保育園		ヒーローズさなるこ保育園		森のいえはまきた
	積志保育園		可美保育園		うちのの丘。こども園
	笠井保育園		ずだじこども園		くすのき保育園
	聖隷こども園ひかりの子		太陽第二こども園		浜北西保育園
	いずみこども園		平和こども園		はなのこ保育園
	市野与進こども園		なかよしこども園		ヒーローズはまきた保育園
	まるづかこども園		ハローこども園	天竜	子育てセンターすぎのこ

子ども・子育てに関するニーズ調査

～ 調査の趣旨とご協力のお願い ～

あなたの意見が計画に反映されます

皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

各自治体は「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。

浜松市では、子供が生き生きと輝き、子育てが楽しいと感じられる社会の実現のため、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする、「浜松市子ども・若者支援プラン」を作成し、すべての子供の健やかな成長と子育て家庭を社会全体で支える施策を展開してまいりました。

現計画が令和6年度で終了するにあたり、引き続き計画的に給付や事業を実施すべく、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする、次期計画を作成するため、ニーズ調査を行うこととなりました。

このニーズ調査は、主に放課後児童会について現状等を把握し、計画期間中に確保すべき「量の見込み」や「今後の利用希望」を把握することを目的に行うものです。

あなたの回答や意見の一つひとつが、よりよい計画作りに結びつきますので是非ご記入くださいますようお願いいたします。

この調査は市内にお住まいの小学生のお子様がいいらっしゃるご家庭の中から2,000人を無作為に抽出し調査の対象とさせていただきます。

調査票につきましては浜松市が委託した事業者が回収し、集計・分析作業を行います。お答えはすべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはありません。すべての質問にありのままにお答えください。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和6年1月

浜松市長 中野 祐介

ご回答はWEBフォームからも回答できます。右のQRコード又はアドレスURLからWEBフォームに進んでください。便利で簡単なWEBフォームをご活用ください。
(WEBフォームで回答した方は紙の調査票を返送しないでください。)



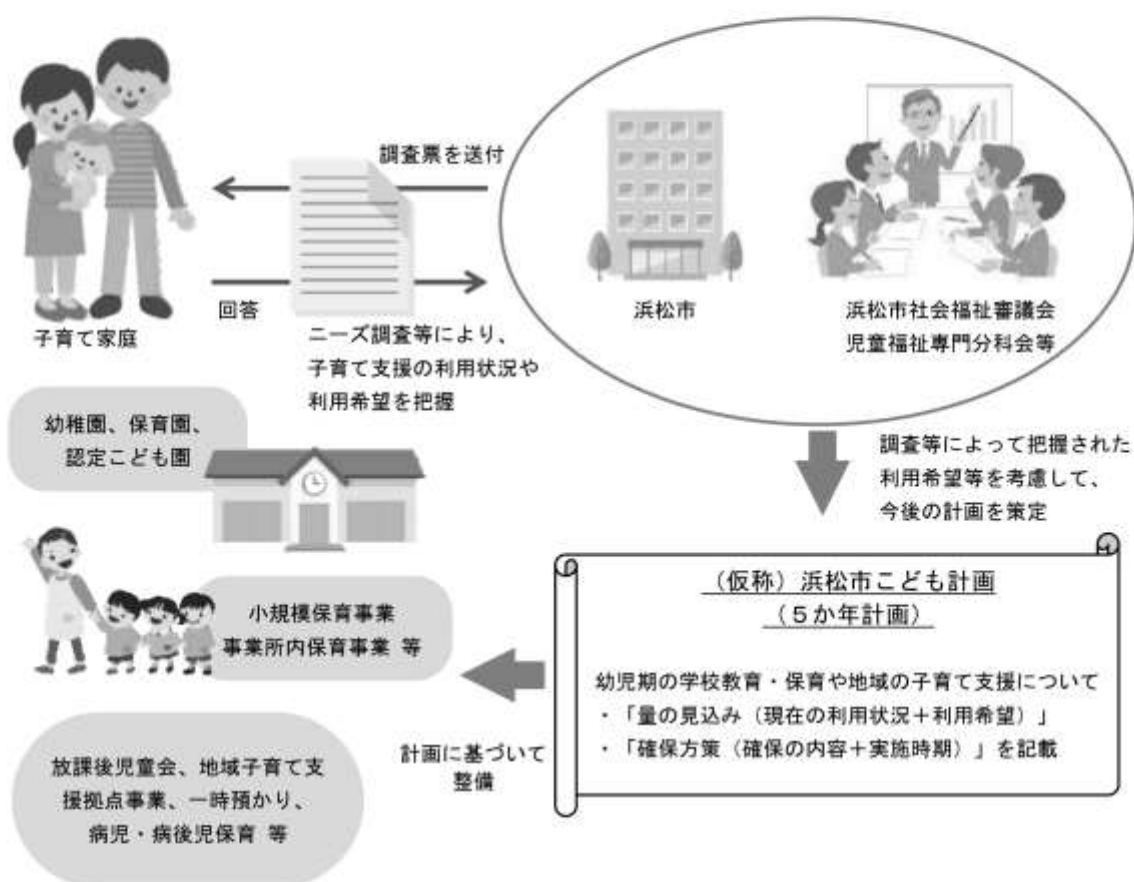
アドレスURL：<https://logoform.jp/f/Q9K8q>

- ・ご回答は、ご家族や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票のページが多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最後までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、選択してください。
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ご返送締め切り日 令和6年2月13日（火）

【お問い合わせ先】浜松市役所 こども家庭部 次世代育成課
電話：053-457-2795 F A X：053-457-2039
メール：katei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

子ども・子育て支援の制度の目的



用語の定義

・子育て支援：教育・保育その他の子供の健やかな成長のために行われる支援

●お住まいの地域について

問1 お住まいの区を教えてください。(○は1つ)

1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字右詰)

平成 □□ 年 □□ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字右詰)

きょうだい数 □ 人 末子の生年月 1. 平成 2. 令和 □□ 年 □□ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方を宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係を教えてください。(○は1つ)

1. 配偶者はいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに 2. 主に母親
3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

●子供の育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子供をみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

→問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

→問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる／ある
2. いない／ない

問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

→問8-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族(配偶者を除く) |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO | 6. 保健所・保健センター(区役所健康づくり課) |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 |
| 9. 学校の先生 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. かかりつけの医師 | 12. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 13. その他 () | |

問9 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

-----> (2)へ

（1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

- （1）-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

- （1）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず （例）「8時30分」や「18時00分」のように、24時間制でお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

（2）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

-----> 問12へ

（2）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

- （2）-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

- （2）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず （例）「8時30分」や「18時00分」のように、24時間制でお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で右詰）

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

問10の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
にうかがいます。

該当しない方は、問12へお進みください。

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これ
まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問13へお進みください。

問12 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→ (1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→ (2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

●宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問13 平日の放課後に宛名のお子さんはどのように過ごしていますか。一番多いものをお答えください。(〇は1つ)

1. 自宅	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	→ 問15へ
4. 児童館	
5. 放課後児童会 ※1	→ 問14へ
6. 放課後子供教室 ※2	
7. 民間の学童保育・子供の預かり	
8. ファミリー・サポート・センター	→ 問15へ
9. 放課後等デイサービス	
10. その他(公園など)	

※1 放課後児童会 …浜松市の補助や委託を受けて運営されており、地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子供の生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 放課後子供教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

●放課後児童会の現在の利用状況について

問13で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問14 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会をどの程度利用していますか。

（（１）～（３）について、それぞれ○は１つ）

また、利用したい時間帯を、□内に（例）「１８時３０分から１９時００分のように２４時間制の３０分単位でご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で右詰）

（１）平日

1. 週４日以上利用している	} ⇒	利用している時間帯
2. 週１～３日利用している		放課後 から □□時□□分まで
3. 利用していない		

（２）土曜日

1. ほぼ毎週利用している	} ⇒	利用している時間帯
2. 月に１～２日利用している		□□時□□分から□□時□□分まで
3. 利用していない		

（３）夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. ほぼ毎日利用している	} ⇒	利用している時間帯
2. 時々利用している		□□時□□分から□□時□□分まで
3. 利用していない		

問14-1 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は何ですか。

（○はいくつでも）

1. サービス内容がいいから	
2. 市が開設しているため信頼があるから	
3. 学校から近い場所で開設しているから	
4. 子供の友達が利用しているから	
5. 民間と比較して利用料が安いから	
6. 市以外行っている学童又は子供の預かりを知らないから	
7. その他（	

●放課後児童会の利用希望について

問13で「5. 放課後児童会」に○をつけなかった方にうかがいます。

問15 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会の利用希望はありますか。

（（1）～（3）について、それぞれ○は1つ）

また、利用したい時間帯を、□内に（例）「8：00～18：30」や「8：30～18：00」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字右詰）

（1）平日

1. 週4日以上利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 週1～3日利用したい		放課後から□□時□□分まで
3. 利用希望がない		

（2）土曜日

1. ほぼ毎週利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 月に1～2日利用したい		□□時□□分から□□時□□分まで
3. 利用希望がない		

（3）夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. ほぼ毎日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 時々利用したい		□□時□□分から□□時□□分まで
3. 利用希望がない		

放課後児童会を“利用したい”と回答した方にうかがいます。

→ 問15-1 サービスを利用したい主な理由は何ですか。（○は1つ）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと就労日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である
4. 就労していないが、子供の教育などのため預けたい
5. 家族・親族などを介護しなくてはならない
6. 病気や障害を持っている
7. 学生である／就学したい
8. その他（ ）

放課後児童会を“利用したい”と回答した方にうかがいます。

→ 問15-2 放課後児童会について、何年生まで利用したいですか。（□ないに数字で記入してください。数字は一枠に一字）

小学 □ 年生くらいまで

●その他

問16 お住まいの地域における子育ての環境や支援へ満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

満足度が低い ← 2 3 4 → 満足度が高い
1

問17 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

--	--

問18 最後に、お子さんから浜松市への意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
「うれしいこと」「困っていること」「もっとこうなるといいなあ」と思うことを記入してください。

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、投函してください。

令和５年度 子ども・子育てに関するニーズ調査 報告書

令和６年３月発行

編集・発行 浜松市 こども家庭部 次世代育成課

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2

電話 (053) 457-2795 FAX (053) 457-2039

メール katei@city.hamamatsu.shizuoka.jp
